心のバリアフリーに関するアンケート調査

結果報告書

目 次

■ 調査概要 ・・・・・02

1. 基本属性 ・・・・・04

2. 調査結果詳細 ・・・・・13

■公共交通機関の優先席について ・・・14

■車椅子・ベビーカースペースについて ・・・27

■多機能トイレについて ・・・37

■優先エレベーターについて ・・・45

■車椅子使用者用駐車施設について ・・・58

■点字ブロックについて ・・・68

■困っている方への声かけ・手助けについて ・・・70

■心のバリアフリーについて ・・・78

調査概要

■ 調査目的

- 平成29年2月に決定した「ユニバーサルデザイン2020行動計画」や平成30年5月に改正したバリアフリー法に基づき、「心のバリアフリー」を実現するための施策として、学校教育・企業等・地域における取組や国民の協力促進等が行われているが、「障害の社会モデル」の理解や障害のある人への差別を行わないよう徹底するなどを内容とする「心のバリアフリー」については一定数のデータがなく、一般国民に浸透しているのか実態を把握する。
- 改正バリアフリー法においても、国及び国民の責務に高齢者、障害者等に対する支援を明記していることから、一般国民を対象とした「心のバリアフリー」についての実態を明らかにする。
- また、諸外国の「心のバリアフリー」の実態も把握し、我が国と諸外国の「心のバリアフリー」についての意識の差についても実態を把握する。

■ 調査方法

- インターネットによるアンケート調査

■ 調査対象

- 通学や通勤等の手段としてメインで公共交通機関を利用している18歳～69歳の一般国民
- 対象地域は：東京、大阪、ロンドン、ニューヨーク

■ 調査日程

- 東京、大阪：2019年10月30日～2019年11月6日
- ロンドン、ニューヨーク：2019年11月13日～2019年11月18日

■ 有効回答数

■東京

	男性	女性
20代以下	55	59
30代	52	49
40代	54	54
50代	44	44
60代	34	34
合計	239	240

■大阪

	男性	女性
20代以下	41	53
30代	40	41
40代	53	54
50代	43	44
60代	39	41
合計	216	233

■ロンドン

	男性	女性
20代以下	53	57
30代	60	57
40代	45	44
50代	38	38
60代	25	26
合計	221	222

■ニューヨーク

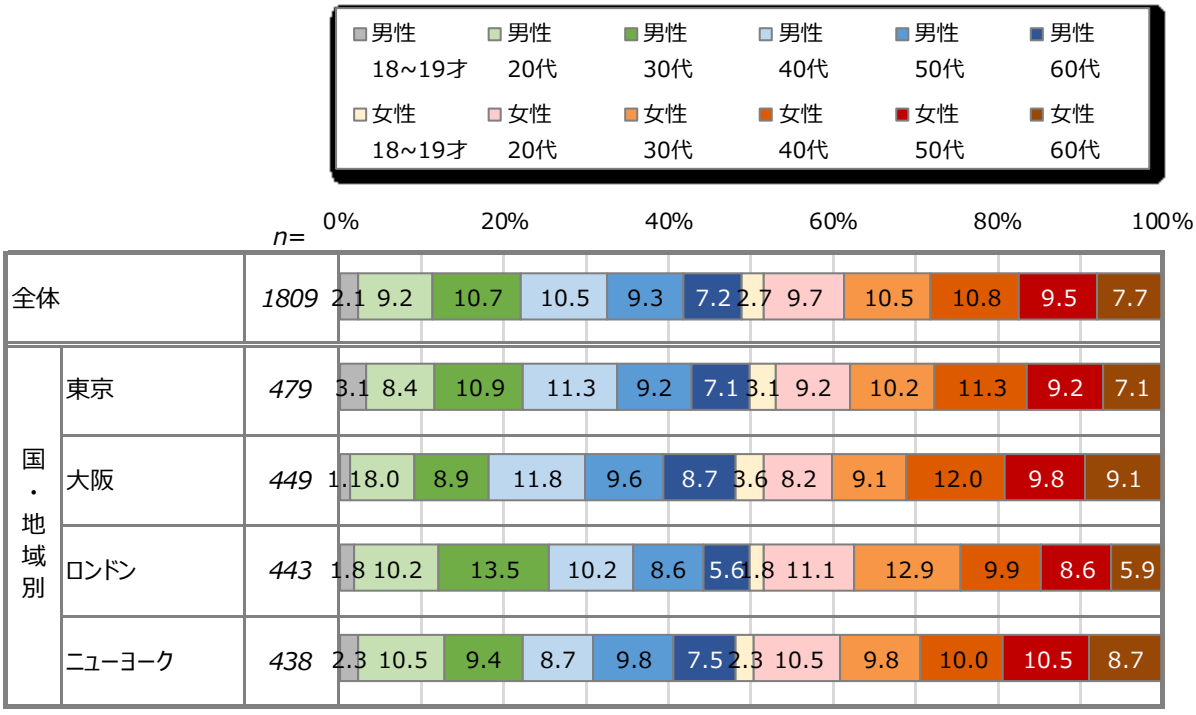
	男性	女性
20代以下	56	56
30代	41	43
40代	38	44
50代	43	46
60代	33	38
合計	211	227

1.基本属性

1 性年代（都市別）

- 性・年代については、各都市の人口比率に基づいて算出し、割付を行った。
- 各都市ともに男女比率は概ね半々となっており、ロンドンの年齢層が若干若い。

■地域別全体比較

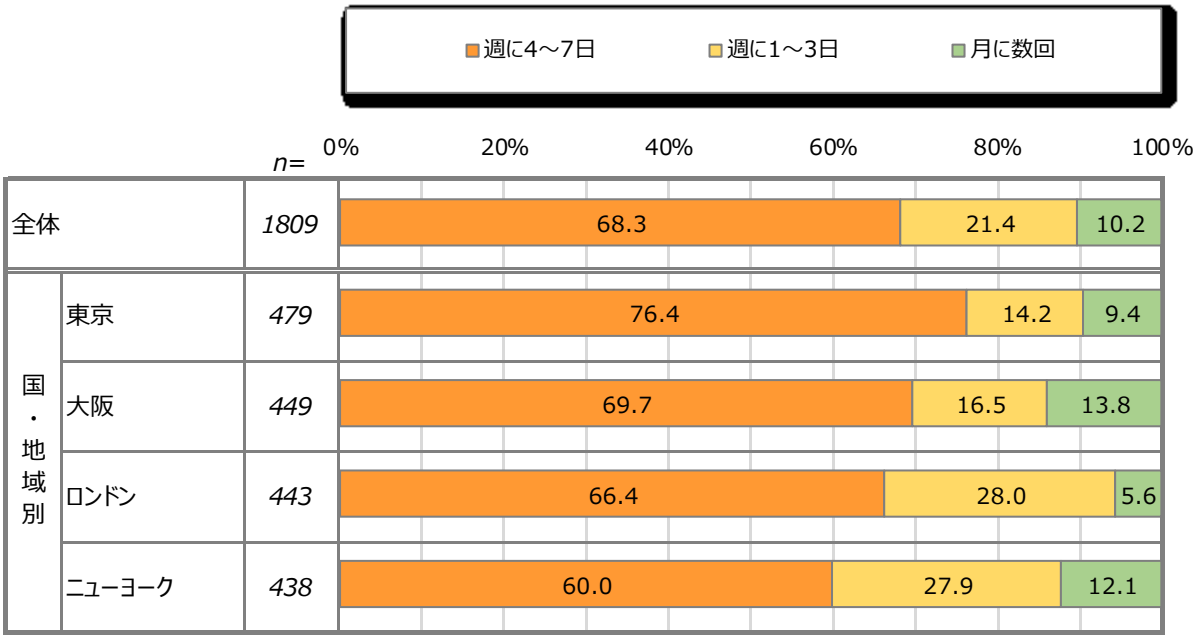


Q1. あなたの性別と年齢をお答えください。

1 公共交通機関の利用頻度（都市別）

- 「週に4～7日」比率は東京が最も高く、次いで、大阪、ロンドン、ニューヨークの順。
- 「週に1～3日」を含めると、ロンドンが最も高く、次いで、東京、ニューヨーク、大阪の順となっている。

■地域別全体比較

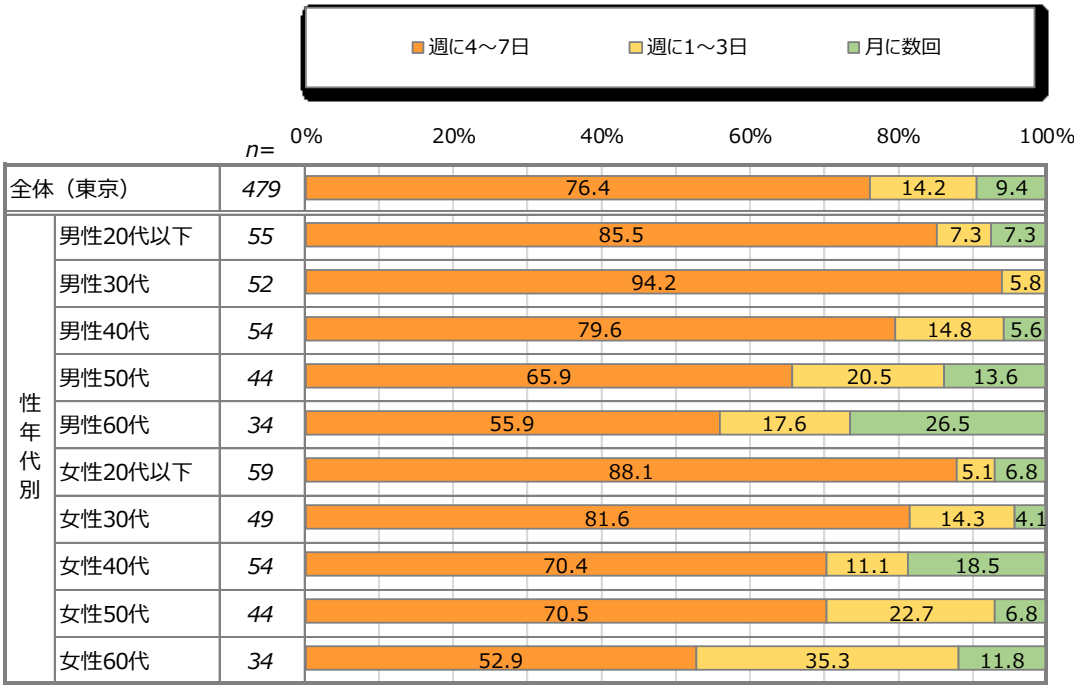


Q3. あなたは普段、通学や通勤などの移動手段として鉄道やバスなどの公共交通機関をどの程度利用していますか。

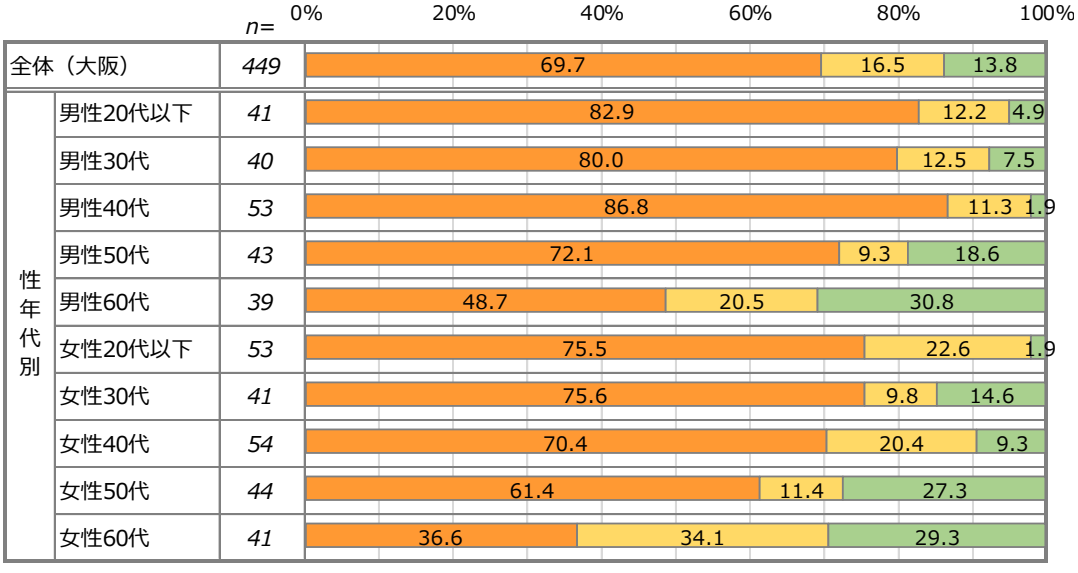
1 公共交通機関の利用頻度（都市別/性年代別）

- 東京、大阪とも、60代以外は6～9割程度が「週に4～7日」公共交通機関を利用。
- 60代も、「週に4～7日」が5割程度を占めているが、大阪の女性はその比率が4割以下と低い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

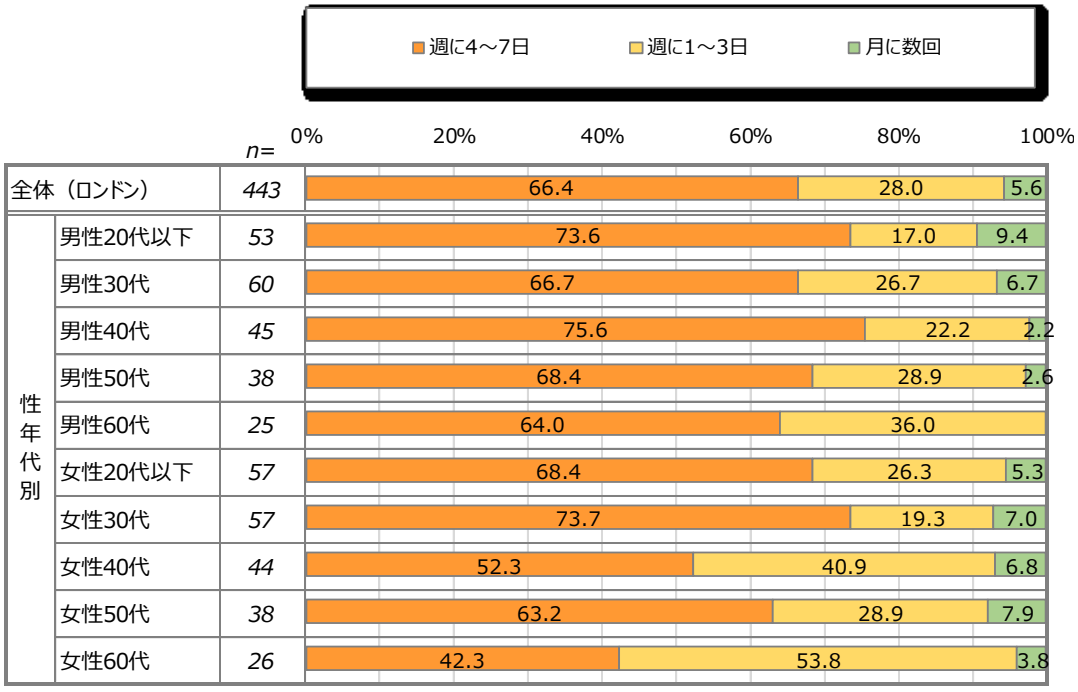


Q3. あなたは普段、通学や通勤などの移動手段として鉄道やバスなどの公共交通機関をどの程度利用していますか。

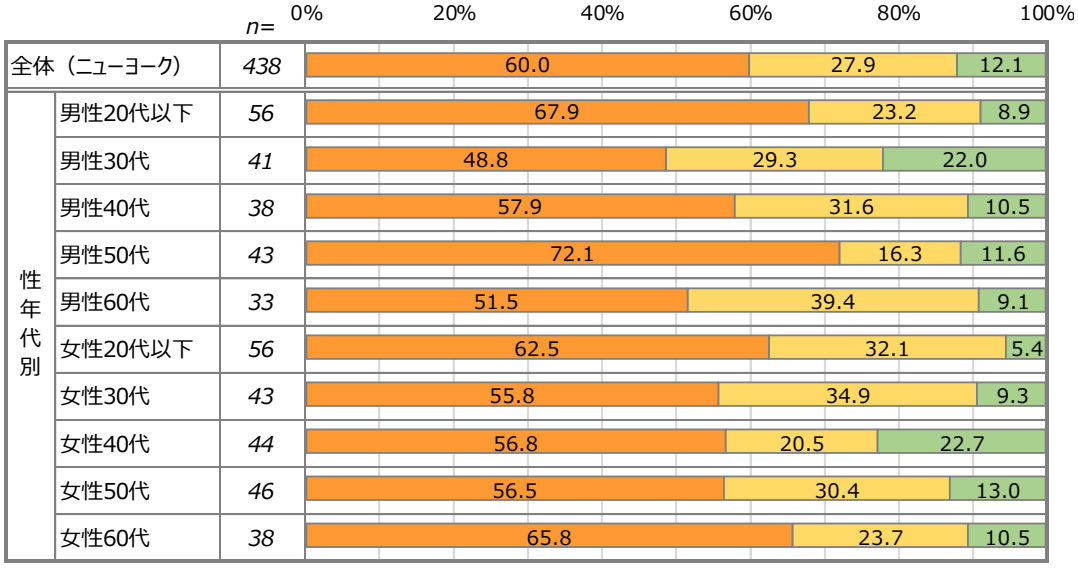
1 公共交通機関の利用頻度（都市別/性年代別）

- ロンドンは、女性40代、女性60代で「週に4～7日」が4～5割程度と低くなっているが、それ以外は概ね6～7割が「週に4～7日」。
- ニューヨークは、男性30代で「週に4～7日」が5割以下となっているのが特徴的。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

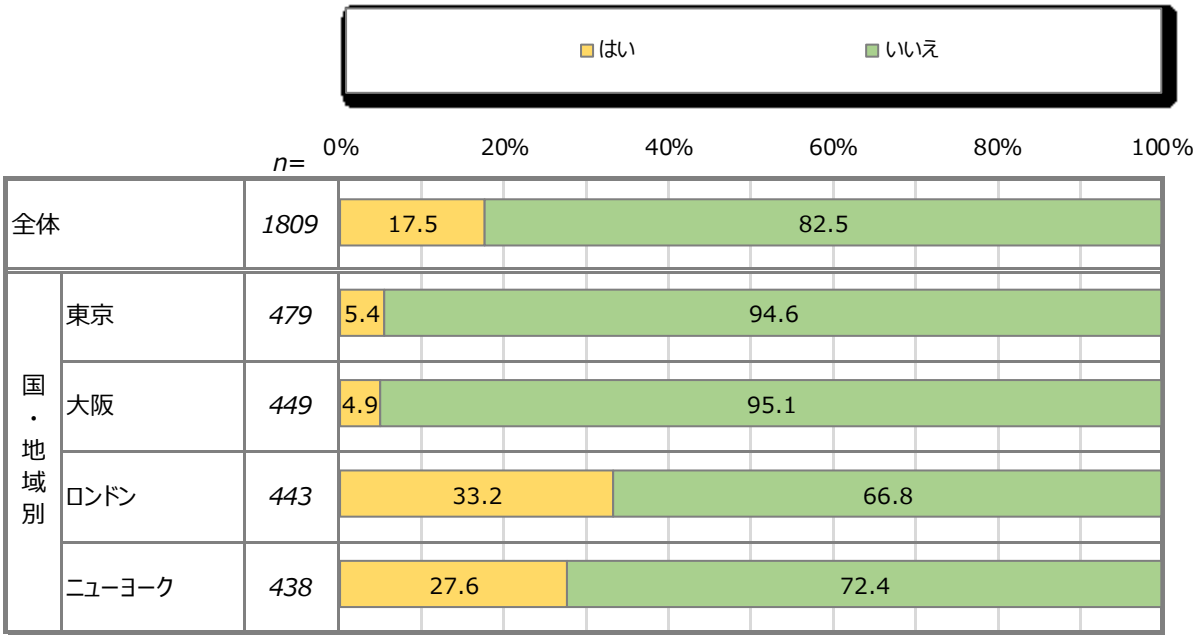


Q3. あなたは普段、通学や通勤などの移動手段として鉄道やバスなどの公共交通機関をどの程度利用していますか。

1 障害や妊産婦等の特性の有無

- 全体では2割近くが障害や妊産婦等の特性を有している。
- 都市別では、東京、大阪が5%位程度であるのに対し、ロンドン、ニューヨークは3割前後と高い。

■地域別全体比較

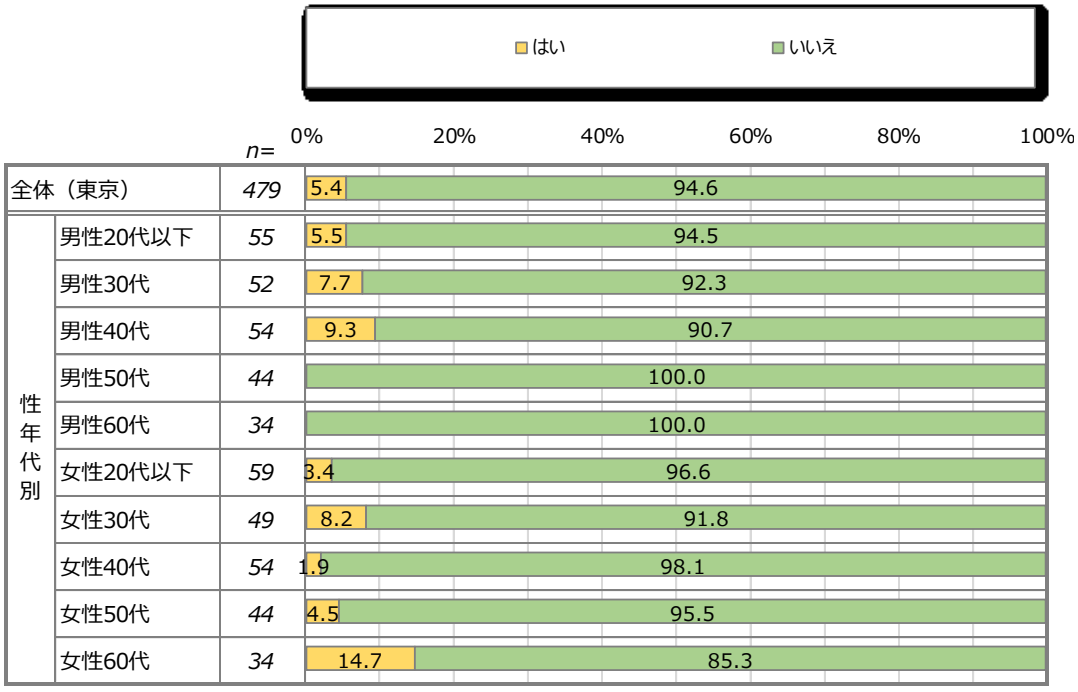


Q4. あなたは現在、障害や妊産婦等の特性をお持ちですか。

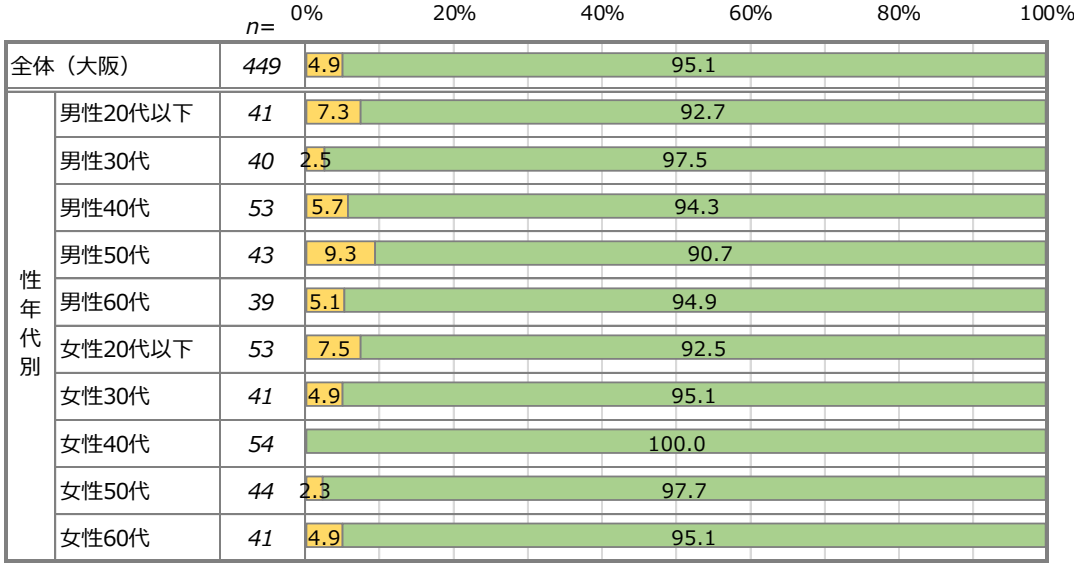
1 障害や妊産婦等の特性の有無

東京では女性60代、大阪では男性50代で障害や妊産婦等の特性が他に比べて多い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

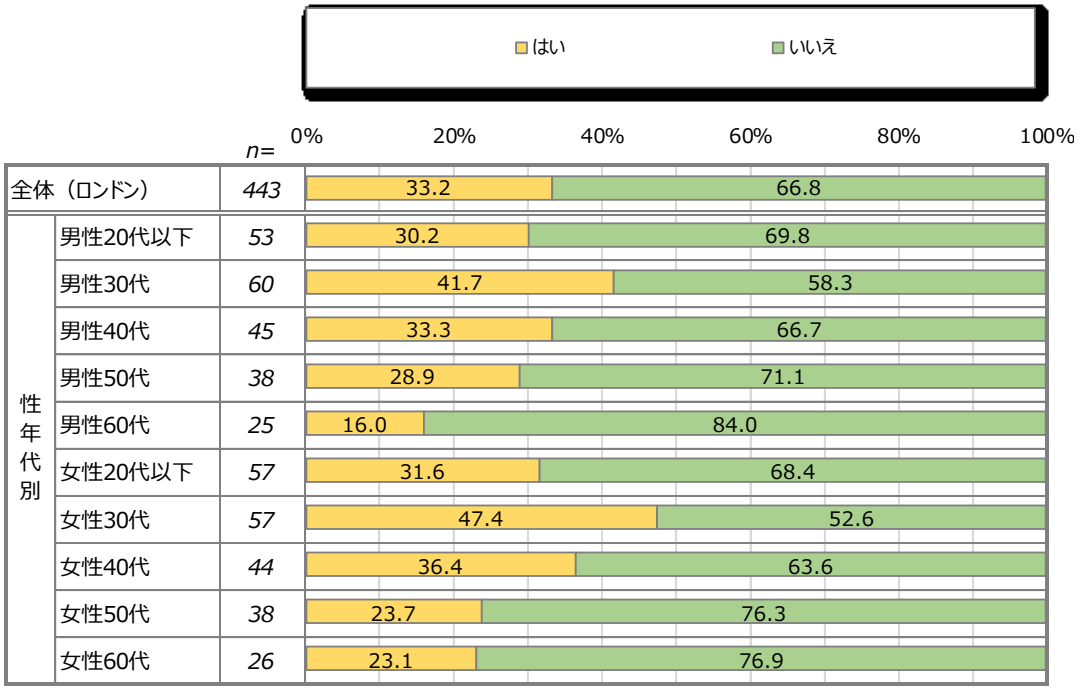


Q4. あなたは現在、障害や妊産婦等の特性をお持ちですか。

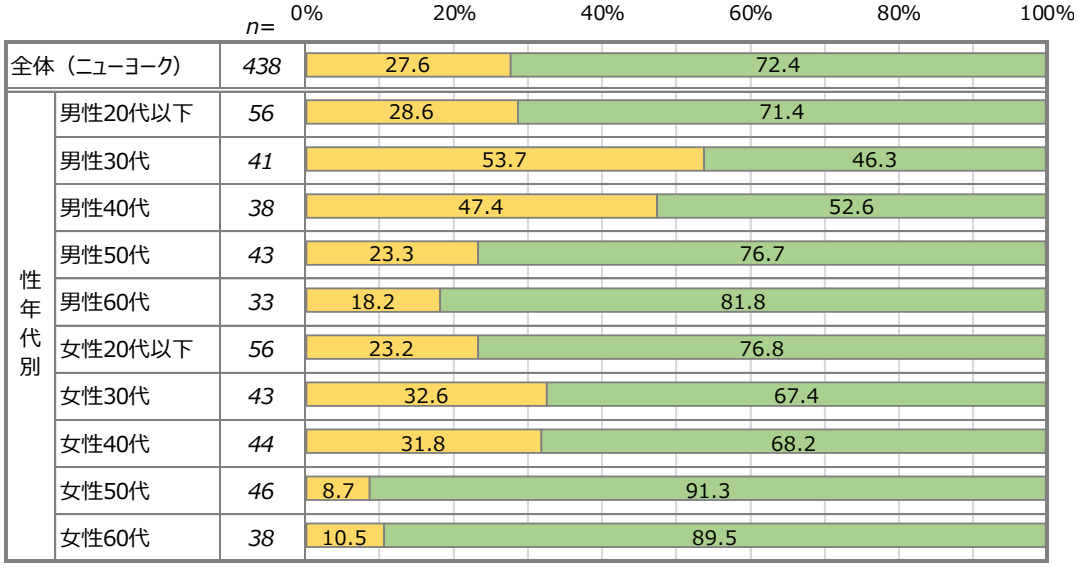
1 障害や妊産婦等の特性の有無

- ロンドンでは男女とも20代以下、30代、40代の3～4割以上は障害や妊産婦等の特性を有しているが、それぞれ「妊産婦及び乳幼児連れ」が多い。
- ニューヨークでも、男性40代以下で「妊産婦及び乳幼児連れ」が多い。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

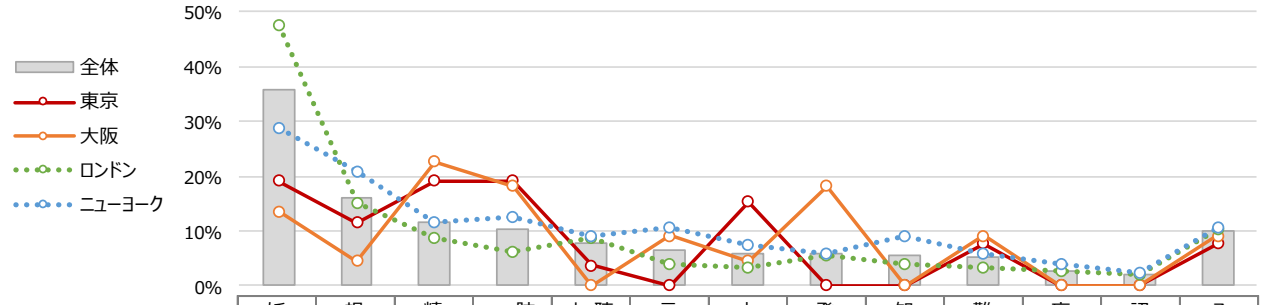


Q4. あなたは現在、障害や妊産婦等の特性をお持ちですか。

1 お持ちの障害や妊産婦等の特性

- 東京、大阪については、サンプル数が少ないため参考値。
- ロンドン、ニューヨークはともに「妊産婦及び乳幼児連れ」がトップ。特にロンドンではほぼ半数を占めている。

■地域別全体比較



			妊産婦及び乳幼児連れ	視覚障害（全盲・弱視）	精神障害	肢体不自由（電動車いす・手動車いす・その他）	聴覚障害（ろう・難聴・中途失聴）	言語障害	内部障害	発達障害	知的障害	難病	盲ろう	認知症	その他
全体		316	35.8	16.1	11.7	10.4	7.9	6.6	6.0	6.0	5.4	5.1	2.8	1.9	10.1
地域別	東京	26	19.2	11.5	19.2	19.2	3.8	-	15.4	-	-	7.7	-	-	7.7
	大阪	22	13.6	4.5	22.7	18.2	-	9.1	4.5	18.2	-	9.1	-	-	9.1
	ロンドン	147	47.6	15.0	8.8	6.1	8.8	4.1	3.4	5.4	4.1	3.4	2.7	2.0	10.2
	ニューヨーク	121	28.9	20.7	11.6	12.4	9.1	10.7	7.4	5.8	9.1	5.8	4.1	2.5	10.7

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

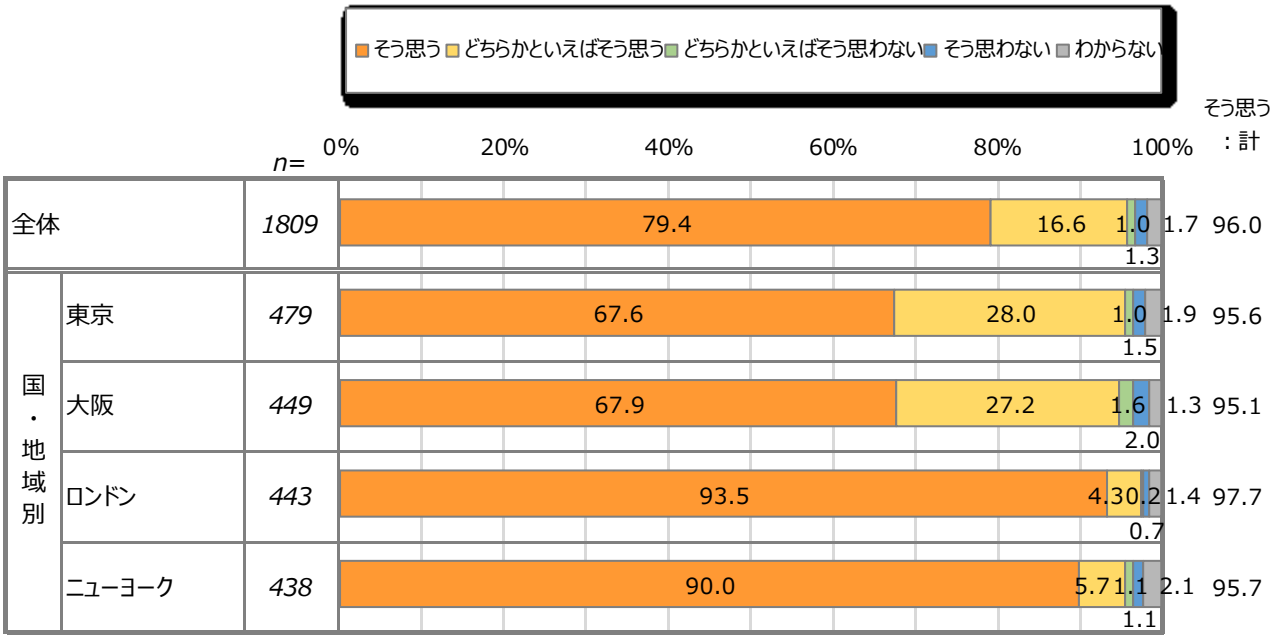
Q5. 前問で障害や妊産婦等の特性をお持ちとお答えの方にお聞きします。以下の特性であてはまるものをお選びください。（いくつでも）

調査結果詳細

2 優先席は高齢者等が優先して座るべきか

- TOP2（そう思う+ややそう思う）で見るとほぼ全員がポジティブな回答をしており、「量的」には都市間の差はないが、TOP1（そう思う）では東京・大阪とロンドン・ニューヨークで大きな差が見られ、公共交通機関の優先席に対する意識の「質的」な違いが見られる。

■地域別全体比較

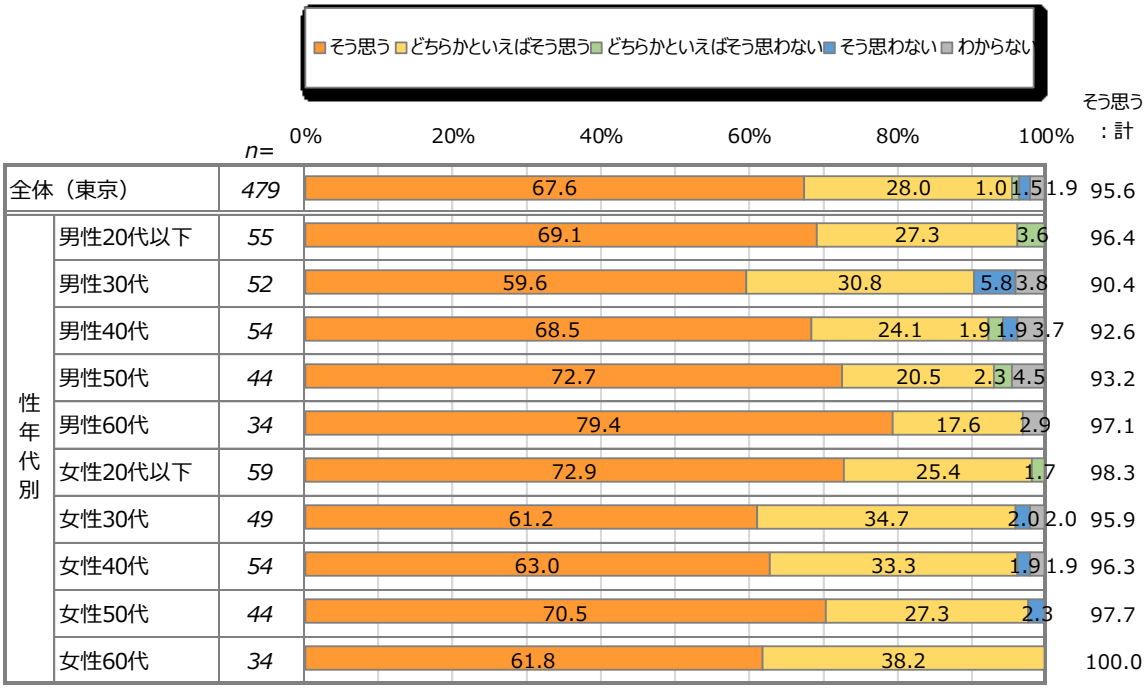


Q6. 公共交通機関の優先席は本来、高齢者、障害者、妊産婦、けが人などが優先して座るべきだと思いますか。

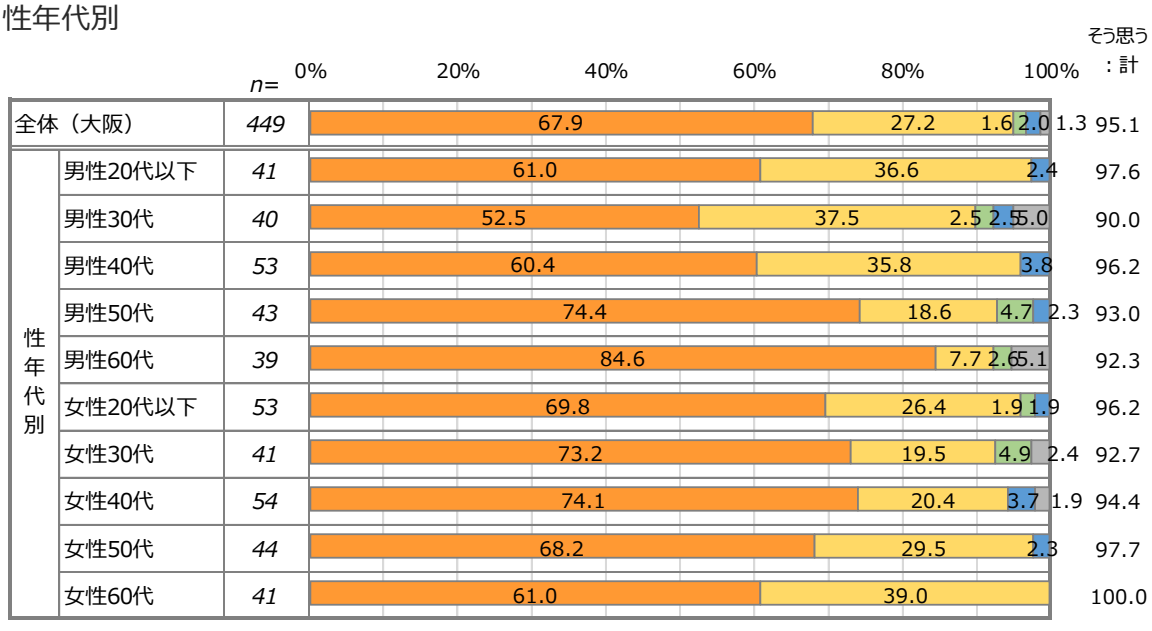
2 優先席は高齢者等が優先して座るべきか

- 東京は、男性では30代、女性では30代、40代、60代でTOP1の数値が他に比べて低い。
- 男性30代と女性60代は、大阪でもTOP1が低い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

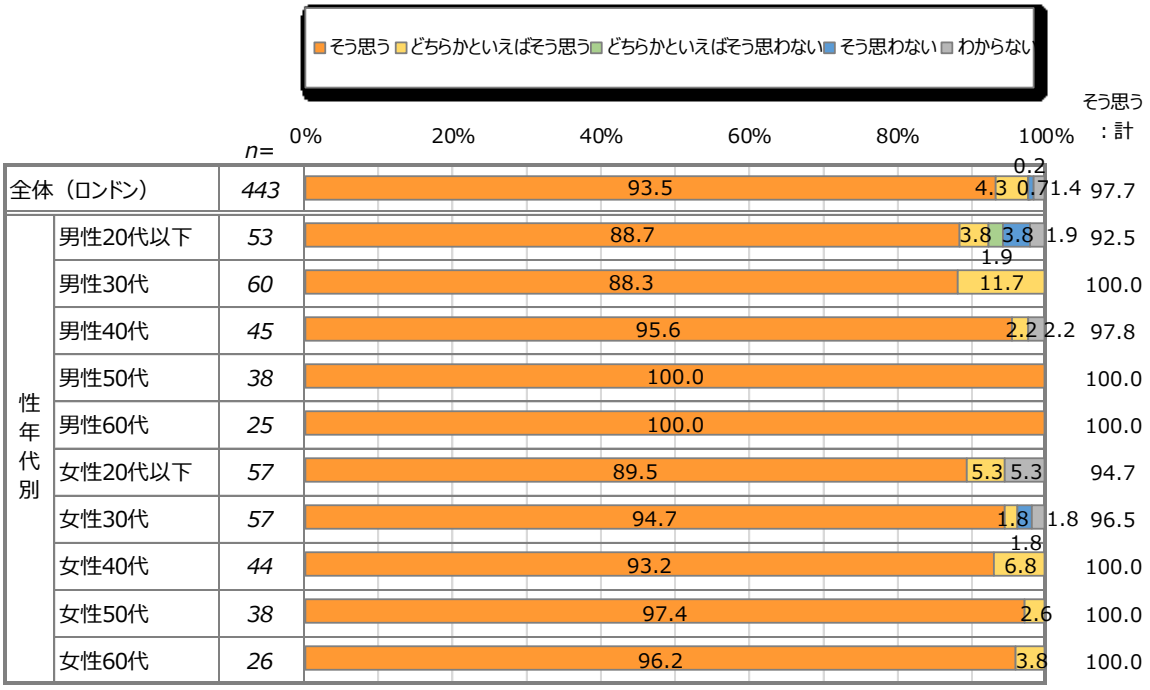


Q6. 公共交通機関の優先席は本来、高齢者、障害者、妊産婦、けが人などが優先して座るべきだと思いますか。

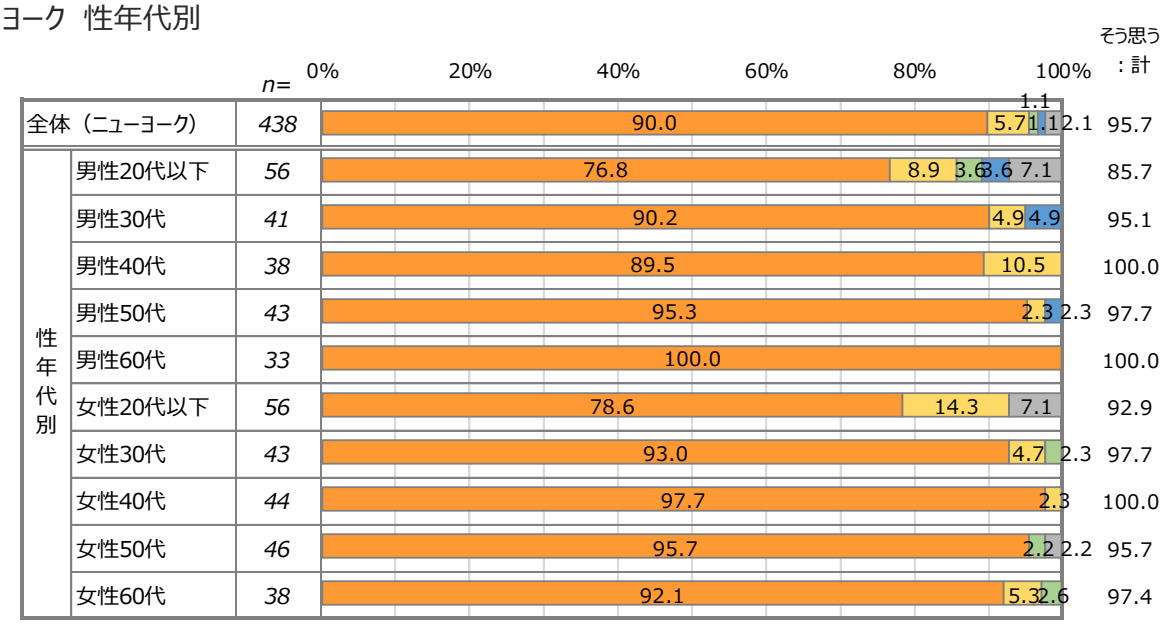
2 優先席は高齢者等が優先して座るべきか

- ロンドンはTOP1の数値が9割を超えている年代が多く、全般的に優先席に対する意識は高い。
- ニューヨークでは、男性、女性とも20代以下で他に比べてTOP1が低い。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

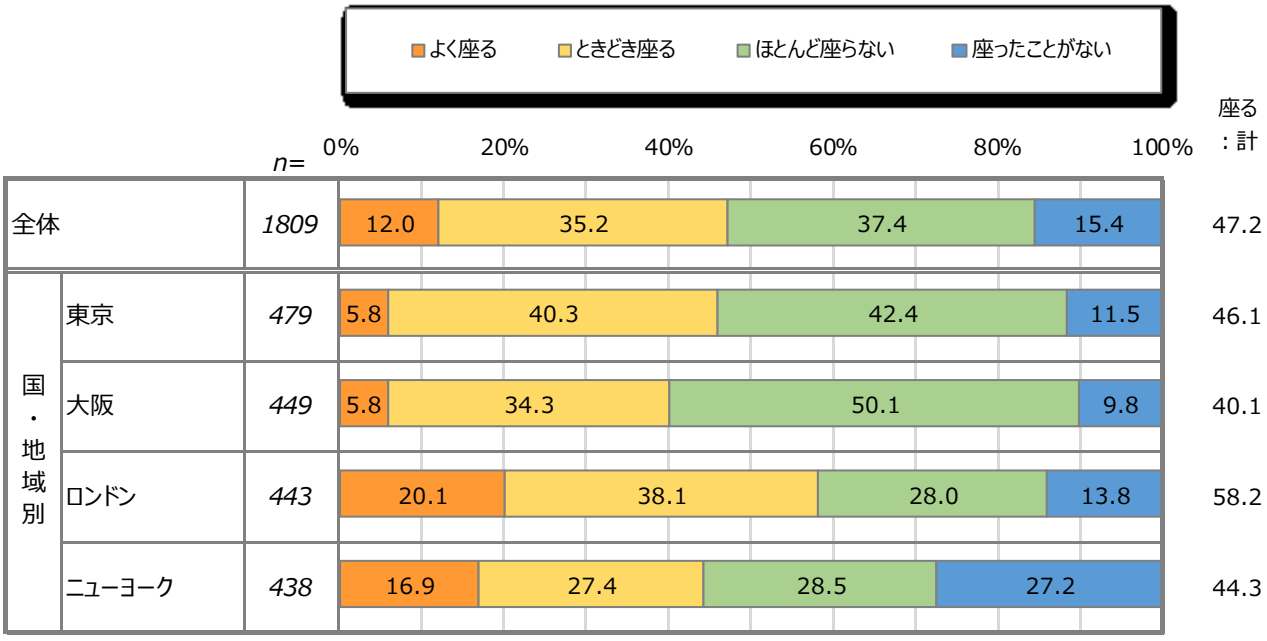


Q6. 公共交通機関の優先席は本来、高齢者、障害者、妊産婦、けが人などが優先して座るべきだと思いますか。

2 普段、優先席に座るか

- 東京、大阪は、障害や妊産婦等の特性を有している比率が5%程度と低かってこともあり、半数以上は「ほとんど座らない」、「座ったことがない」と回答。
- 他方、ロンドンは上記特性の保有率が3割以上と高く、「よく座る」、「ときどき座る」との回答が6割近くを占める。
- ニューヨークは、「よく座る」は東京、大阪に比べて10ポイント以上高いが、「ときどき座る」を含めると東京とほぼ変わらない。

■地域別全体比較

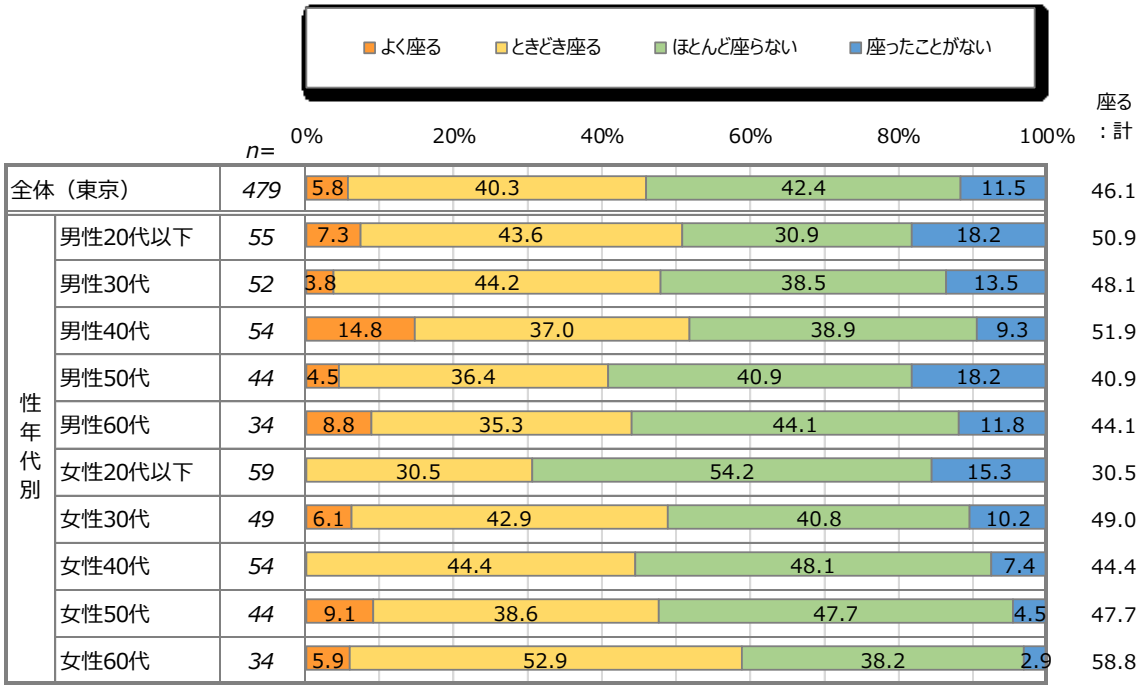


Q7. あなたは普段、公共交通機関で優先席に座りますか。

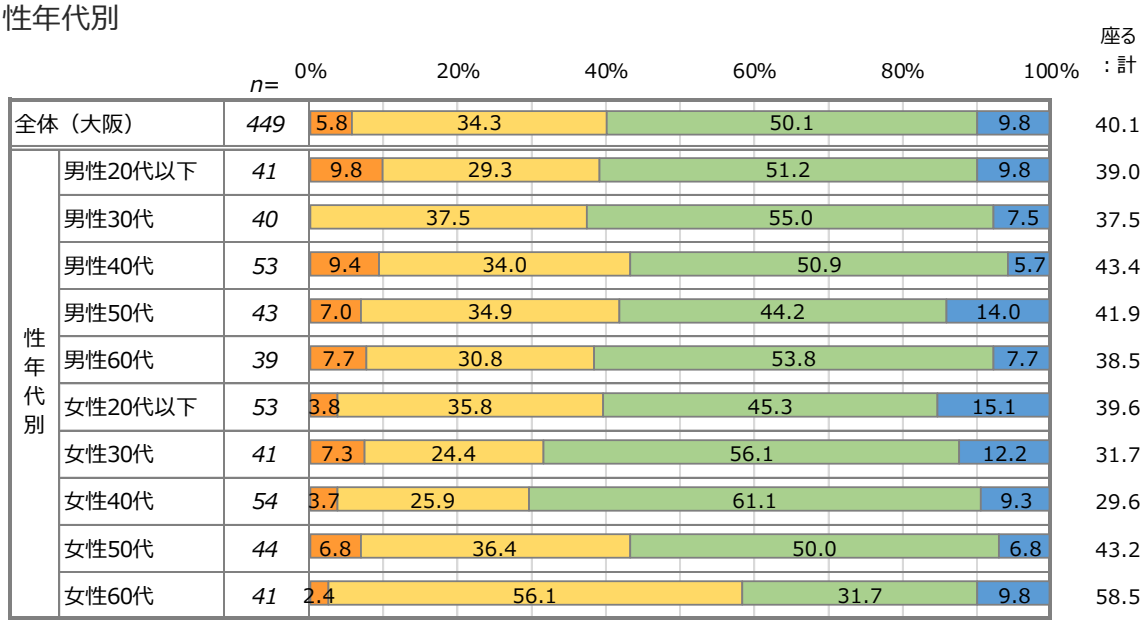
2 普段、優先席に座るか

- 東京では、男性40代で「よく座る」が最も多い。「ときどき座る」を含めると、女性60代が多い。
- 女性60代で「よく座る」+「ときどき座る」が多いのは、大阪も同じ傾向。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

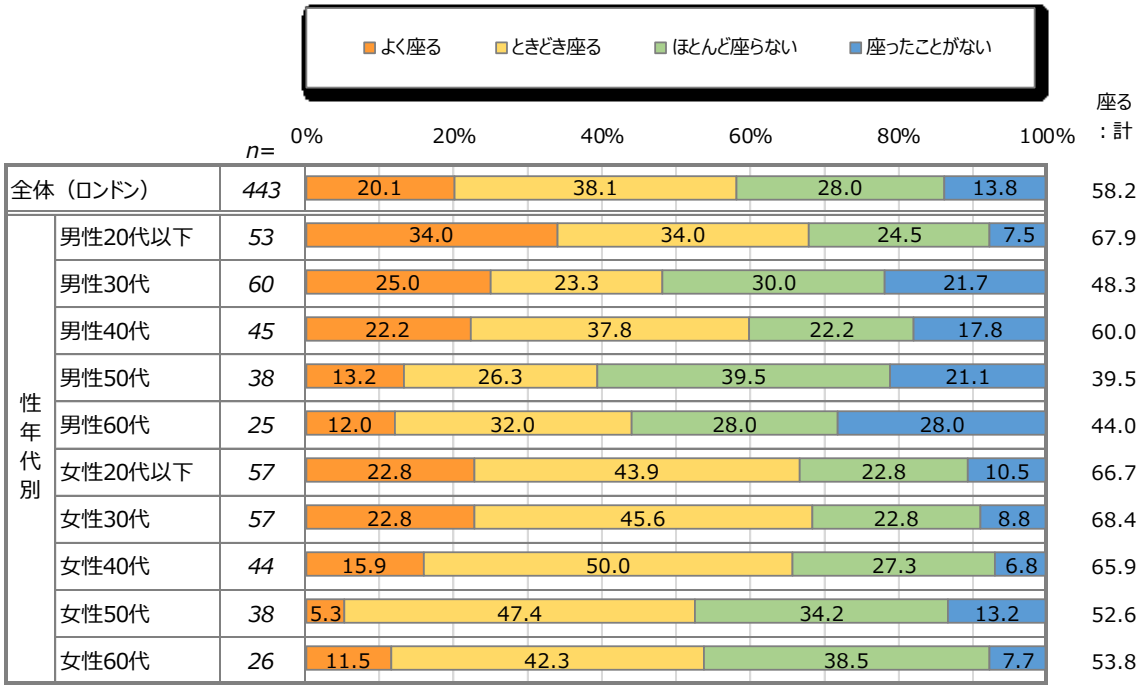


Q7. あなたは普段、公共交通機関で優先席に座りますか。

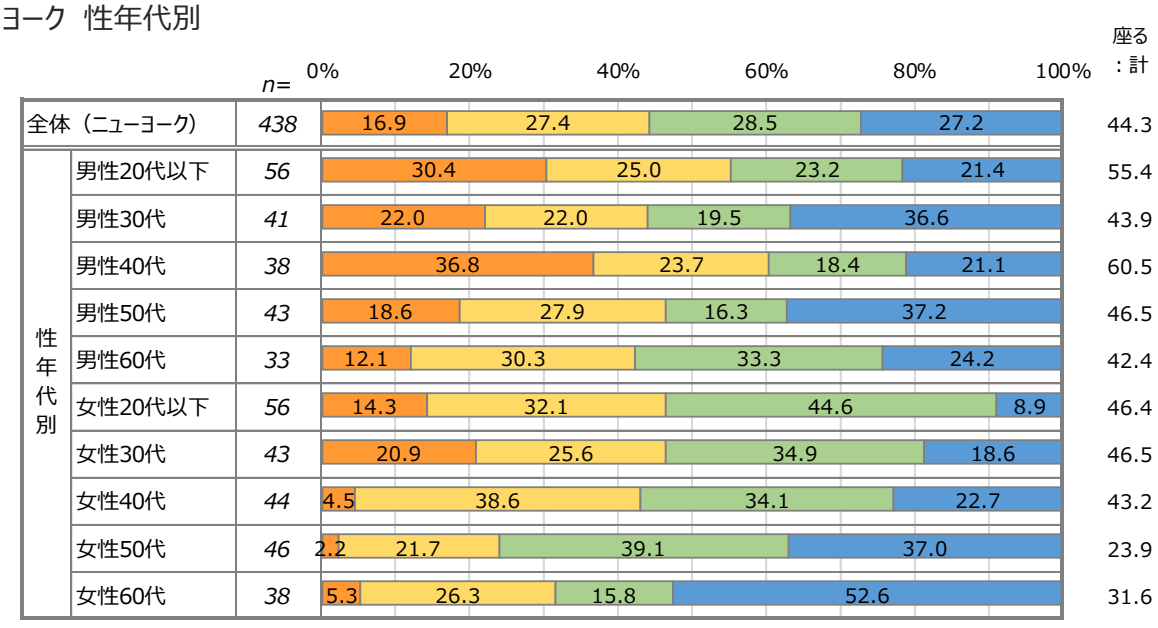
2 普段、優先席に座るか

- ロンドンは、男女20代以下、女性30代、女性40代で「よく座る」、「ときどき座る」が他に比べて多い。
- ニューヨークは、男性の20代と40代で半数以上が優先席に「よく座る」か「ときどき座る」と」回答。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

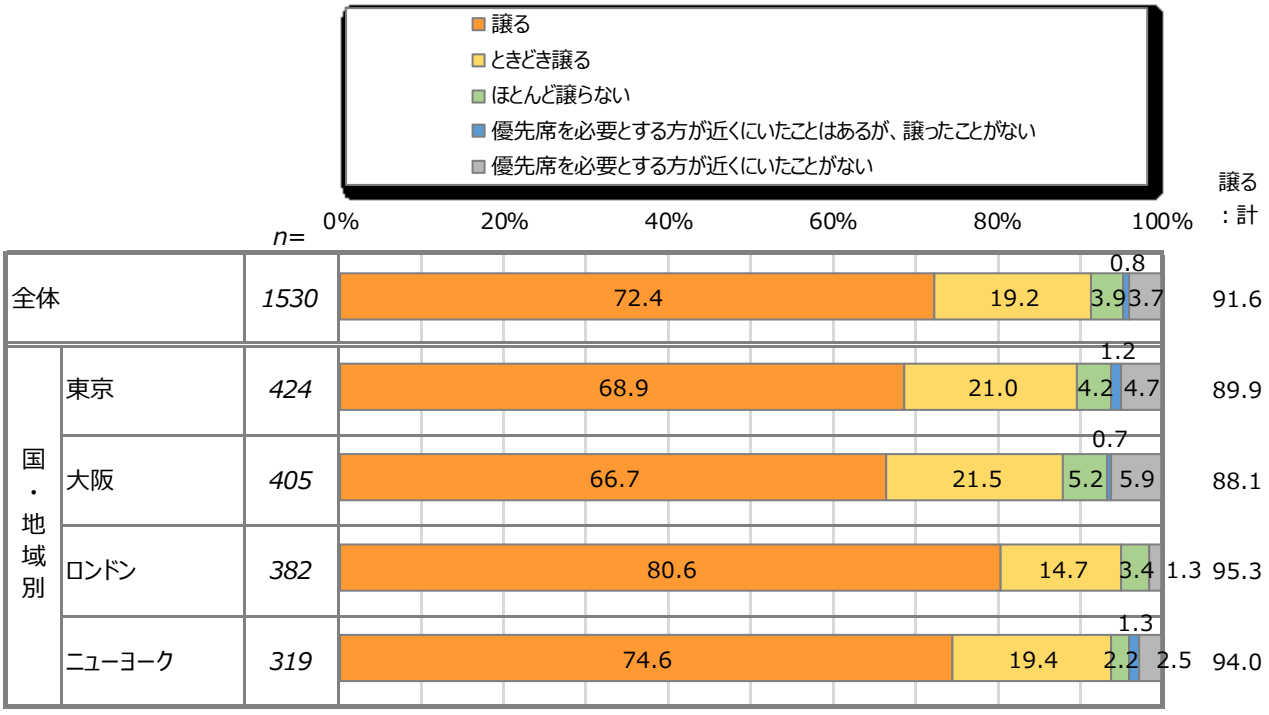


Q7. あなたは普段、公共交通機関で優先席に座りますか。

2 高齢者等に優先席を譲るか

各都市ともほぼ9割は「譲る」か「ときどき譲る」と回答しているが、“優先席は高齢者、障害者、妊産婦、けが人などが優先して座るべきだと思うか”との質問に対する回答結果と同様、東京、大阪はTOP1の「譲る」の数値がロンドン、ニューヨークに比べて低い。

■地域別全体比較

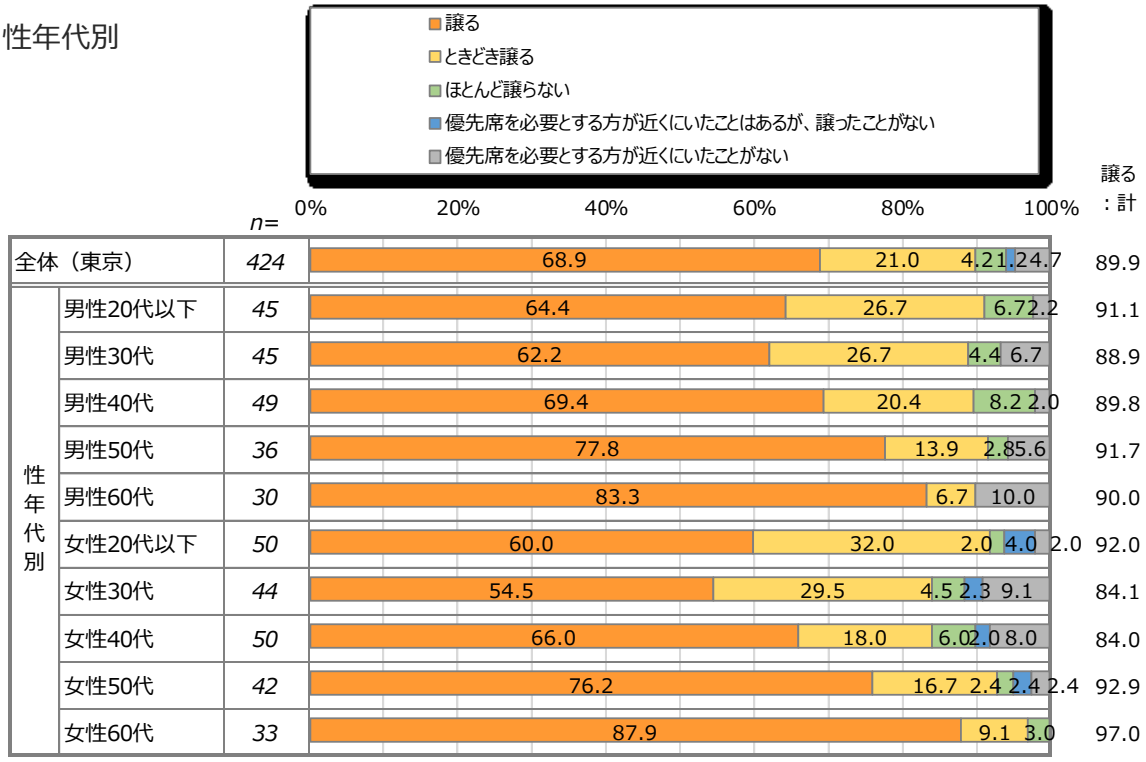


Q8. あなたが優先席に座っている際、高齢者、障害者、妊産婦、けが人など優先席を必要とする方が近くにいたら、席を譲りますか。

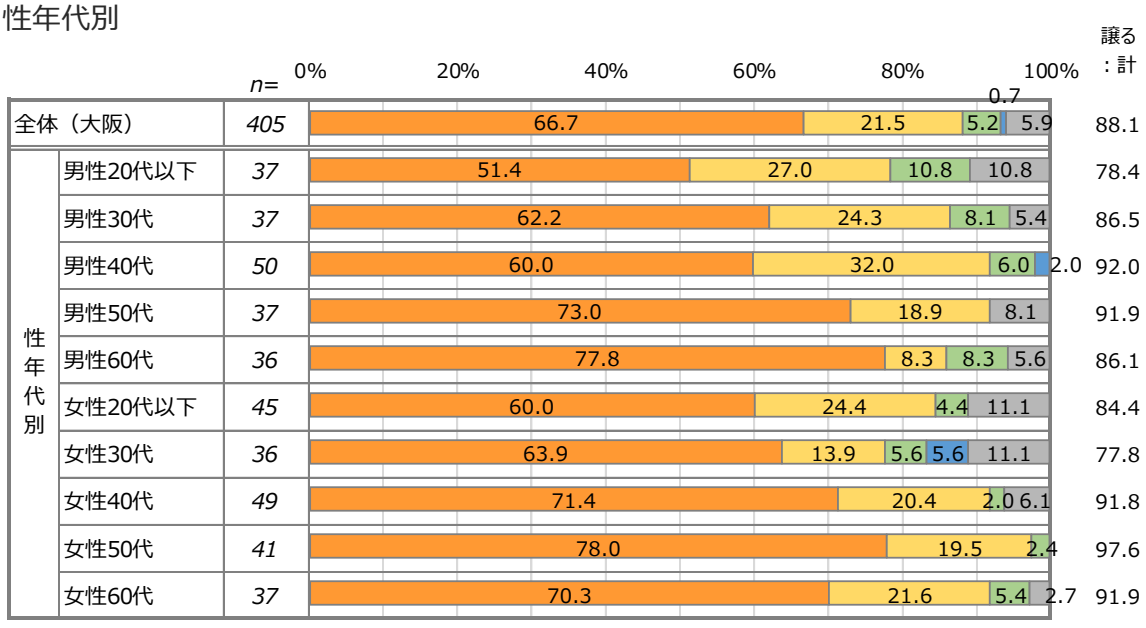
2 高齢者等に優先席を譲るか

■ 一部例外はあるが、東京、大阪とも、概ね年代が高くなるほど「譲る」の数値が高くなる。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

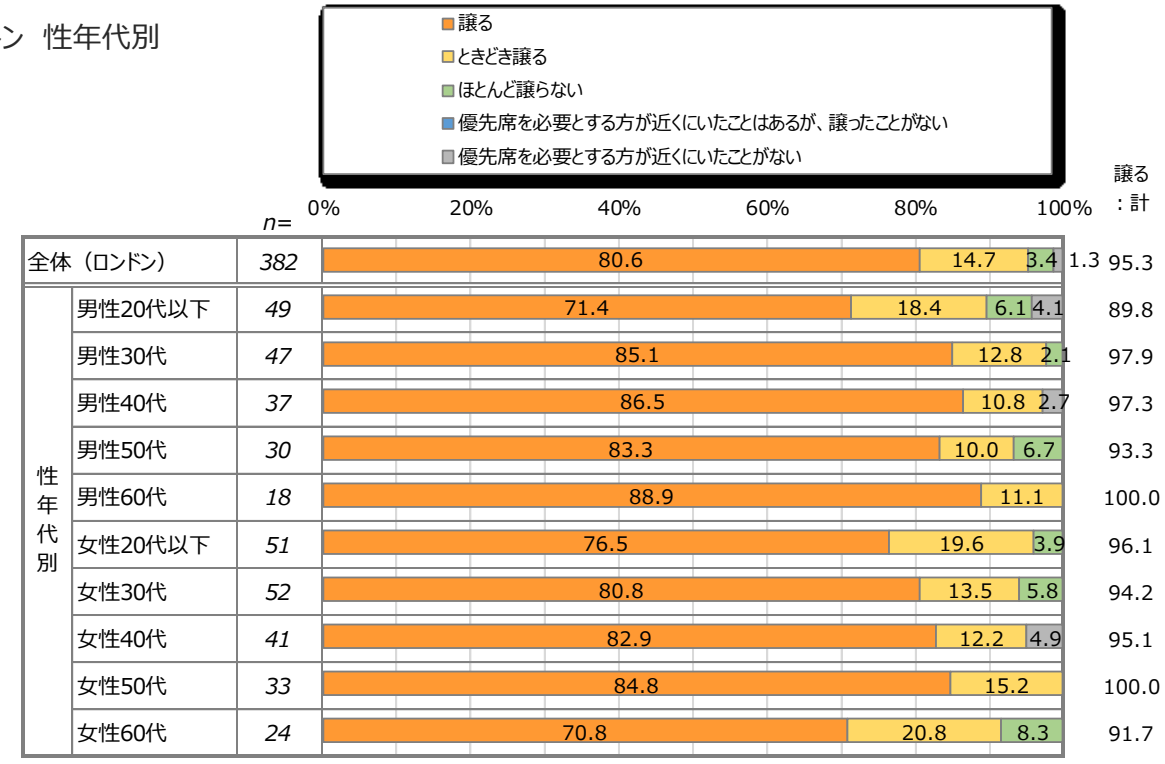


Q8. あなたが優先席に座っている際、高齢者、障害者、妊産婦、けが人など優先席を必要とする方が近くにいたら、席を譲りますか。

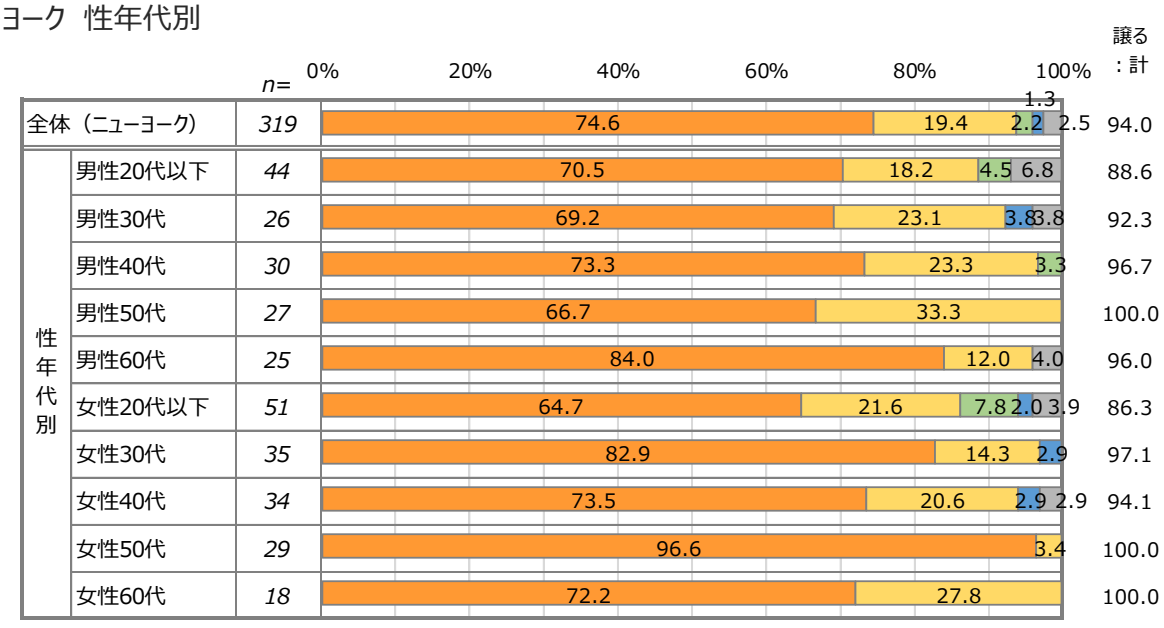
2 高齢者等に優先席を譲るか

- ロンドンは、男性は20代以下、女性は20代以下と60代で他に比べて「譲る」が低い。
- ニューヨークは、全般的にサンプル数が少ないため、参考値。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

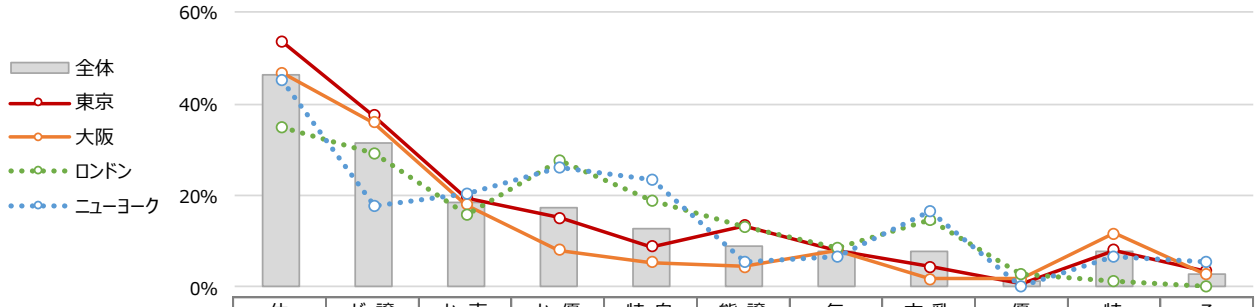


Q8. あなたが優先席に座っている際、高齢者、障害者、妊産婦、けが人など優先席を必要とする方が近くにいたら、席を譲りますか。

2 優先席を譲らなかった理由

- 各都市とも、「体調不良・怪我だったから」が最も多く、譲りたくても譲れなかったという状況が窺える。
- ロンドン、ニューヨークで、「自分が優先席を必要とする特性があるから」、「乳幼児や介護を必要とする方と同行していたから」との理由が高いのも、同じような意味合いだと思われる。
- 東京、大阪は、「譲るべき相手かどうか判断がつかなかったから」がロンドン、ニューヨークに比べて多い。

■地域別全体比較



			体調不良・怪我だったから	譲るべき相手かどうか判断がつかなかったから	声をかけるのが恥ずかしかったから	優先席以外が空いていなかったから	自分が優先席を必要とする特性があるから	譲ってもらって当然という態度が嫌だったから	気付かなかったから	乳幼児や介助を必要とする方と同行していたから	優先席に反対だから	特に理由はない	その他
全体		365	46.3	31.5	18.6	17.5	12.6	9.0	7.9	7.9	1.4	7.7	3.0
地域別	東京	112	53.6	37.5	19.6	15.2	8.9	13.4	8.0	4.5	0.9	8.0	3.6
	大阪	111	46.8	36.0	18.0	8.1	5.4	4.5	8.1	1.8	1.8	11.7	2.7
	ロンドン	69	34.8	29.0	15.9	27.5	18.8	13.0	8.7	14.5	2.9	1.4	-
	ニューヨーク	73	45.2	17.8	20.5	26.0	23.3	5.5	6.8	16.4	-	6.8	5.5

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

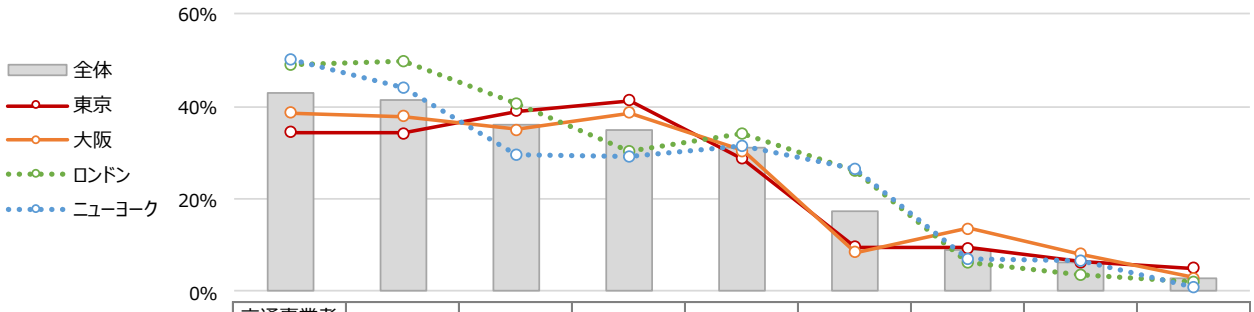
Q9. 優先席を譲らなかった時の理由をお教えください。（いくつでも）

2 必要な人が優先席を利用しやすくするための取り組み

- 東京、大阪は、「利用ルールの明確化」を上位にあげているが、「罰則の導入」には消極的。
- ロンドン、ニューヨークは、「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」、「表示の明確化」を求めるとともに、「罰則の導入や強化」についても東京、大阪に比べて許容。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

■地域別全体比較



			交通事業者によるアナウンスなど広報活動	表示の明確化	学校等での教育	利用ルールの明確化	メディア等での広報活動	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体		1,809	42.8	41.3	36.1	34.9	31.1	17.4	9.1	6.2	2.8
地域別	東京	479	34.4	34.2	39.0	41.3	28.6	9.6	9.4	6.3	5.0
	大阪	449	38.5	37.9	35.0	38.5	30.3	8.5	13.6	8.0	2.9
	ロンドン	443	48.8	49.9	40.6	30.2	34.3	26.0	6.1	3.8	2.0
	ニューヨーク	438	50.2	44.1	29.5	29.0	31.5	26.5	7.1	6.8	1.1

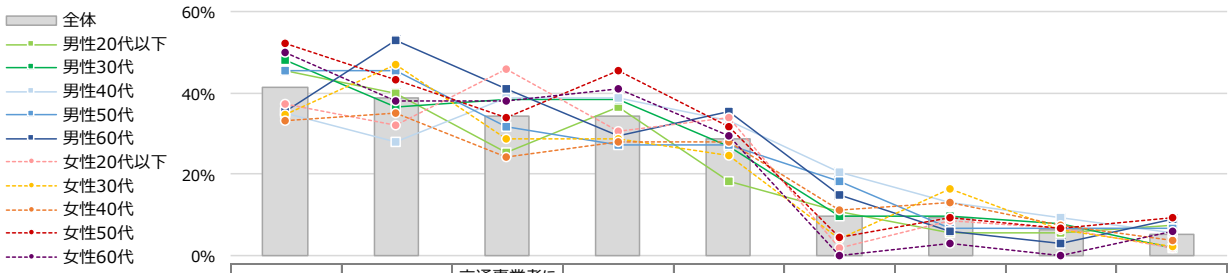
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q10. 今後、真に必要な方が優先席を利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が優先席を利用しやすくするための取り組み

- 東京で最も多かったのは「利用ルールの明確化」であるが、特に男性では30代、女性では50代と60代で多い。
- 大阪では「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」、「利用ルールの明確化」が上位。「広報活動」については、男女とも60代で多くなっている。

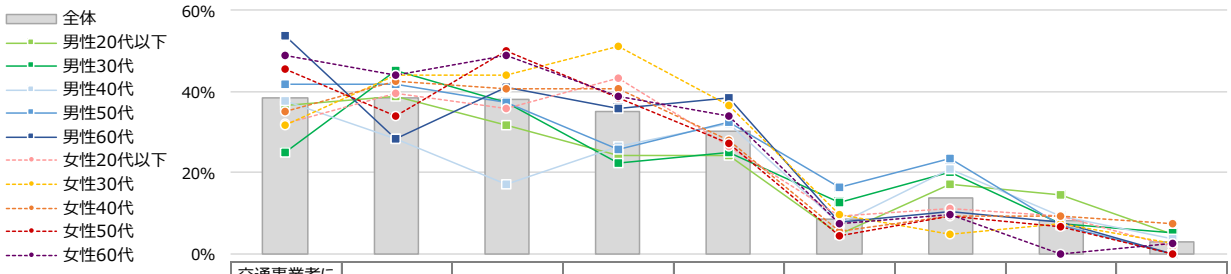
■東京　性年代別



			利用ルールの明確化	学校等での教育	交通事業者によるアナウンスなど広報活動	表示の明確化	メディア等での広報活動	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（東京）		479	41.3	39.0	34.4	34.2	28.6	9.6	9.4	6.3	5.0
性年代別	男性20代以下	55	45.5	40.0	25.5	36.4	18.2	10.9	5.5	5.5	7.3
	男性30代	52	48.1	36.5	38.5	38.5	26.9	9.6	9.6	7.7	1.9
	男性40代	54	35.2	27.8	38.9	38.9	33.3	20.4	13.0	9.3	5.6
	男性50代	44	45.5	45.5	31.8	27.3	27.3	18.2	6.8	6.8	6.8
	男性60代	34	35.3	52.9	41.2	29.4	35.3	14.7	5.9	2.9	8.8
	女性20代以下	59	37.3	32.2	45.8	30.5	33.9	1.7	8.5	6.8	1.7
	女性30代	49	34.7	46.9	28.6	28.6	24.5	4.1	16.3	6.1	2.0
	女性40代	54	33.3	35.2	24.1	27.8	27.8	11.1	13.0	7.4	3.7
	女性50代	44	52.3	43.2	34.1	45.5	31.8	4.5	9.1	6.8	9.1
	女性60代	34	50.0	38.2	38.2	41.2	29.4	-	2.9	-	5.9

※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			交通事業者によるアナウンスなど広報活動	利用ルールの明確化	表示の明確化	学校等での教育	メディア等での広報活動	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（大阪）		449	38.5	38.5	37.9	35.0	30.3	8.5	13.6	8.0	2.9
性年代別	男性20代以下	41	36.6	39.0	31.7	24.4	24.4	4.9	17.1	14.6	4.9
	男性30代	40	25.0	45.0	37.5	22.5	25.0	12.5	20.0	7.5	5.0
	男性40代	53	37.7	28.3	17.0	26.4	32.1	7.5	20.8	9.4	3.8
	男性50代	43	41.9	41.9	37.2	25.6	32.6	16.3	23.3	7.0	-
	男性60代	39	53.8	28.2	41.0	35.9	38.5	7.7	10.3	7.7	-
	女性20代以下	53	32.1	39.6	35.8	43.4	26.4	9.4	11.3	9.4	1.9
	女性30代	41	31.7	43.9	43.9	51.2	36.6	9.8	4.9	7.3	2.4
	女性40代	54	35.2	42.6	40.7	40.7	27.8	5.6	9.3	9.3	7.4
	女性50代	44	45.5	34.1	50.0	38.6	27.3	4.5	9.1	6.8	-
	女性60代	41	48.8	43.9	48.8	39.0	34.1	7.3	9.8	-	2.4

※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

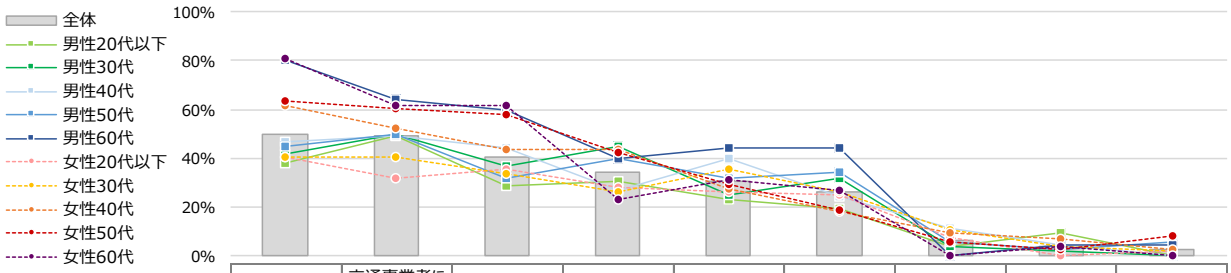
Q10. 今後、真に必要な方が優先席を利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が優先席を利用しやすくするための取り組み

- ロンドンで多いのは、「表示の明確化」と「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」。概ね年代が高くなるほどこれらの取り組みを求めている。
- ニューヨークでも「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」が上位。性年代で見ると、特に男性の30代、40代で数値が高い。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

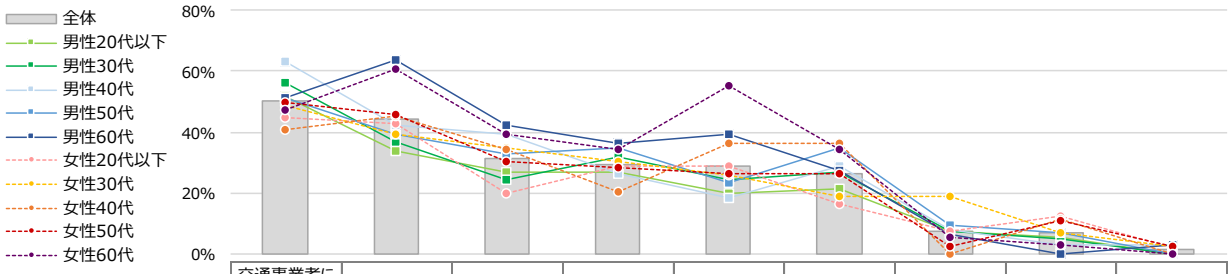
■ロンドン　性年代別



			表示の明確化	交通事業者によるアナウンスなど広報活動	学校等での教育	メディア等での広報活動	利用ルールの明確化	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（ロンドン）		443	49.9	48.8	40.6	34.3	30.2	26.0	6.1	3.8	2.0
性年代別	男性20代以下	53	37.7	49.1	28.3	30.2	22.6	18.9	3.8	9.4	-
	男性30代	60	41.7	50.0	36.7	45.0	25.0	31.7	3.3	1.7	-
	男性40代	45	46.7	48.9	44.4	26.7	40.0	24.4	11.1	4.4	-
	男性50代	38	44.7	50.0	31.6	39.5	31.6	34.2	5.3	2.6	5.3
	男性60代	25	80.0	64.0	60.0	40.0	44.0	44.0	-	4.0	4.0
	女性20代以下	57	40.4	31.6	35.1	28.1	26.3	24.6	7.0	-	1.8
	女性30代	57	40.4	40.4	33.3	26.3	35.1	26.3	10.5	3.5	1.8
	女性40代	44	61.4	52.3	43.2	43.2	27.3	18.2	9.1	6.8	2.3
	女性50代	38	63.2	60.5	57.9	42.1	28.9	18.4	5.3	2.6	7.9
	女性60代	26	80.8	61.5	61.5	23.1	30.8	26.9	-	3.8	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■ニューヨーク　性年代別



			交通事業者によるアナウンスなど広報活動	表示の明確化	メディア等での広報活動	学校等での教育	利用ルールの明確化	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（ニューヨーク）		438	50.2	44.1	31.5	29.5	29.0	26.5	7.1	6.8	1.1
性年代別	男性20代以下	56	51.8	33.9	26.8	26.8	19.6	21.4	7.1	5.4	-
	男性30代	41	56.1	36.6	24.4	31.7	24.4	26.8	7.3	4.9	-
	男性40代	38	63.2	42.1	39.5	26.3	18.4	28.9	7.9	2.6	2.6
	男性50代	43	51.2	39.5	32.6	34.9	23.3	34.9	9.3	7.0	-
	男性60代	33	51.5	63.6	42.4	36.4	39.4	27.3	6.1	-	3.0
	女性20代以下	56	44.6	42.9	19.6	28.6	28.6	16.1	7.1	12.5	1.8
	女性30代	43	48.8	39.5	34.9	30.2	25.6	18.6	18.6	7.0	2.3
	女性40代	44	40.9	45.5	34.1	20.5	36.4	36.4	-	11.4	-
	女性50代	46	50.0	45.7	30.4	28.3	26.1	26.1	2.2	10.9	2.2
	女性60代	38	47.4	60.5	39.5	34.2	55.3	34.2	5.3	2.6	-

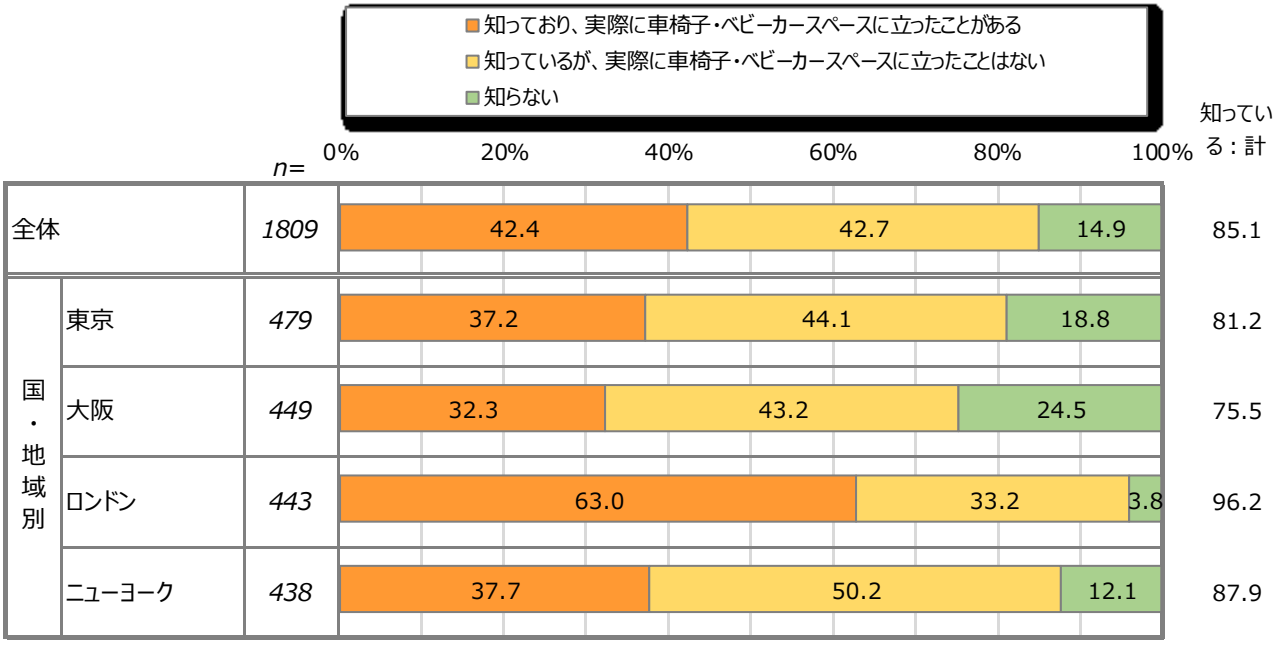
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q10. 今後、真に必要な方が優先席を利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 車椅子・ベビーカースペースの認知

- 認知率が最も高いのはロンドン。ほぼ全員が知っており、6割以上がそこに“立ったことがある”と回答。
- 東京と大阪を比較すると、大阪の方が5ポイント以上認知率が低い。

■地域別全体比較

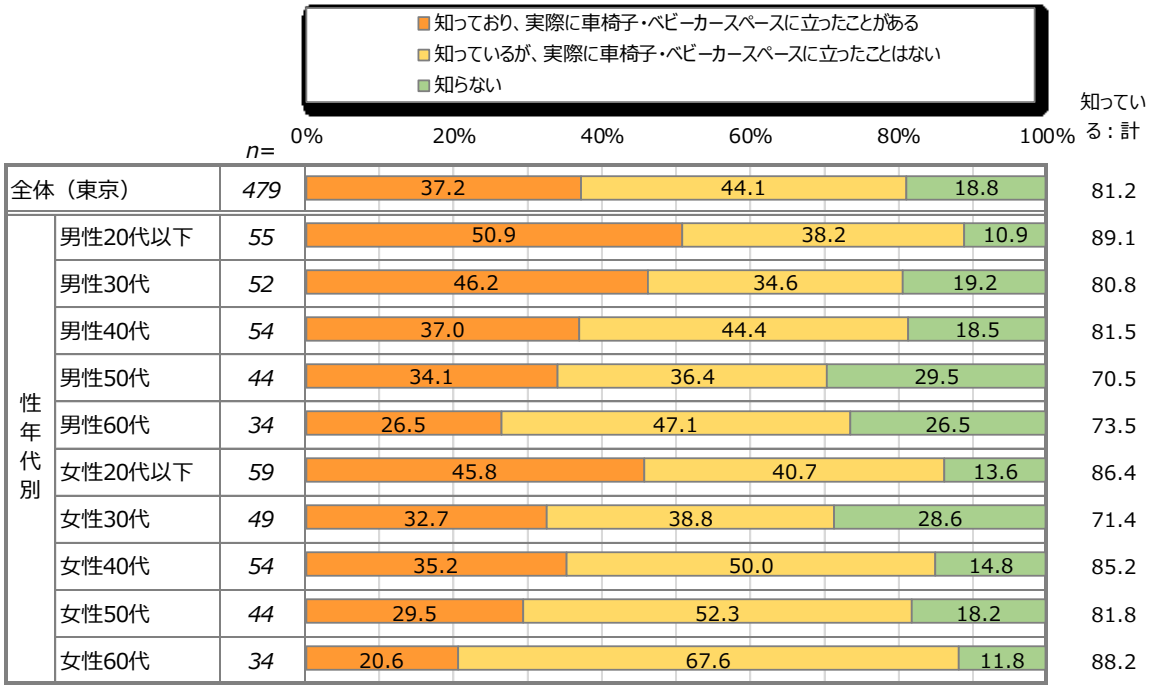


Q11. 電車・バス等に設置されている車椅子・ベビーカースペースを知っていますか。

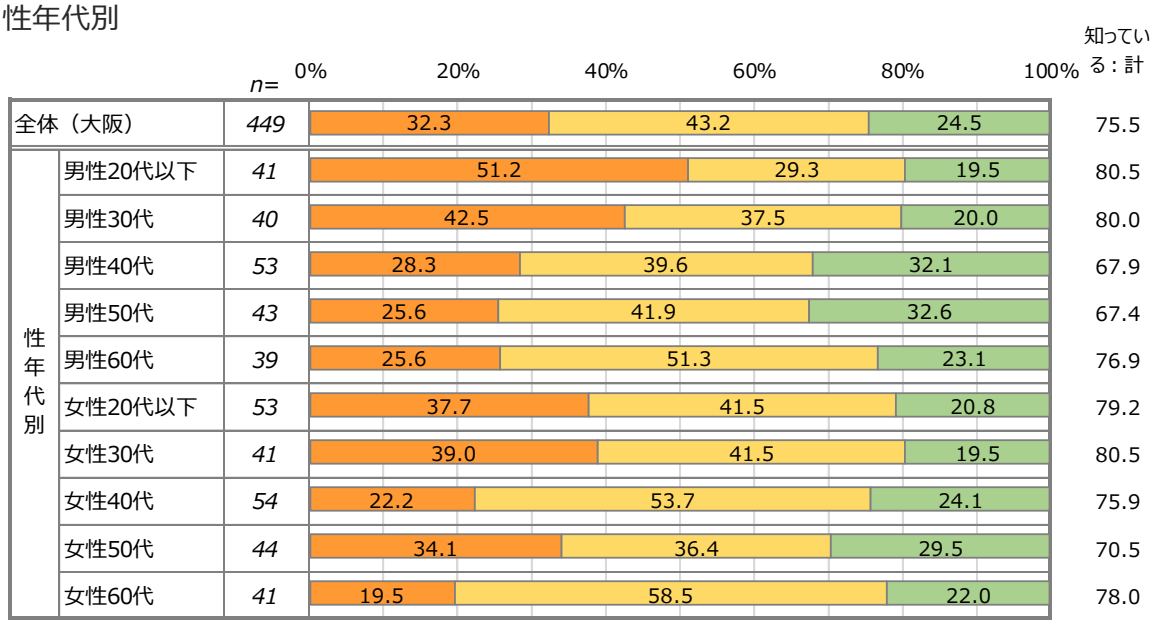
2 車椅子・ベビーカースペースの認知

- 東京では男性は20代以下、女性では20代以下の他、40代、60代の認知率が高い。
- 大阪は、男女とも20代以下と30代の認知率が高い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

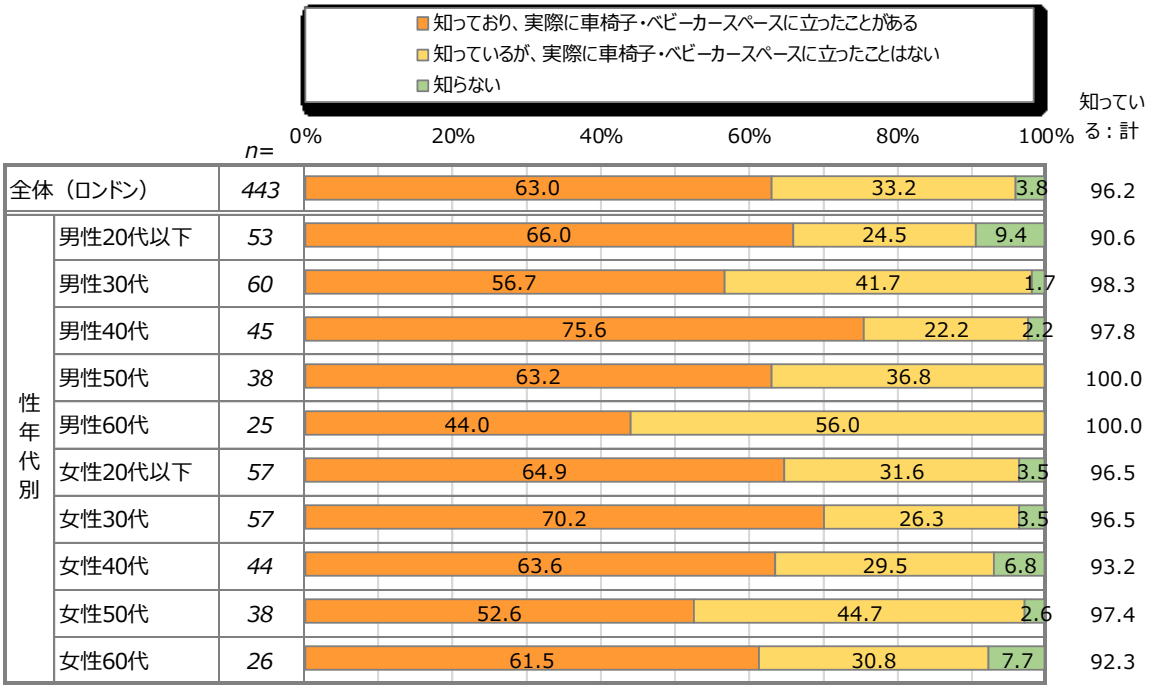


Q11. 電車・バス等に設置されている車椅子・ベビーカースペースを知っていますか。

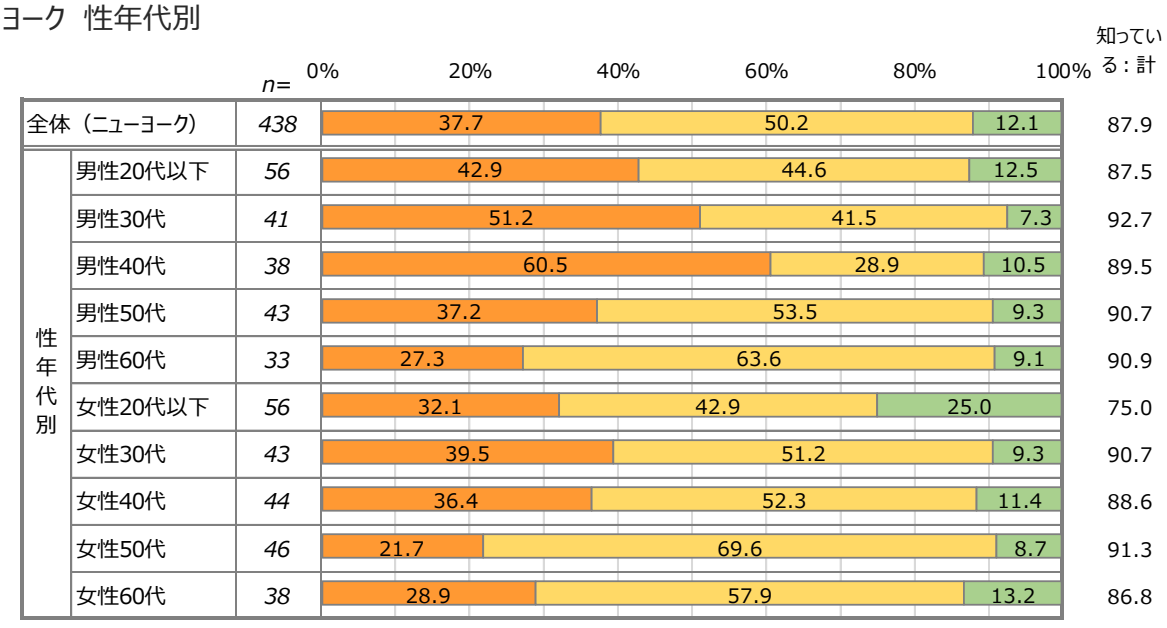
2 車椅子・ベビーカースペースの認知

- ロンドンは、性年代にかかわらず9割以上が認知。
- ニューヨークでは、女性20代以下の認知率が低いのが目立つ。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

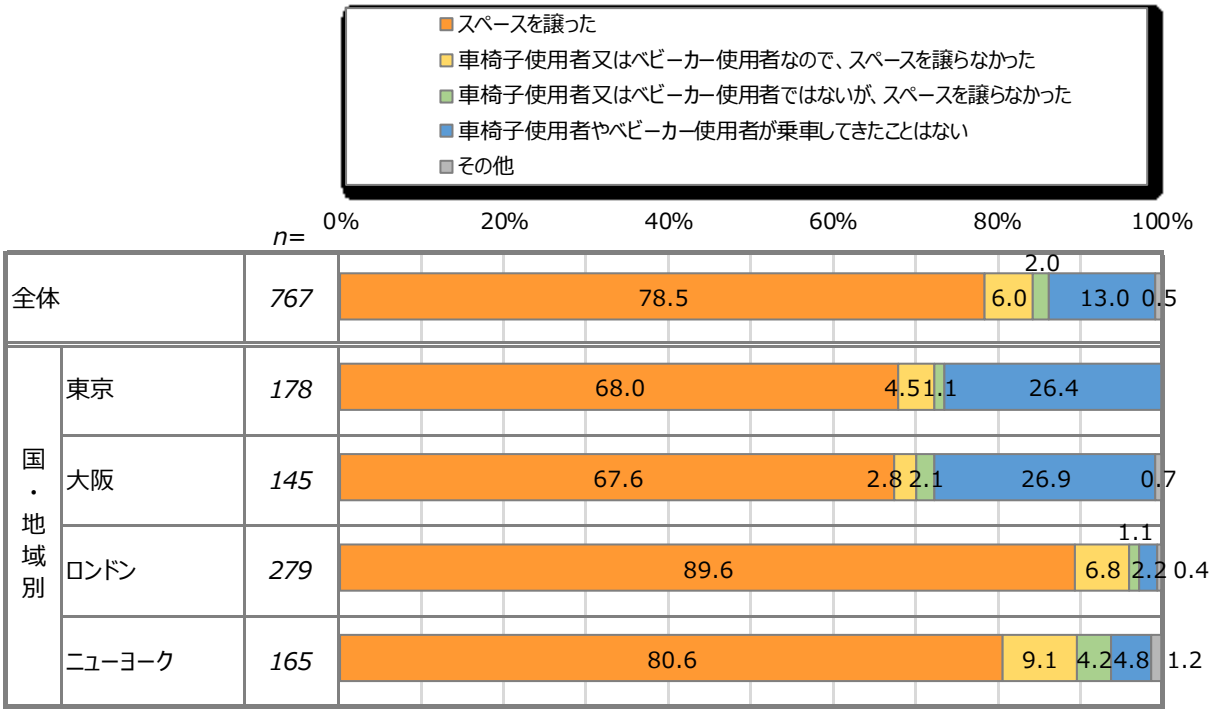


Q11. 電車・バス等に設置されている車椅子・ベビーカースペースを知っていますか。

2 車椅子・ベビーカー使用者乗車時の行動

- ロンドン、ニューヨークでは、8~9割が「スペースを譲った」と回答。
- 他方、東京、大阪では、車椅子・ベビーカースペースに立っていても、1/4は「車椅子使用者やベビーカー使用者が乗車してきたことはない」と回答しており、ロンドン、ニューヨークに比べて車椅子・ベビーカースペースがあまり利用されていないことが窺える。

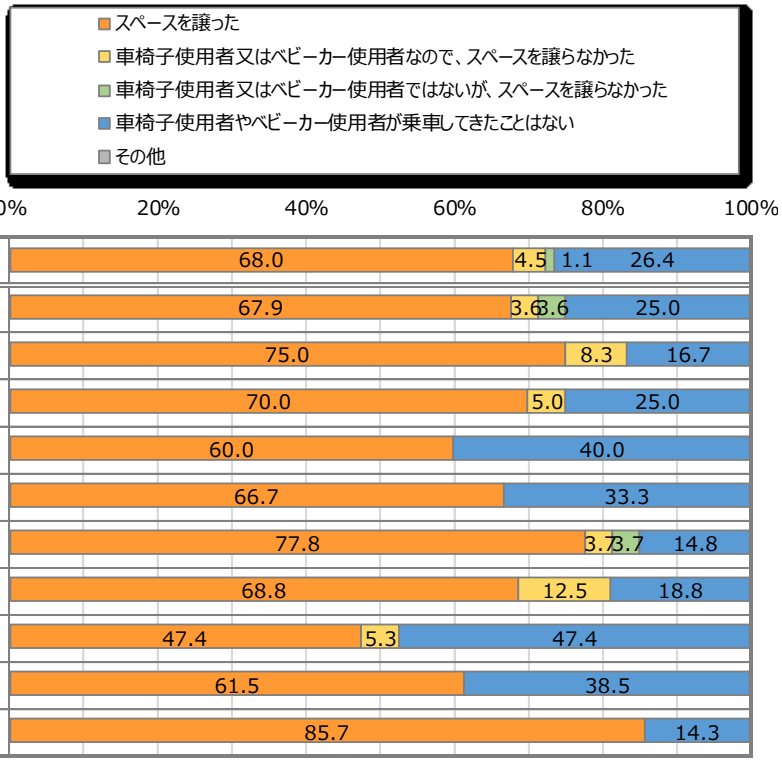
■地域別全体比較



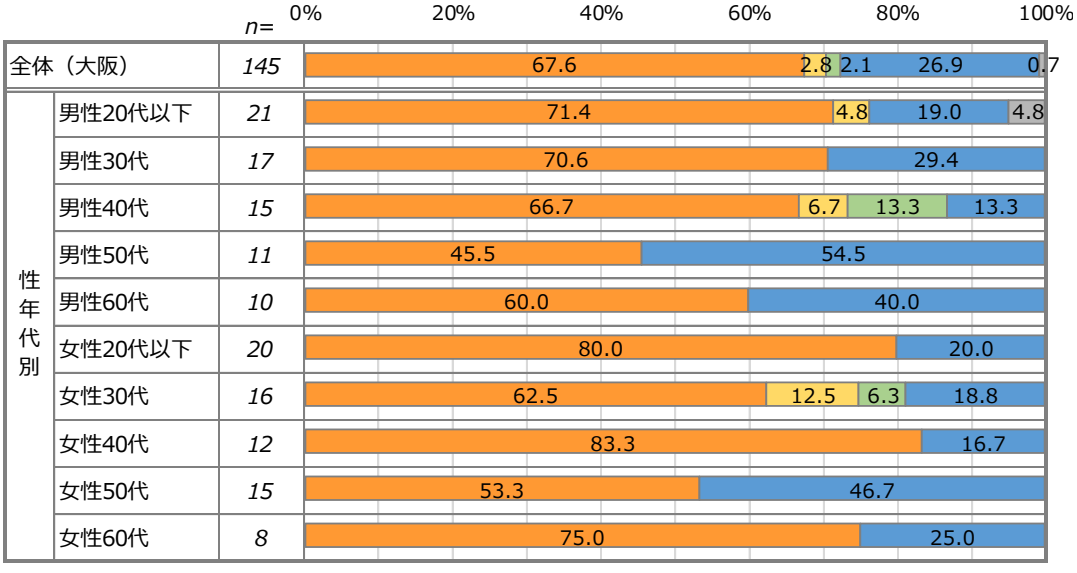
Q12. 電車・バス等に車椅子使用者やベビーカー使用者が乗車して来た際、どのような行動をしましたか。直近の経験として最も当てはまるものをお教えください。

サンプル数が少ないため、参考値。

■東京　性年代別



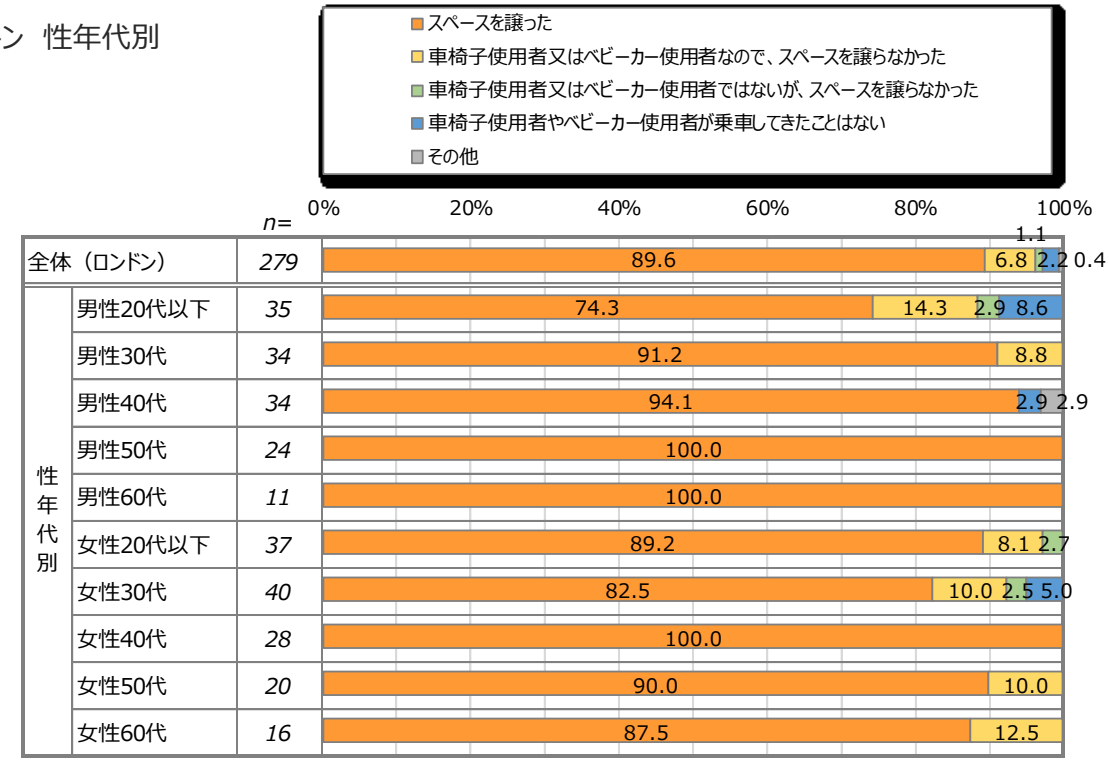
■大阪　性年代別



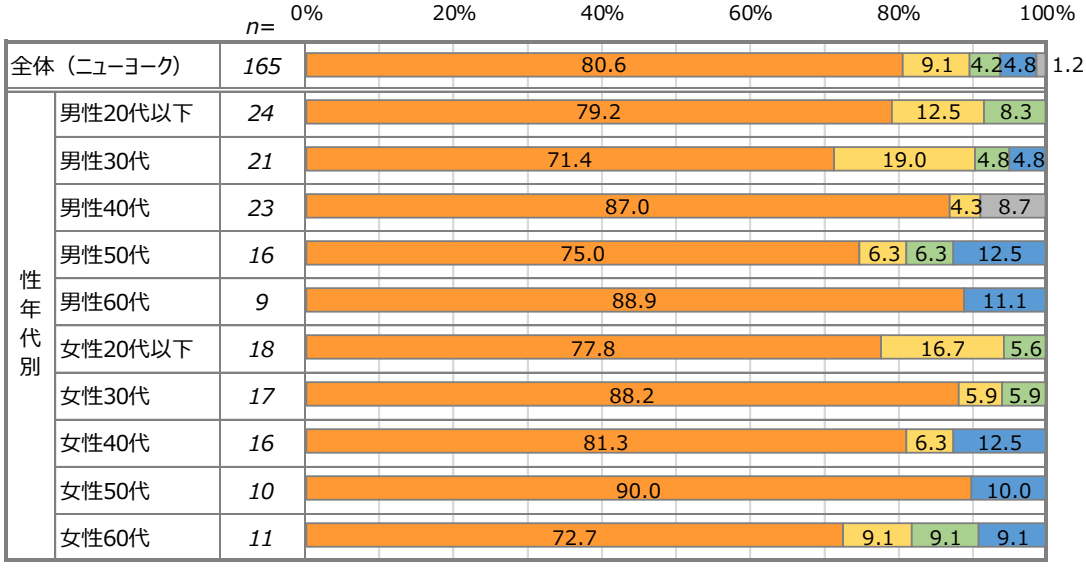
Q12. 電車・バス等に車椅子使用者やベビーカー使用者が乗車して来た際、どのような行動をしましたか。直近の経験として最も当てはまるものをお教えください。

サンプル数が少ないため、参考値。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

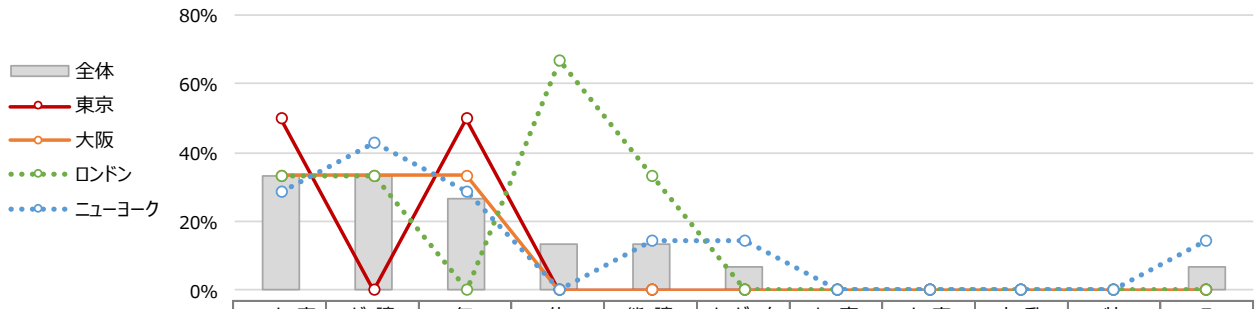


Q12. 電車・バス等に車椅子使用者やベビーカー使用者が乗車して来た際、どのような行動をしましたか。直近の経験として最も当てはまるものをお教えください。

2 車椅子スペース・ベビーカースペースを譲らなかった理由

サンプル数が少ないため、参考値。

■地域別全体比較



			車椅子スペース・ベビーカースペース以外が空いていなかったから	譲るべき相手かどうか判断がつかなかったから	気付かなかったから	体調不良・怪我だったから	譲ってもらって当然という態度が嫌だったから	自分が車椅子スペース・ベビーカースペースを必要とする特性があるから	声をかけるのが恥ずかしかったから	車椅子スペース・ベビーカースペースに反対だから	乳幼児や介助を必要とする方と同行していたから	特に理由はない	その他
全体		15	33.3	33.3	26.7	13.3	13.3	6.7	-	-	-	-	6.7
地域別	東京	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	大阪	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロンドン	3	33.3	33.3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-
	ニューヨーク	7	28.6	42.9	28.6	-	14.3	14.3	-	-	-	-	14.3

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

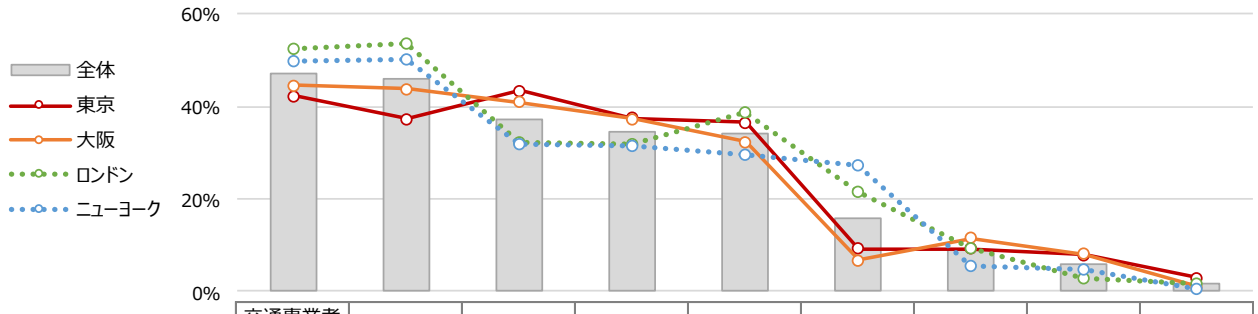
Q12-2. 車椅子スペース・ベビーカースペースを譲らなかった時の理由をお教えください。（いくつでも）

2 必要な人が車椅子スペース・ベビーカースペースを利用しやすくするための取り組み

- 東京は、優先席と同様「利用ルールの明確化」が最も多い。
- 大阪およびロンドン、ニューヨークは、「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」、「表示の明確化」が上位。
- 優先席と同様、東京、大阪では「罰則の導入」を求める声は少ない。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

■地域別全体比較



			交通事業者によるアナウンスなど広報活動	表示の明確化	利用ルールの明確化	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体		1,809	47.2	45.9	37.1	34.5	34.3	16.0	9.0	5.9	1.7
地域別	東京	479	42.2	37.2	43.4	37.4	36.5	9.2	9.2	7.9	2.9
	大阪	449	44.5	43.7	40.8	37.2	32.3	6.7	11.6	8.0	1.1
	ロンドン	443	52.6	53.5	32.1	31.8	38.6	21.7	9.5	2.7	1.8
	ニューヨーク	438	49.8	50.2	31.7	31.3	29.5	27.2	5.5	4.6	0.7

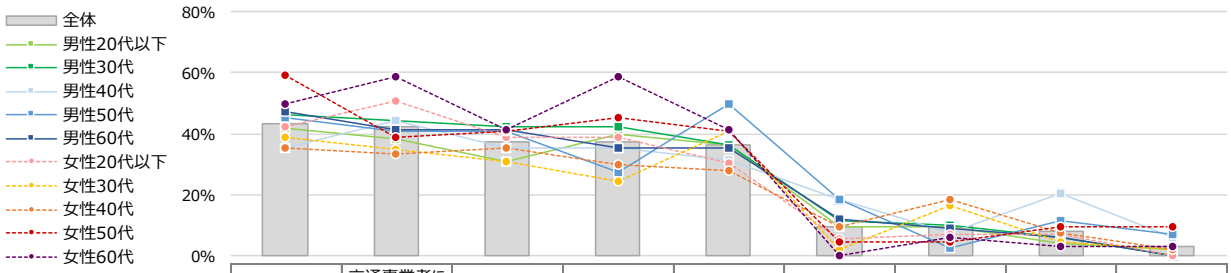
※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q12-3. 今後、真に必要な方が車椅子スペース・ベビーカースペースを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が車椅子スペース・ベビーカースペースを利用しやすくするための取り組み

■ 東京は「利用ルールの明確化」、大阪は「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」が最も多く、性年代別では男女とも比較的50代、60代でその傾向が強い。

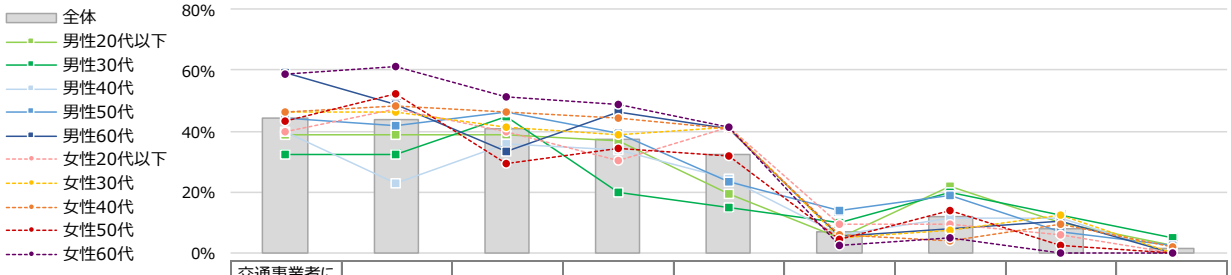
■東京　性年代別



			利用ルールの明確化	交通事業者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	表示の明確化	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（東京）		479	43.4	42.2	37.4	37.2	36.5	9.2	9.2	7.9	2.9
性年代別	男性20代以下	55	41.8	38.2	30.9	40.0	36.4	9.1	9.1	3.6	1.8
	男性30代	52	46.2	44.2	42.3	42.3	36.5	11.5	9.6	5.8	-
	男性40代	54	35.2	44.4	35.2	35.2	31.5	18.5	7.4	20.4	5.6
	男性50代	44	45.5	40.9	40.9	27.3	50.0	18.2	2.3	11.4	6.8
	男性60代	34	47.1	41.2	41.2	35.3	35.3	11.8	8.8	5.9	-
	女性20代以下	59	42.4	50.8	39.0	39.0	30.5	5.1	6.8	6.8	-
	女性30代	49	38.8	34.7	30.6	24.5	40.8	2.0	16.3	4.1	2.0
	女性40代	54	35.2	33.3	35.2	29.6	27.8	9.3	18.5	7.4	1.9
	女性50代	44	59.1	38.6	40.9	45.5	40.9	4.5	4.5	9.1	9.1
	女性60代	34	50.0	58.8	41.2	58.8	41.2	-	5.9	2.9	2.9

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			交通事業者によるアナウンスなど広報活動	表示の明確化	利用ルールの明確化	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（大阪）		449	44.5	43.7	40.8	37.2	32.3	6.7	11.6	8.0	1.1
性年代別	男性20代以下	41	39.0	39.0	39.0	36.6	19.5	4.9	22.0	9.8	2.4
	男性30代	40	32.5	32.5	45.0	20.0	15.0	10.0	20.0	12.5	5.0
	男性40代	53	39.6	22.6	35.8	34.0	24.5	5.7	11.3	11.3	-
	男性50代	43	44.2	41.9	46.5	39.5	23.3	14.0	18.6	7.0	2.3
	男性60代	39	59.0	48.7	33.3	46.2	41.0	5.1	7.7	10.3	-
	女性20代以下	53	39.6	47.2	39.6	30.2	41.5	9.4	9.4	5.7	-
	女性30代	41	46.3	46.3	41.5	39.0	41.5	4.9	7.3	12.2	-
	女性40代	54	46.3	48.1	46.3	44.4	40.7	5.6	3.7	9.3	1.9
	女性50代	44	43.2	52.3	29.5	34.1	31.8	4.5	13.6	2.3	-
	女性60代	41	58.5	61.0	51.2	48.8	41.5	2.4	4.9	-	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

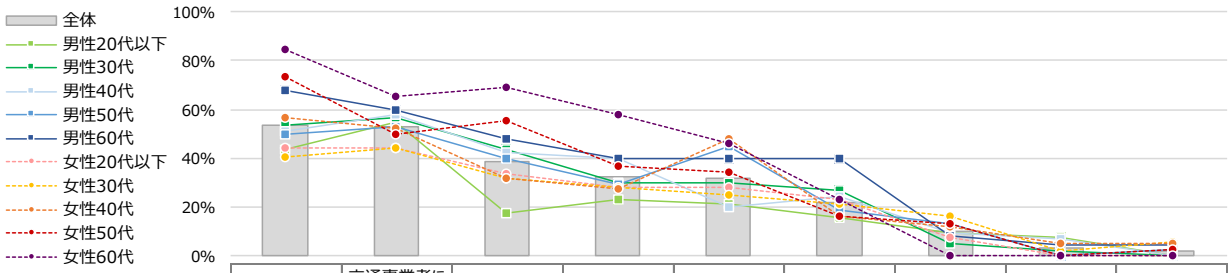
Q12-3. 今後、真に必要な方が車椅子スペース・ベビーカースペースを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が車椅子スペース・ベビーカースペースを利用しやすくするための取り組み

- ロンドン、ニューヨークとも、「表示の明確化」と「交通事業者によるアナウンスなど広報活動」が多い。
- 性年代では、男女とも60代でその比率が高くなっている。（ただし、ニューヨークの男性60代は、「広告活動」の数値は他に比べて低い。）

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

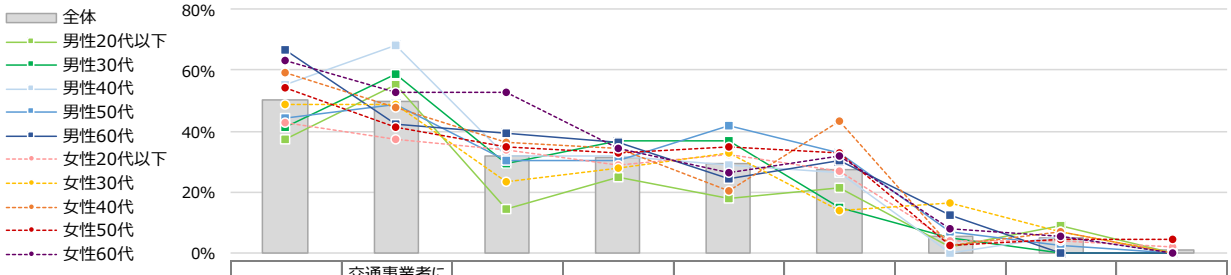
■ロンドン　性年代別



			表示の明確化	交通事業者によるアナウンスなど広報活動	学校等での教育	利用ルールの明確化	メディア等での広報活動	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（ロンドン）		443	53.5	52.6	38.6	32.1	31.8	21.7	9.5	2.7	1.8
性年代別	男性20代以下	53	43.4	54.7	17.0	22.6	20.8	15.1	9.4	7.5	-
	男性30代	60	53.3	56.7	43.3	30.0	30.0	26.7	5.0	1.7	-
	男性40代	45	51.1	57.8	42.2	40.0	20.0	24.4	8.9	6.7	-
	男性50代	38	50.0	52.6	39.5	28.9	44.7	18.4	13.2	-	2.6
	男性60代	25	68.0	60.0	48.0	40.0	40.0	40.0	8.0	4.0	4.0
	女性20代以下	57	43.9	43.9	33.3	28.1	28.1	22.8	7.0	-	-
	女性30代	57	40.4	43.9	31.6	28.1	24.6	21.1	15.8	1.8	5.3
	女性40代	44	56.8	52.3	31.8	27.3	47.7	15.9	11.4	4.5	4.5
	女性50代	38	73.7	50.0	55.3	36.8	34.2	15.8	13.2	-	2.6
	女性60代	26	84.6	65.4	69.2	57.7	46.2	23.1	-	-	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■ニューヨーク　性年代別



			表示の明確化	交通事業者によるアナウンスなど広報活動	利用ルールの明確化	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（ニューヨーク）		438	50.2	49.8	31.7	31.3	29.5	27.2	5.5	4.6	0.7
性年代別	男性20代以下	56	37.5	55.4	14.3	25.0	17.9	21.4	1.8	8.9	-
	男性30代	41	41.5	58.5	29.3	36.6	36.6	14.6	4.9	-	-
	男性40代	38	55.3	68.4	31.6	31.6	28.9	26.3	-	5.3	-
	男性50代	43	44.2	48.8	30.2	30.2	41.9	32.6	7.0	2.3	-
	男性60代	33	66.7	42.4	39.4	36.4	24.2	30.3	12.1	-	-
	女性20代以下	56	42.9	37.5	33.9	28.6	32.1	26.8	3.6	3.6	1.8
	女性30代	43	48.8	48.8	23.3	27.9	32.6	14.0	16.3	7.0	-
	女性40代	44	59.1	47.7	36.4	34.1	20.5	43.2	2.3	6.8	-
	女性50代	46	54.3	41.3	34.8	32.6	34.8	32.6	2.2	4.3	4.3
	女性60代	38	63.2	52.6	52.6	34.2	26.3	31.6	7.9	5.3	-

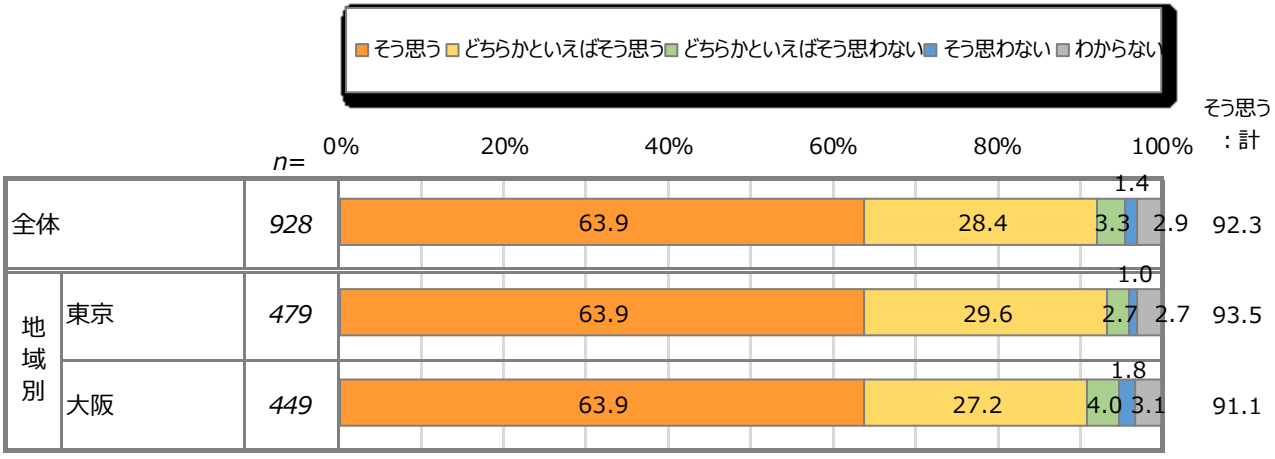
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q12-3. 今後、真に必要な方が車椅子スペース・ベビーカースペースを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 多機能トイレの優先使用についての意見

■ 東京、大阪とも、多機能トイレの優先使用についての意識はほとんど変わらず、9割以上が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答。

■地域別全体比較

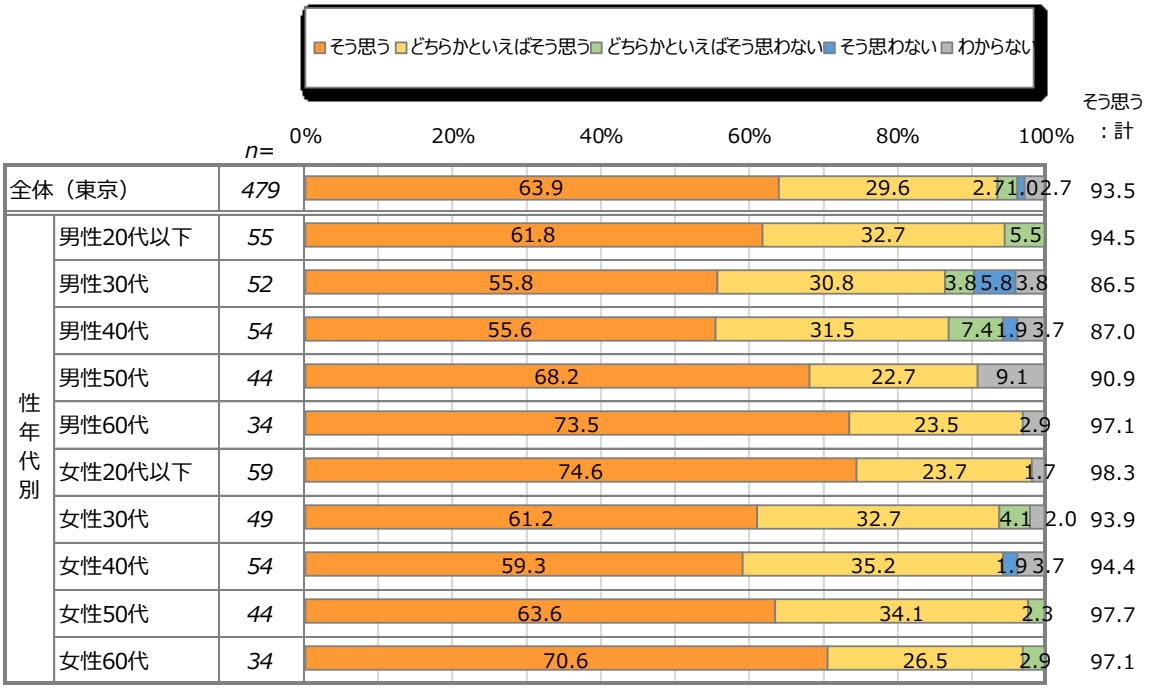


Q13. 多機能トイレは本来、車椅子使用者、オストメイト、乳幼児連れの方、介助を必要とする方などが優先して使用すべきだと思いますか。

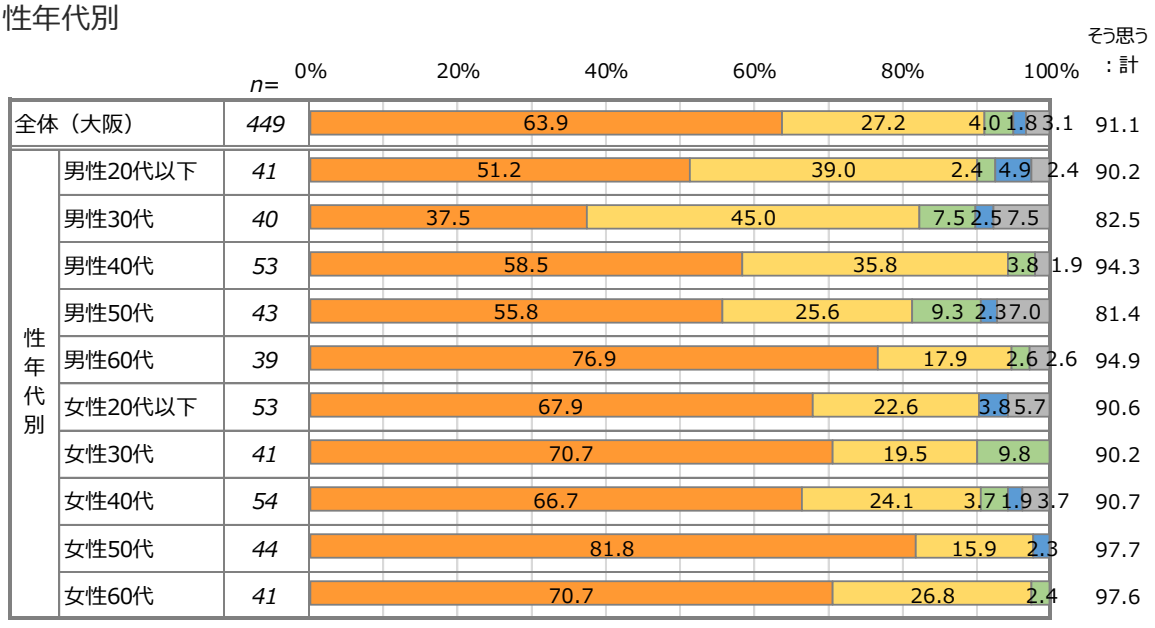
2 多機能トイレの優先使用についての意見

- 東京は性別での差異は少ないが、年代では、男女とも30代、40代で「そう思う」が他に比べて低い。
- 大阪は60代を除く男性全般で「そう思う」の数値が低い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

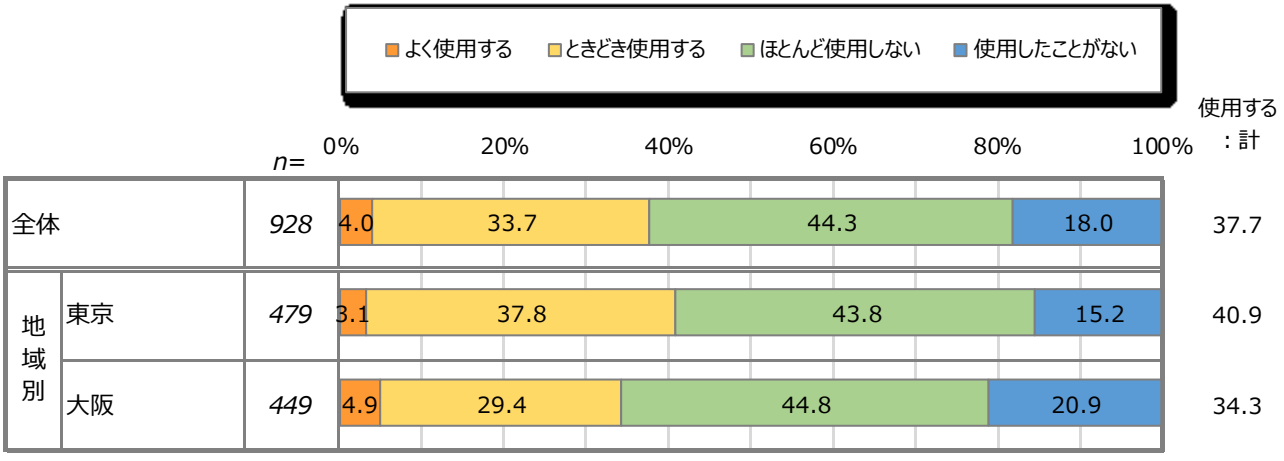


Q13. 多機能トイレは本来、車椅子使用者、オストメイト、乳幼児連れの方、介助を必要とする方などが優先して使用すべきだと思いますか。

2 多機能トイレの使用頻度

- 多機能トイレを使用しているのは3～4割程度。
- 大阪に比べて東京の方が5ポイント以上利用率が高い。

■地域別全体比較

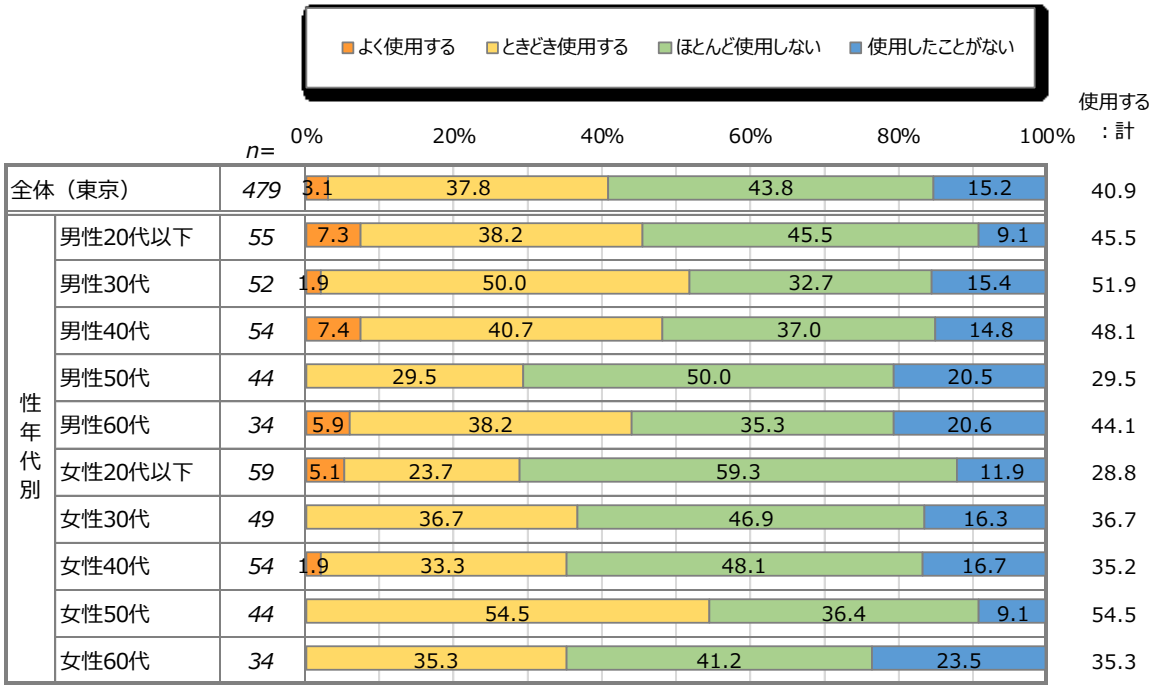


Q14. あなたは普段、多機能トイレを使用しますか。

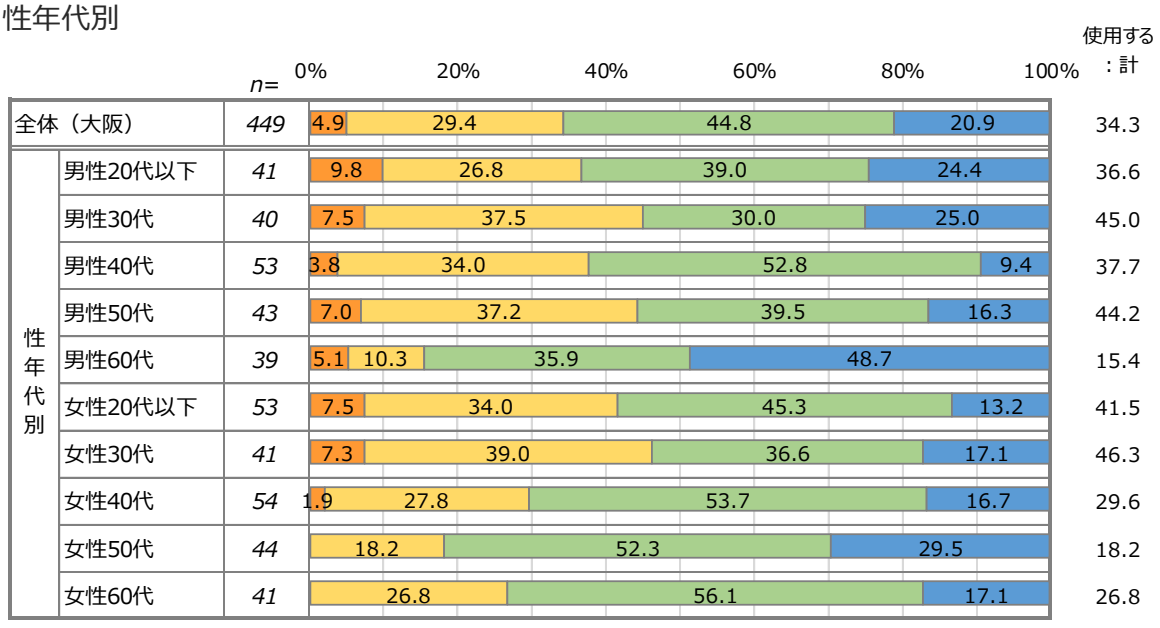
2 多機能トイレの使用頻度

- 東京では、男性の30代、40代、女性の50代で他に比べて利用頻度が高い。
- 大阪は東京に比べて利用頻度が低いが、男性60代、女性40代、50代、60代の利用率が低い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

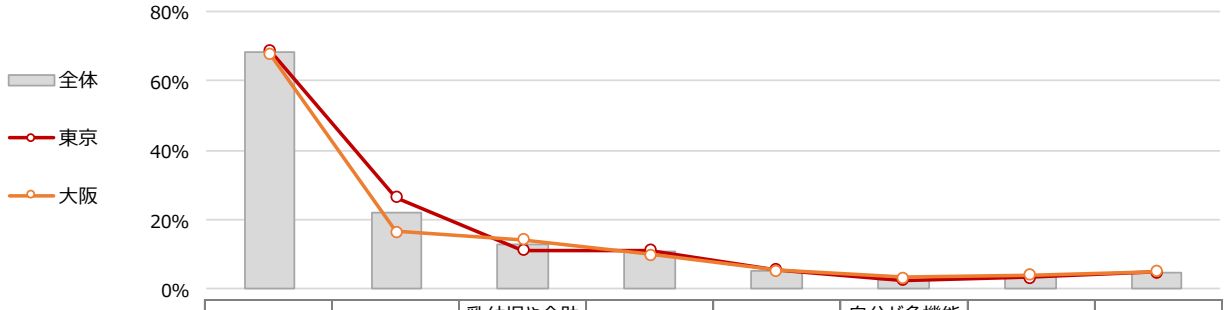


Q14. あなたは普段、多機能トイレを使用しますか。

2 多機能トイレの使用理由

- 多機能トイレを利用した理由は、東京、大阪とも「一般のトイレが開いていなかったから」で、利用者のほぼ7割を占める。
- 「広いから」、「きれいだから」といった嗜好性による理由は5～10%程度。

■地域別全体比較



			一般のトイレが空いていなかったから	一般のトイレが近くになかったから	乳幼児や介助を必要とする方と同行していたから	広いから	きれいだから	自分が多機能トイレを必要とする特性があるから	特に理由はない	その他
全体		761	68.2	21.9	12.7	10.8	5.5	3.0	3.8	5.0
地域別	東京	406	68.7	26.6	11.3	11.3	5.7	2.7	3.4	4.9
	大阪	355	67.6	16.6	14.4	10.1	5.4	3.4	4.2	5.1

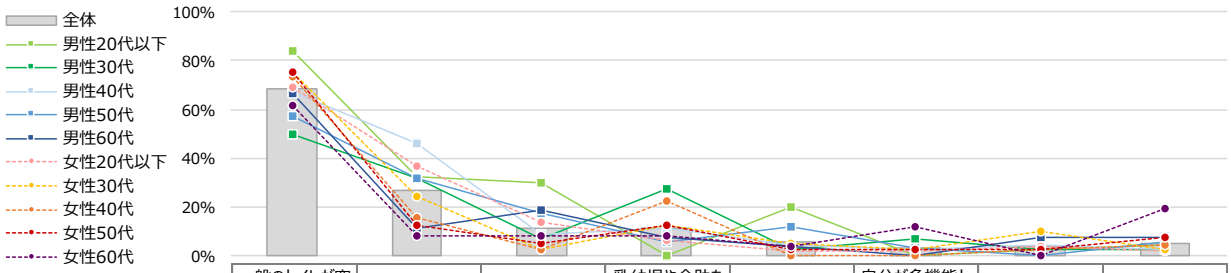
※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q15. 多機能トイレを使用した時の理由をお教えください。（いくつでも）

2 多機能トイレの使用理由

- 東京、大阪とも、性年代に関係なく「一般のトイレが開いていなかったから」が最も多い。
- 「広いから」、「きれいだから」は、東京、大阪とも男性の20代以下で多くなっているが、特に東京でその傾向が強い。

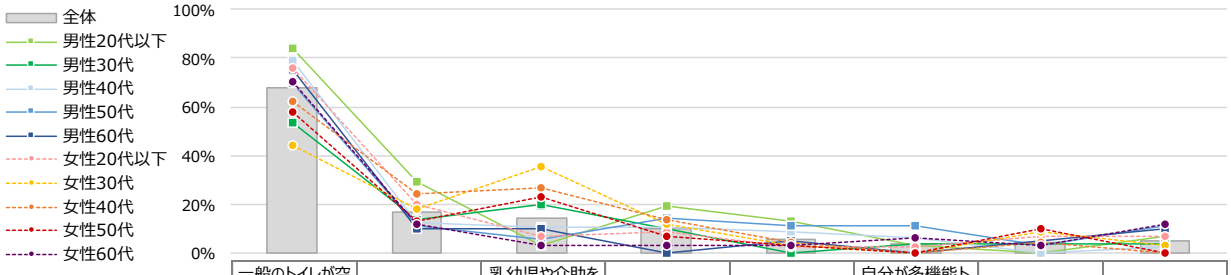
■東京　性年代別



			一般のトイレが空いていなかったから	一般のトイレが近くになかったから	広いから	乳幼児や介助を必要とする方と同行していたから	きれいだから	自分が多機能トイレを必要とする特性があるから	特に理由はない	その他
全体（東京）		406	68.7	26.6	11.3	11.3	5.7	2.7	3.4	4.9
性年代別	男性20代以下	50	84.0	32.0	30.0	-	20.0	-	2.0	4.0
	男性30代	44	50.0	31.8	6.8	27.3	2.3	6.8	2.3	2.3
	男性40代	46	67.4	45.7	8.7	10.9	4.3	2.2	4.3	2.2
	男性50代	35	57.1	31.4	17.1	5.7	11.4	2.9	-	5.7
	男性60代	27	66.7	11.1	18.5	7.4	3.7	-	7.4	7.4
	女性20代以下	52	69.2	36.5	13.5	5.8	1.9	1.9	3.8	1.9
	女性30代	41	75.6	24.4	2.4	12.2	4.9	2.4	9.8	2.4
	女性40代	45	73.3	15.6	2.2	22.2	-	-	2.2	4.4
	女性50代	40	75.0	12.5	5.0	12.5	2.5	2.5	2.5	7.5
	女性60代	26	61.5	7.7	7.7	7.7	3.8	11.5	-	19.2

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			一般のトイレが空いていなかったから	一般のトイレが近くになかったから	乳幼児や介助を必要とする方と同行していたから	広いから	きれいだから	自分が多機能トイレを必要とする特性があるから	特に理由はない	その他
全体（大阪）		355	67.6	16.6	14.4	10.1	5.4	3.4	4.2	5.1
性年代別	男性20代以下	31	83.9	29.0	3.2	19.4	12.9	3.2	-	6.5
	男性30代	30	53.3	13.3	20.0	10.0	-	3.3	3.3	3.3
	男性40代	48	79.2	12.5	10.4	10.4	8.3	6.3	-	2.1
	男性50代	36	69.4	11.1	5.6	13.9	11.1	11.1	2.8	11.1
	男性60代	20	75.0	10.0	10.0	-	5.0	-	5.0	10.0
	女性20代以下	46	76.1	19.6	6.5	8.7	2.2	2.2	6.5	6.5
	女性30代	34	44.1	17.6	35.3	11.8	2.9	-	8.8	2.9
	女性40代	45	62.2	24.4	26.7	13.3	4.4	-	4.4	-
	女性50代	31	58.1	12.9	22.6	6.5	3.2	-	9.7	-
	女性60代	34	70.6	11.8	2.9	2.9	2.9	5.9	2.9	11.8

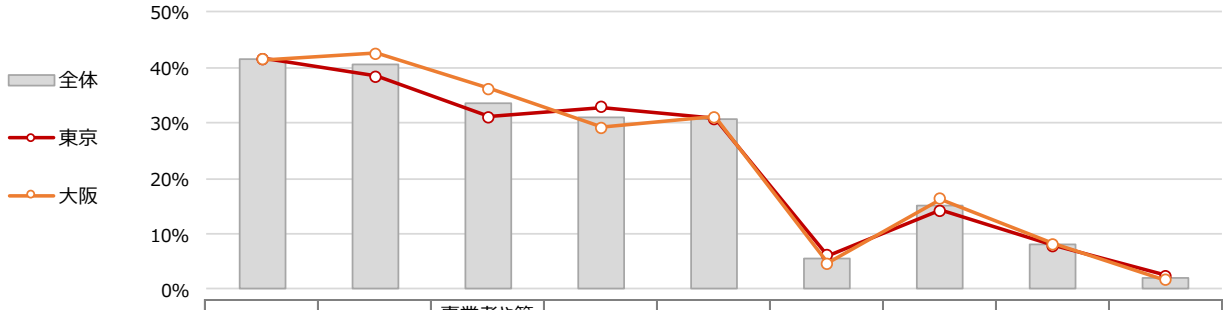
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q15. 多機能トイレを使用した時の理由をお教えください。（いくつでも）

2 必要な人が多機能トイレを利用しやすくするための取り組み

東京、大阪とも「利用ルールの明確化」、「表示の明確化」が多い。

■地域別全体比較



			利用ルールの明確化	表示の明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	学校等での教育	メディア等での広報活動	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体		928	41.5	40.4	33.5	31.0	30.8	5.4	15.2	8.1	2.0
地域別	東京	479	41.5	38.4	31.1	32.8	30.7	6.1	14.2	7.9	2.5
	大阪	449	41.4	42.5	36.1	29.2	31.0	4.7	16.3	8.2	1.6

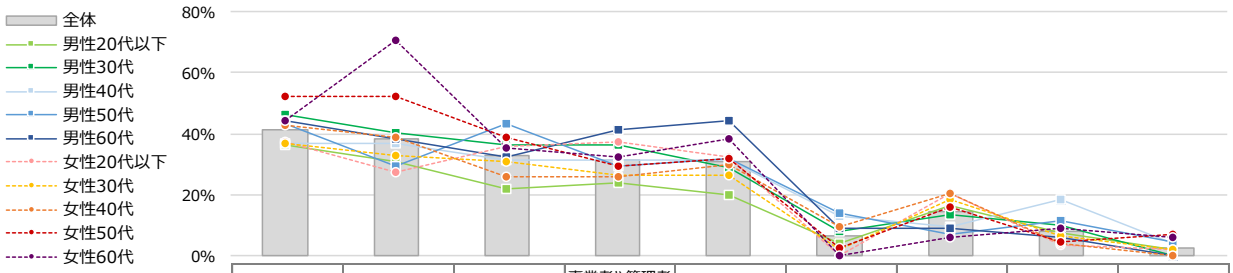
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q16. 今後、真に必要な方が多機能トイレを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が多機能トイレを利用しやすくするための取り組み

■ 女性の50代、60代は、東京では「表示の明確化」、大阪では「利用ルールの明確化」を求める声が多い。

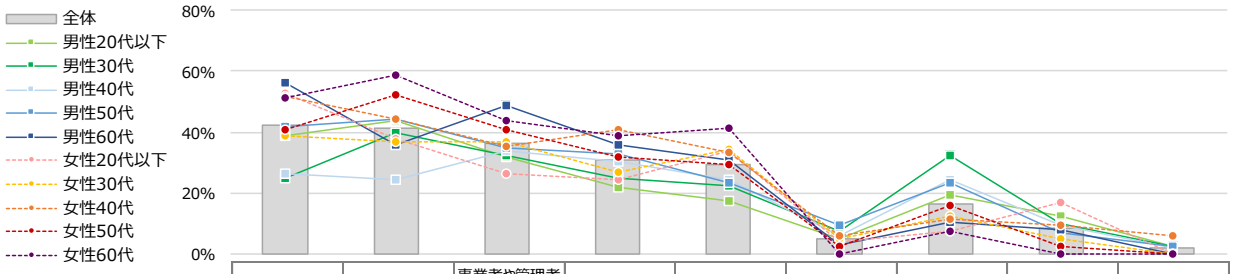
■東京　性年代別



			利用ルールの明確化	表示の明確化	学校等での教育	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（東京）		479	41.5	38.4	32.8	31.1	30.7	6.1	14.2	7.9	2.5
性年代別	男性20代以下	55	36.4	30.9	21.8	23.6	20.0	3.6	16.4	7.3	1.8
	男性30代	52	46.2	40.4	36.5	36.5	28.8	7.7	13.5	9.6	-
	男性40代	54	37.0	37.0	31.5	31.5	31.5	13.0	9.3	18.5	3.7
	男性50代	44	43.2	29.5	43.2	29.5	31.8	13.6	6.8	11.4	4.5
	男性60代	34	44.1	38.2	32.4	41.2	44.1	8.8	8.8	5.9	-
	女性20代以下	59	37.3	27.1	35.6	37.3	32.2	-	20.3	3.4	1.7
	女性30代	49	36.7	32.7	30.6	26.5	26.5	2.0	18.4	6.1	2.0
	女性40代	54	42.6	38.9	25.9	25.9	29.6	9.3	20.4	3.7	-
	女性50代	44	52.3	52.3	38.6	29.5	31.8	2.3	15.9	4.5	6.8
	女性60代	34	44.1	70.6	35.3	32.4	38.2	-	5.9	8.8	5.9

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			表示の明確化	利用ルールの明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（大阪）		449	42.5	41.4	36.1	31.0	29.2	4.7	16.3	8.2	1.6
性年代別	男性20代以下	41	39.0	43.9	31.7	22.0	17.1	4.9	19.5	12.2	2.4
	男性30代	40	25.0	40.0	32.5	25.0	22.5	7.5	32.5	10.0	2.5
	男性40代	53	26.4	24.5	34.0	30.2	24.5	5.7	24.5	9.4	1.9
	男性50代	43	41.9	44.2	34.9	32.6	23.3	9.3	23.3	7.0	2.3
	男性60代	39	56.4	35.9	48.7	35.9	30.8	2.6	10.3	7.7	-
	女性20代以下	53	52.8	37.7	26.4	24.5	34.0	3.8	7.5	17.0	-
	女性30代	41	39.0	36.6	36.6	26.8	34.1	4.9	12.2	4.9	-
	女性40代	54	51.9	44.4	35.2	40.7	33.3	5.6	11.1	9.3	5.6
	女性50代	44	40.9	52.3	40.9	31.8	29.5	2.3	15.9	2.3	-
	女性60代	41	51.2	58.5	43.9	39.0	41.5	-	7.3	-	-

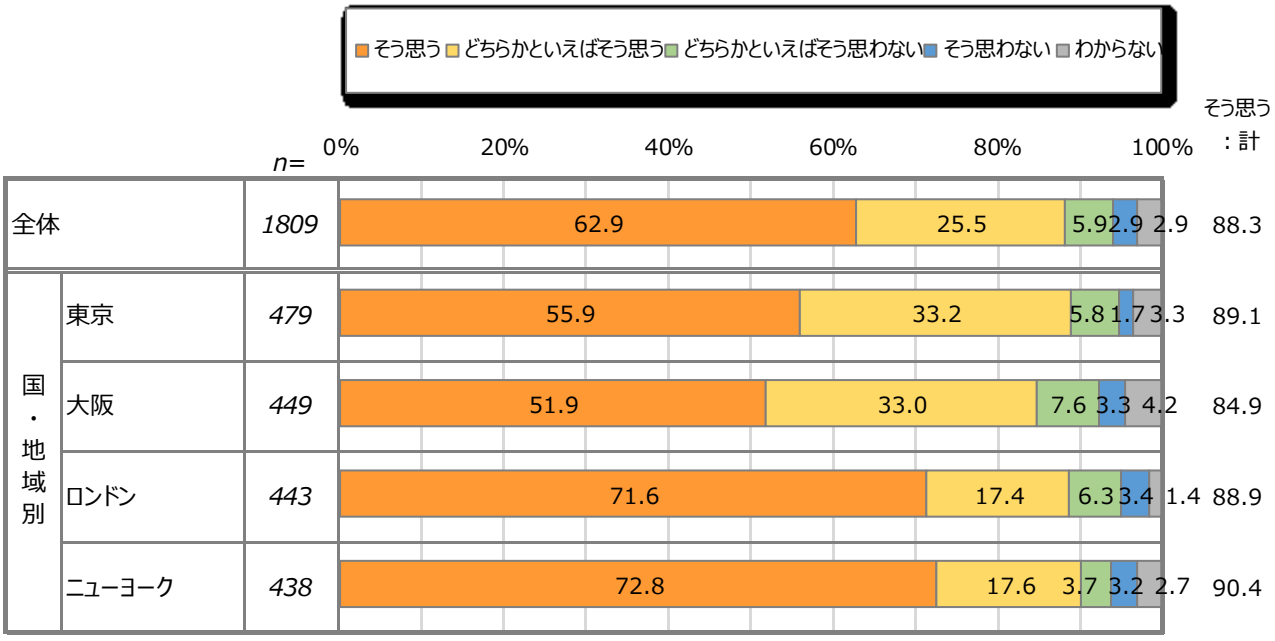
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q16. 今後、真に必要な方が多機能トイレを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 優先エレベーターは高齢者等が優先して乗るべきか

- 他の項目と同様、TOP2では各年の差はさほど大きくはないが、TOP1で見ると、東京、大阪の比率がロンドン、ニューヨークに比べて低い。

■地域別全体比較

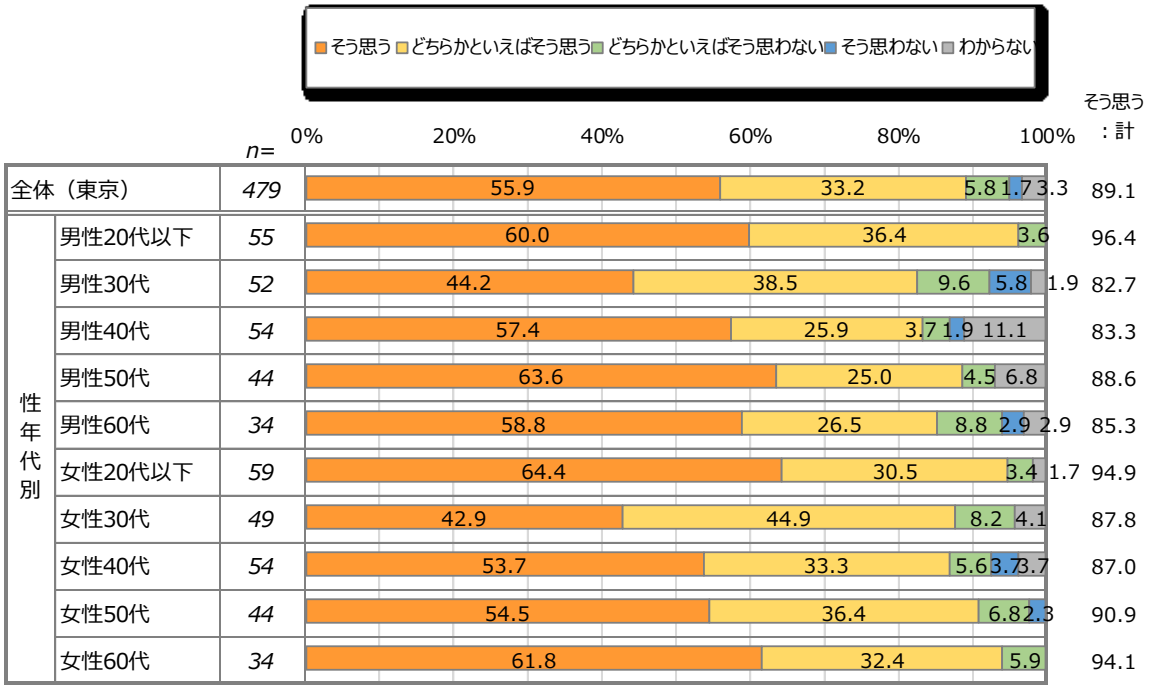


Q17. 優先マークの表示されたエレベーター（以下「優先エレベーター」といいます。）は本来、高齢者、障害者、妊産婦、けが人、ベビーカー使用者などが優先して乗るべきだと思いますか。

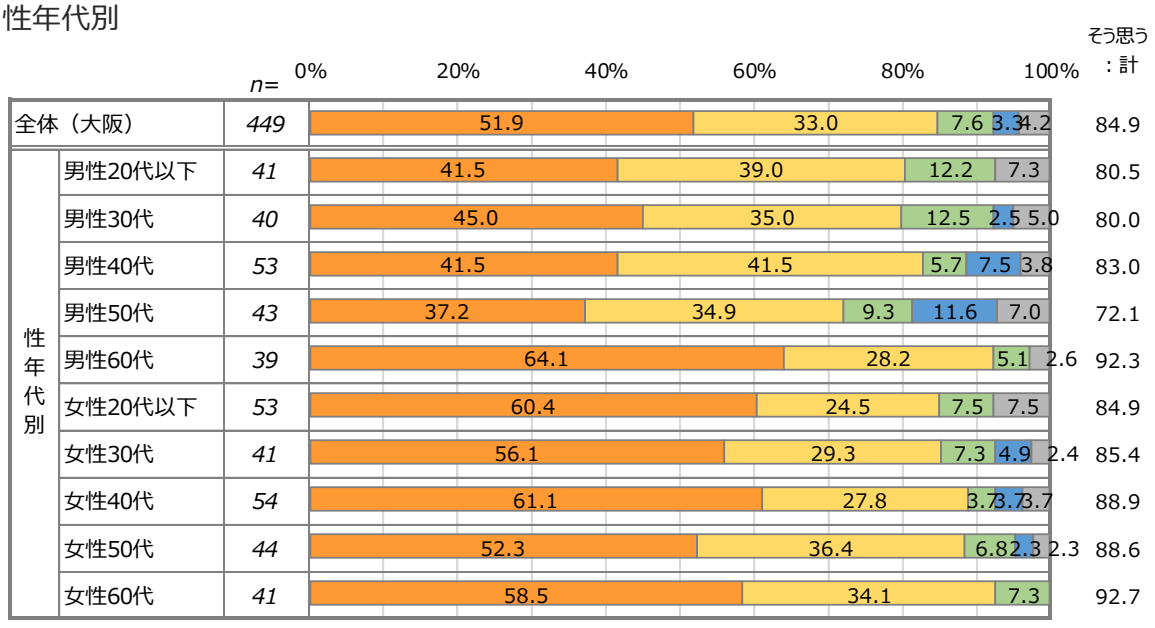
2 優先エレベーターは高齢者等が優先して乗るべきか

- TOP1の数値が低いのは、東京では男女とも30代。
- 大阪は、男性の20代以下、30代、40代、50代でTOP1の数値が低くなっている。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

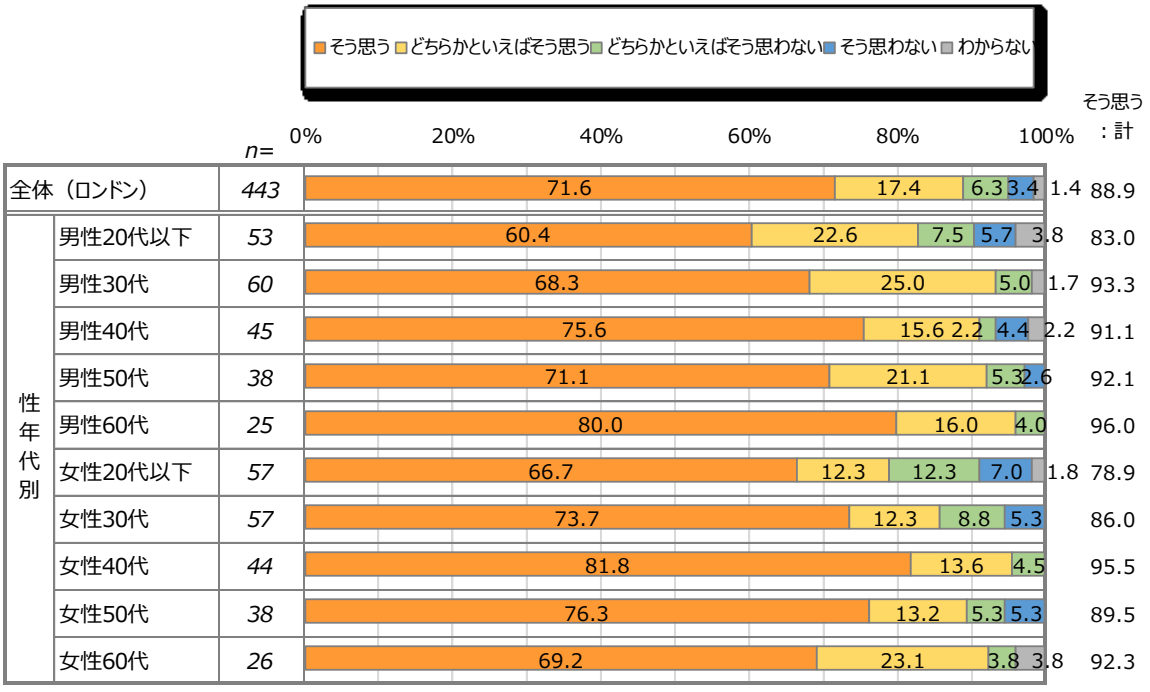


Q17. 優先マークの表示されたエレベーター（以下「優先エレベーター」といいます。）は本来、高齢者、障害者、妊産婦、けが人、ベビーカー使用者などが優先して乗るべきだと思いますか。

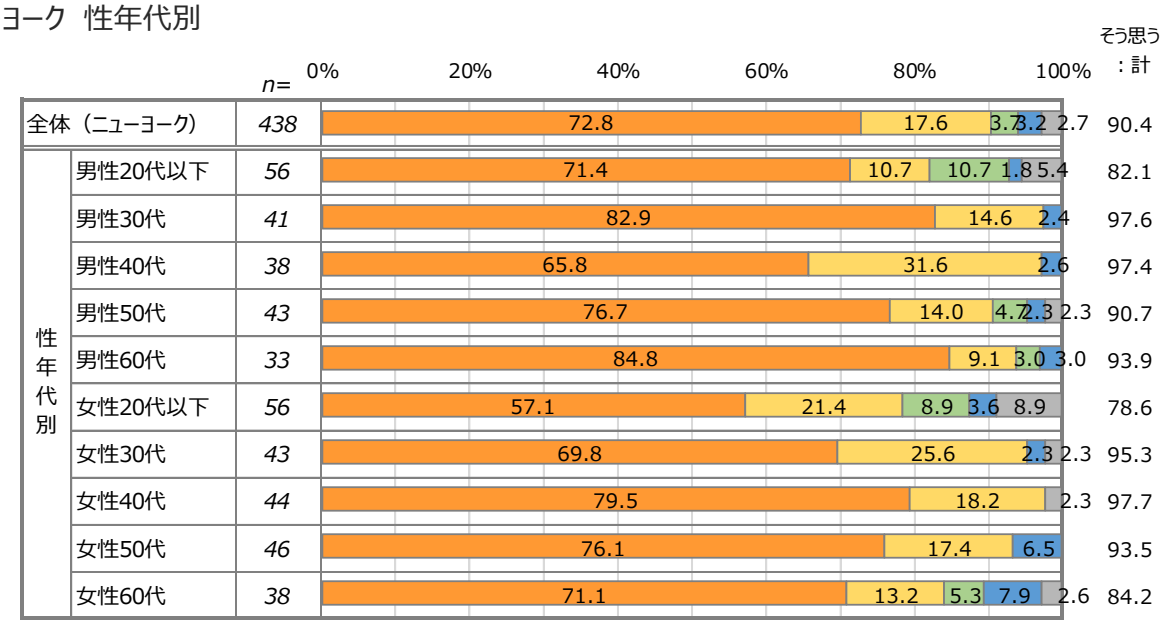
2 優先エレベーターは高齢者等が優先して乗るべきか

- ロンドンでは、男性60代と女性40代でTOP1が8割を超えている。
- ニューヨークは、男性の30代と60代でTOP1が高い。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

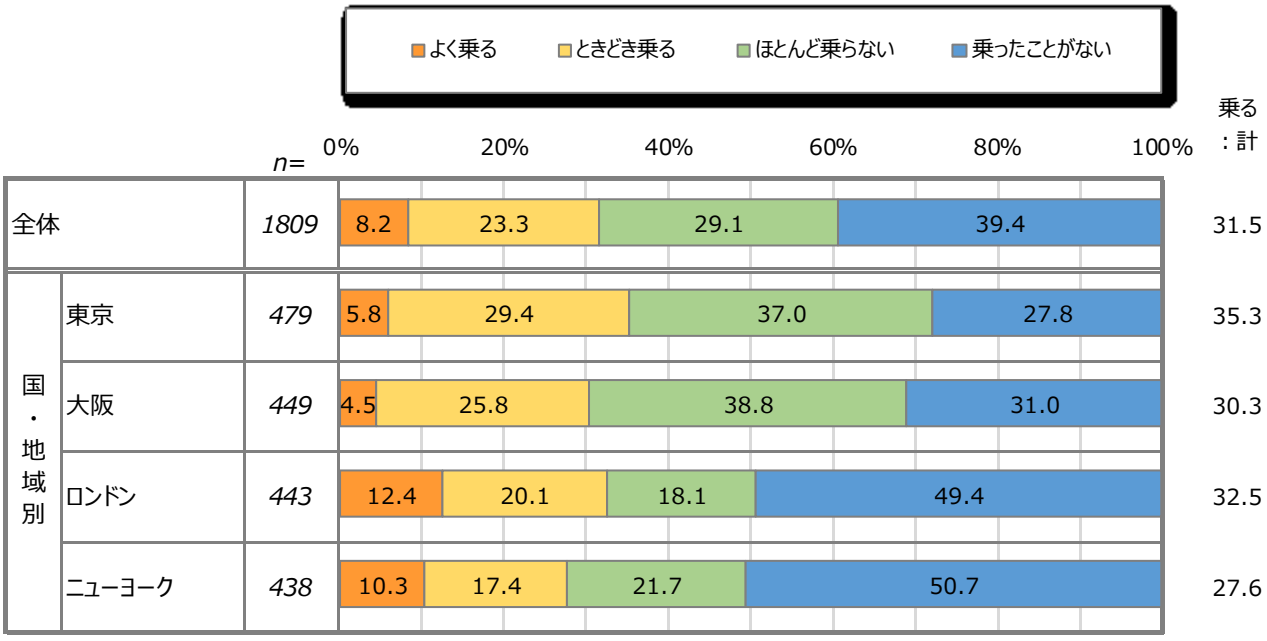


Q17. 優先マークの表示されたエレベーター（以下「優先エレベーター」といいます。）は本来、高齢者、障害者、妊産婦、けが人、ベビーカー使用者などが優先して乗るべきだと思いますか。

2 普段、優先エレベーターに乗るか

- 優先エレベーターに乗るのは、各都市とも3割前後。
- 「よく乗る」については、東京、大阪よりもロンドン、ニューヨークの方が多い。

■地域別全体比較

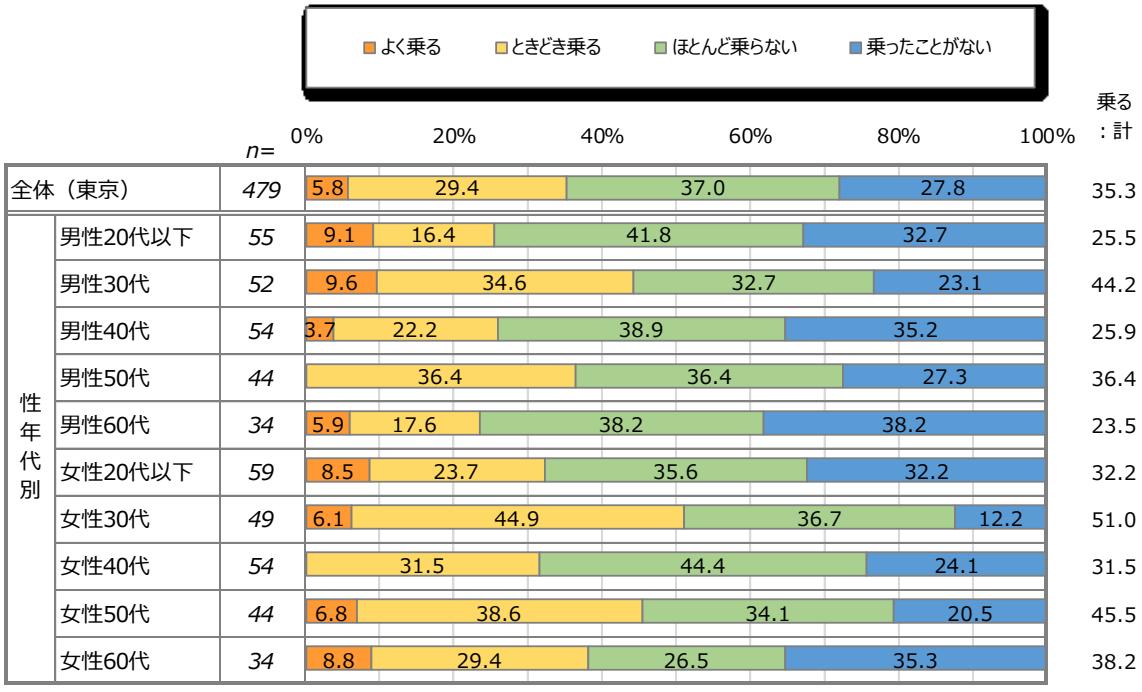


Q18. あなたは普段、優先エレベーターに乗りますか。

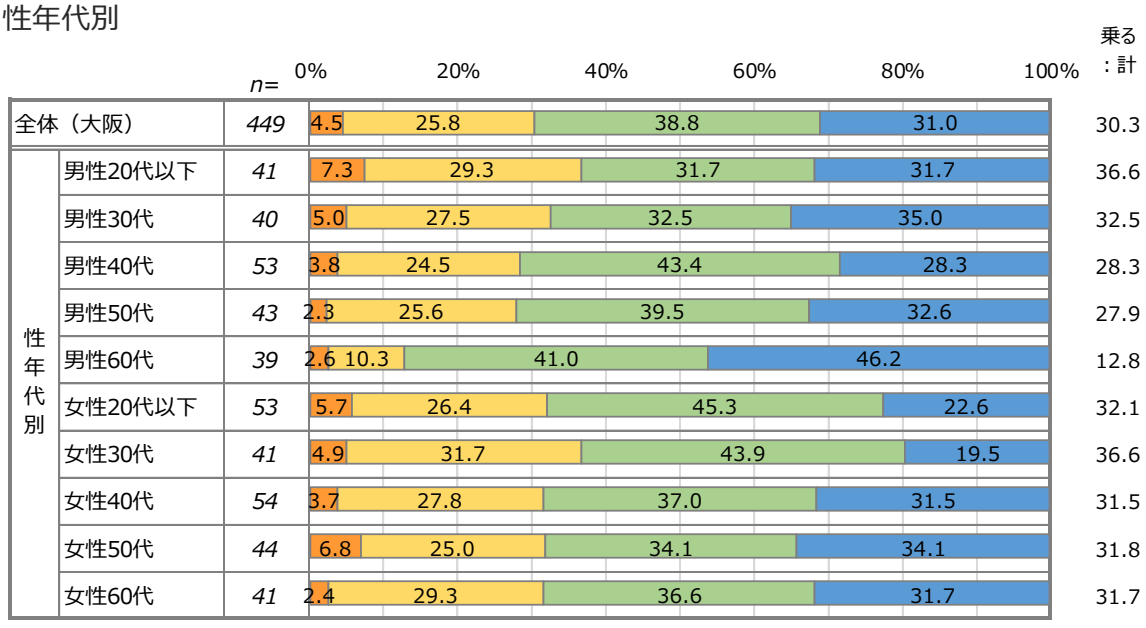
2 普段、優先エレベーターに乗るか

- 東京では、男性の30代、女性の30代と50代で優先エレベーターに乗る比率が高い。
- 大阪は、男性は年代が若いほど乗る比率は高いが、女性では年代の差は小さい。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

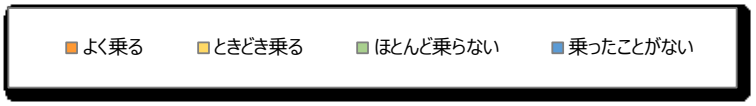


Q18. あなたは普段、優先エレベーターに乗りますか。

2 普段、優先エレベーターに乗るか

- ロンドンでは、男女とも20代以下で乗る比率が高い。
- ニューヨークは、男性40代で半数が乗ると回答。

■ロンドン　性年代別



		n=	よく乗る	ときどき乗る	ほとんど乗らない	乗ったことがない	乗る：計
全体（ロンドン）		443	12.4	20.1	18.1	49.4	32.5
性年代別	男性20代以下	53	18.9	30.2	20.8	30.2	49.1
	男性30代	60	21.7	20.0	15.0	43.3	41.7
	男性40代	45	6.7	13.3	17.8	62.2	20.0
	男性50代	38	10.5	7.9	18.4	63.2	18.4
	男性60代	25	4.0	8.0	12.0	76.0	12.0
	女性20代以下	57	14.0	29.8	17.5	38.6	43.9
	女性30代	57	12.3	22.8	26.3	38.6	35.1
	女性40代	44	13.6	18.2	15.9	52.3	31.8
	女性50代	38		18.4	15.8	65.8	18.4
	女性60代	26	11.5	19.2	15.4	53.8	30.8

■ニューヨーク　性年代別

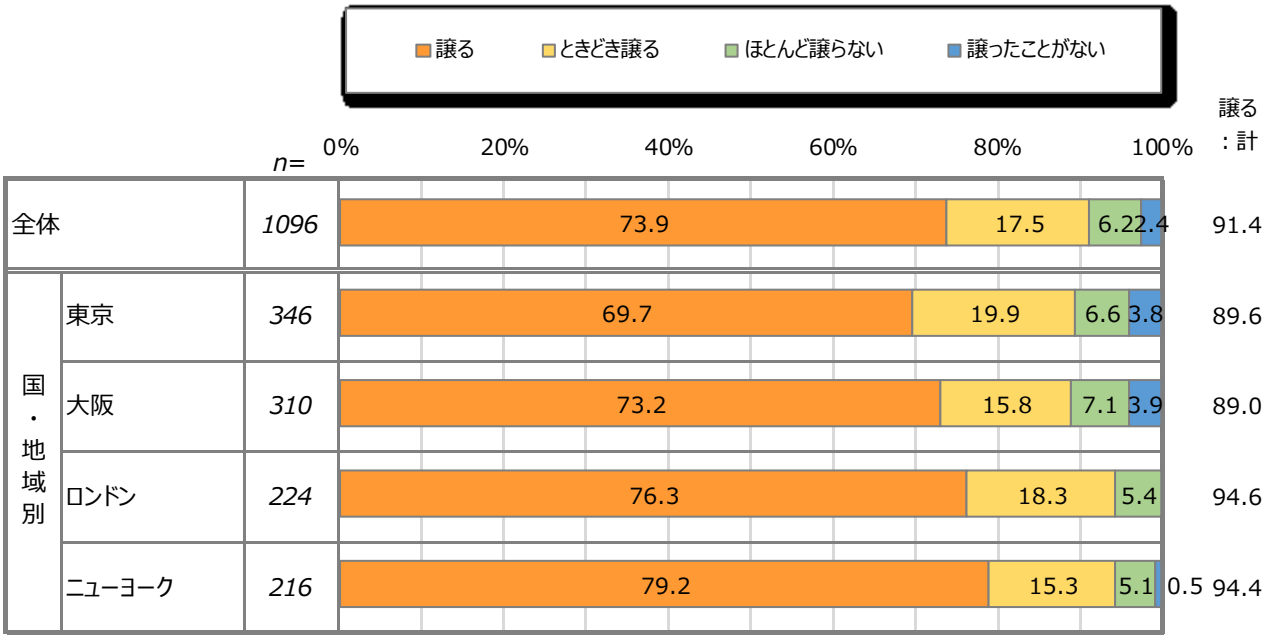
		n=	よく乗る	ときどき乗る	ほとんど乗らない	乗ったことがない	乗る：計
全体（ニューヨーク）		438	10.3	17.4	21.7	50.7	27.6
性年代別	男性20代以下	56	17.9	21.4	19.6	41.1	39.3
	男性30代	41	12.2	26.8	22.0	39.0	39.0
	男性40代	38	34.2	15.8	18.4	31.6	50.0
	男性50代	43	7.0	23.3	16.3	53.5	30.2
	男性60代	33	3.0	24.2	12.1	60.6	27.3
	女性20代以下	56	7.1	12.5	33.9	46.4	19.6
	女性30代	43	18.6	16.3	20.9	44.2	34.9
	女性40代	44		11.4	22.7	65.9	11.4
	女性50代	46	2.2	10.9	26.1	60.9	13.0
	女性60代	38		13.2	18.4	68.4	13.2

Q18. あなたは普段、優先エレベーターに乗りますか。

2 優先エレベーター乗車時に、障害者等にスペースを譲るか

- 各都市とも9割前後は「譲る」、「ときどき譲る」と回答。
- ただし、東京、大阪は、ロンドン、ニューヨークに比べて5ポイント程度その数値が低い。

■地域別全体比較

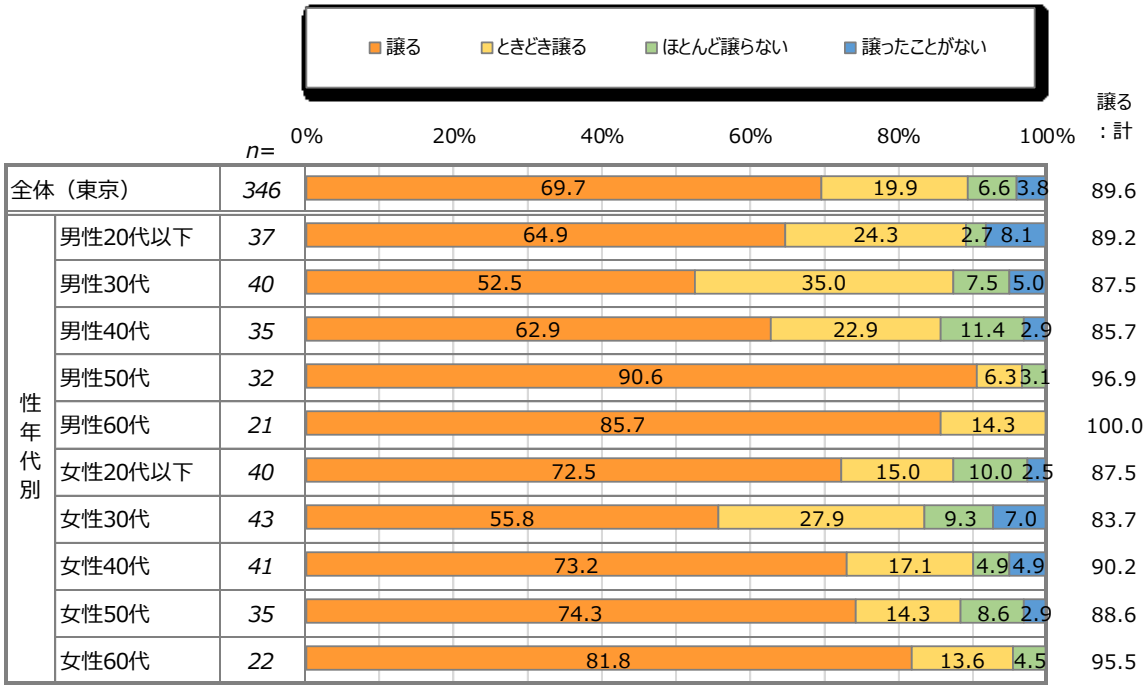


Q19. あなたが優先エレベーターに乗っている際、障害者、高齢者、妊産婦、けが人、ベビーカー使用者など優先エレベーターを必要とする方が途中で乗ろうとしたら、スペースを譲りますか。

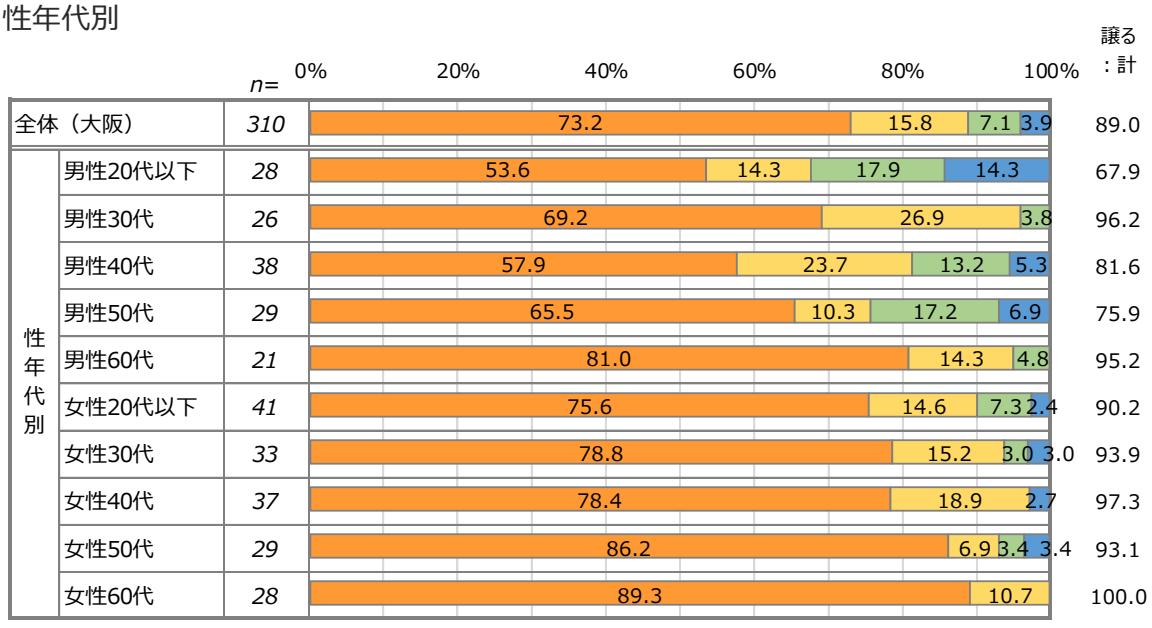
2 優先エレベーター乗車時に、障害者等にスペースを譲るか

- 東京は、男女とも30代でTOP1の「譲る」の数値が他に比べて低い。（60代で譲る比率が高くなっているが、サンプル数が少ないため参考値。）
- 大阪は、TOP1、TOP2とも概して男性より女性の方が高い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

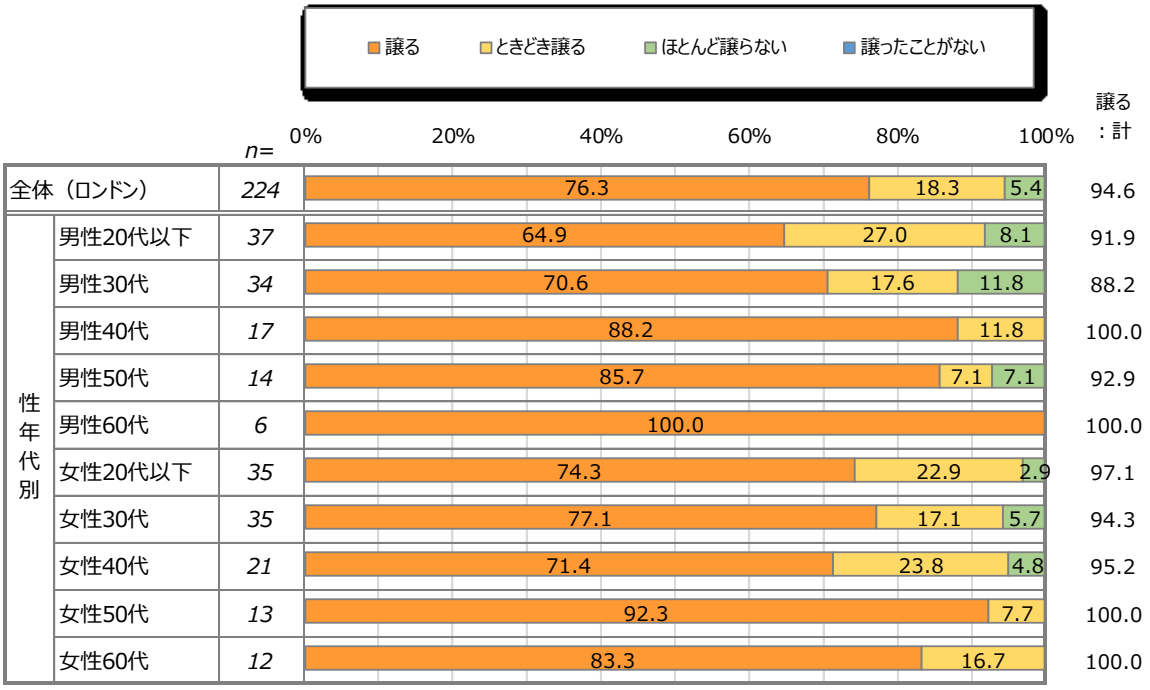


Q19. あなたが優先エレベーターに乗っている際、障害者、高齢者、妊産婦、けが人、ベビーカー使用者など優先エレベーターを必要とする方が途中で乗ろうとしたら、スペースを譲りますか。

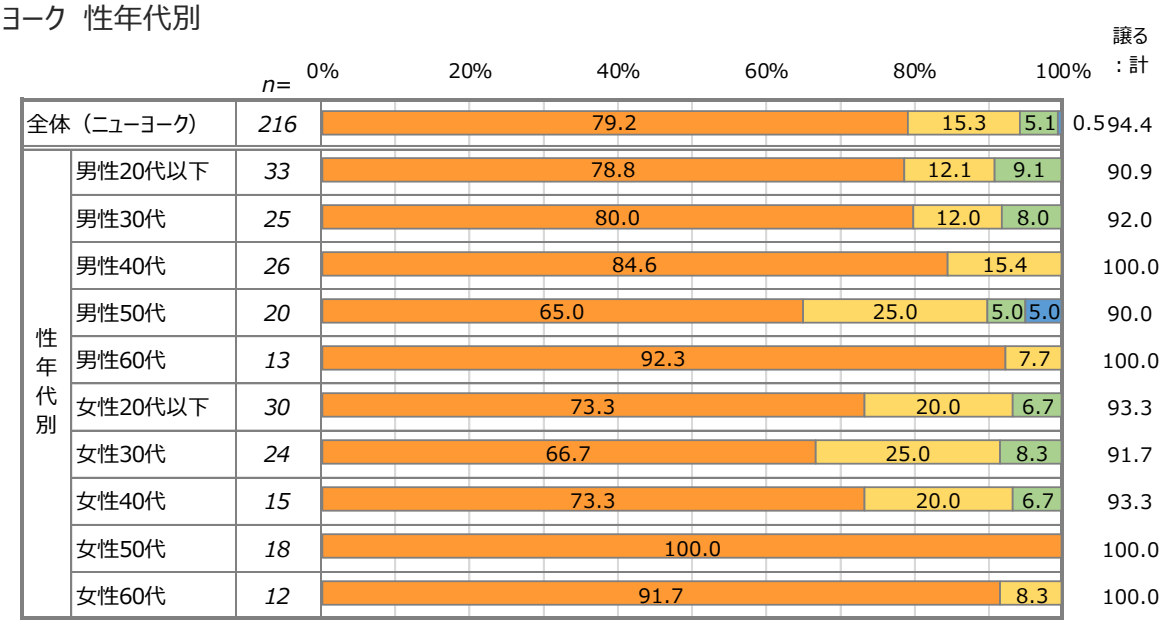
2 優先エレベーター乗車時に、障害者等にスペースを譲るか

ロンドン、ニューヨークとも、サンプル数が少ないため、参考値。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

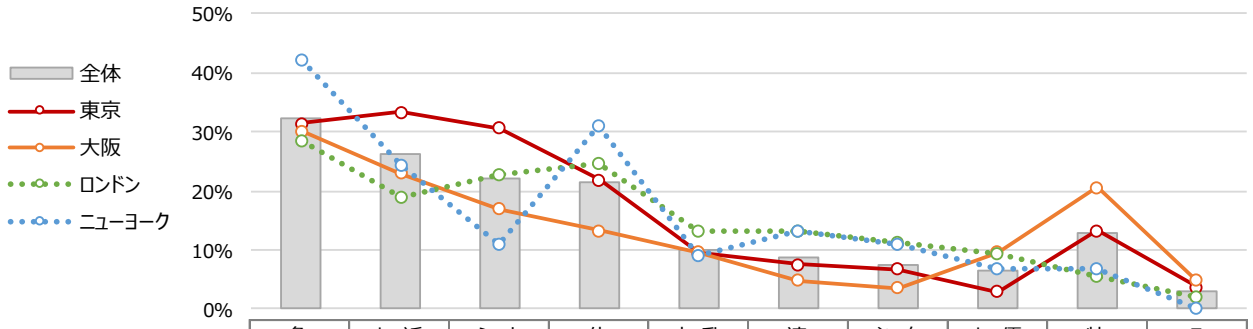


Q19. あなたが優先エレベーターに乗っている際、障害者、高齢者、妊産婦、けが人、ベビーカー使用者など優先エレベーターを必要とする方が途中で乗ろうとしたら、スペースを譲りますか。

2 優先エレベーターのスペースを譲らなかった理由

- 東京は「近くに優先エレベーターしかなかったから」、「大きな荷物を持っていたから」、大阪は「特に理由はない」が他の都市に比べて多い。
- ロンドンは特に目立った理由は見られない。
- ニューヨークは、「急いでいたから」、「体調不良・怪我だったから」が多い。

■地域別全体比較



			急いでいたから	近くに優先エレベーターしかなかったから	大きな荷物を持っていたから	体調不良・怪我だったから	乳幼児や介助を必要とする方と同行していたから	速くて便利だから	自分が優先エレベーターを必要とする特性があるから	優先エレベーターに反対だから	特に理由はない	その他
全体		286	32.2	26.2	22.0	21.3	10.1	8.7	7.3	6.6	12.9	3.1
地域別	東京	105	31.4	33.3	30.5	21.9	9.5	7.6	6.7	2.9	13.3	3.8
	大阪	83	30.1	22.9	16.9	13.3	9.6	4.8	3.6	9.6	20.5	4.8
	ロンドン	53	28.3	18.9	22.6	24.5	13.2	13.2	11.3	9.4	5.7	1.9
	ニューヨーク	45	42.2	24.4	11.1	31.1	8.9	13.3	11.1	6.7	6.7	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

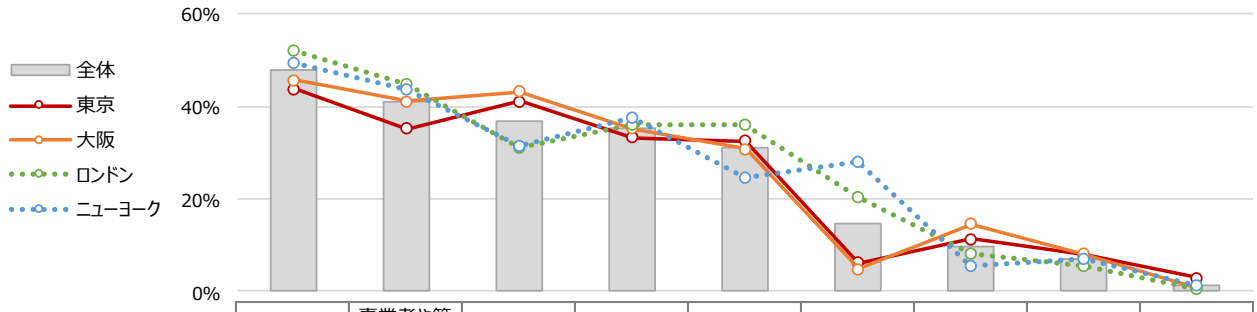
Q20. 優先エレベーターのスペースを譲らなかった時の理由をお教えください。（いくつでも）

2 必要な人が優先エレベーターを利用しやすくするための取り組み

- 各都市とも「表示の明確化」が最も多い。
- 都市別の比較では、他の項目と同様、「罰則の導入」で東京、大阪と、ロンドン、ニューヨークで差が大きくなっている。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

■地域別全体比較



			表示の明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	利用ルールの明確化	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体		1,809	47.7	41.0	36.8	35.4	31.0	14.5	9.9	7.1	1.4
地域別	東京	479	43.8	35.1	41.1	33.2	32.4	6.1	11.3	7.9	2.9
	大阪	449	45.7	41.0	43.2	35.2	30.7	4.9	14.5	8.0	0.9
	ロンドン	443	52.1	44.9	31.2	36.1	36.1	20.3	8.1	5.4	0.5
	ニューヨーク	438	49.3	43.6	31.3	37.4	24.4	27.9	5.5	7.1	1.4

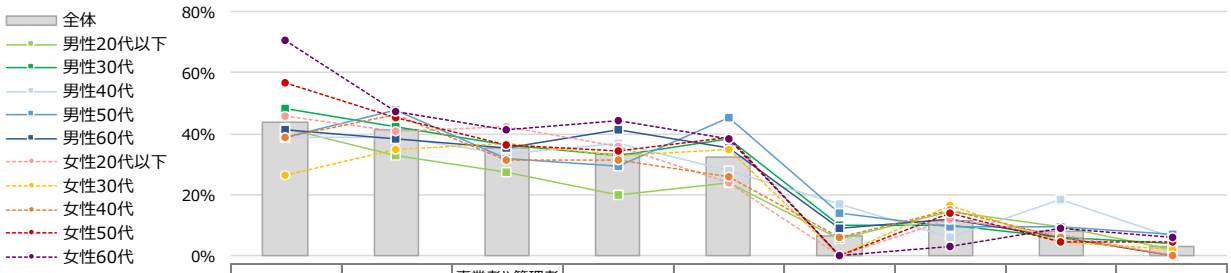
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q21. 今後、真に必要な方が優先エレベーターを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が優先エレベーターを利用しやすくするための取り組み

- 東京は、女性60代で他に比べて数値の高い項目が多い。
- 大阪でも女性60代は各上位項目の数値は高いが、男性60代でも概ね同様の傾向が見られる。

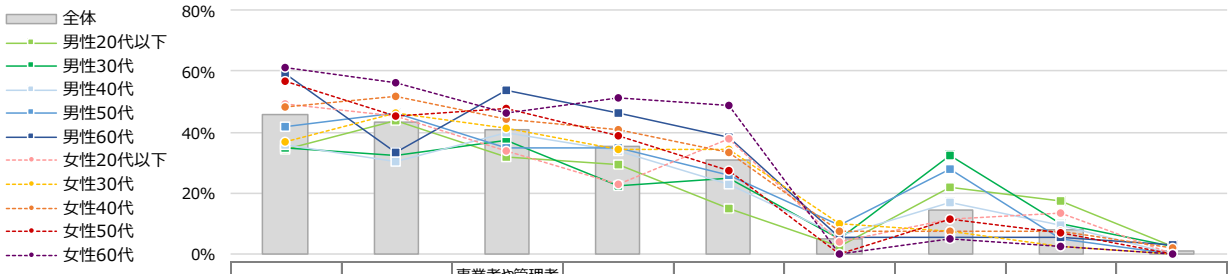
■東京　性年代別



			表示の明確化	利用ルールの明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（東京）		479	43.8	41.1	35.1	33.2	32.4	6.1	11.3	7.9	2.9
性年代別	男性20代以下	55	41.8	32.7	27.3	20.0	23.6	5.5	14.5	9.1	1.8
	男性30代	52	48.1	42.3	36.5	32.7	38.5	9.6	9.6	5.8	3.8
	男性40代	54	38.9	38.9	33.3	37.0	27.8	16.7	5.6	18.5	5.6
	男性50代	44	38.6	47.7	31.8	29.5	45.5	13.6	9.1	9.1	6.8
	男性60代	34	41.2	38.2	35.3	41.2	35.3	8.8	11.8	5.9	-
	女性20代以下	59	45.8	40.7	42.4	35.6	23.7	-	11.9	6.8	-
	女性30代	49	26.5	34.7	36.7	32.7	34.7	-	16.3	4.1	2.0
	女性40代	54	38.9	46.3	31.5	31.5	25.9	5.6	14.8	5.6	-
	女性50代	44	56.8	45.5	36.4	34.1	38.6	-	13.6	4.5	4.5
	女性60代	34	70.6	47.1	41.2	44.1	38.2	-	2.9	8.8	5.9

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			表示の明確化	利用ルールの明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（大阪）		449	45.7	43.2	41.0	35.2	30.7	4.9	14.5	8.0	0.9
性年代別	男性20代以下	41	34.1	43.9	31.7	29.3	14.6	2.4	22.0	17.1	2.4
	男性30代	40	35.0	32.5	37.5	22.5	25.0	5.0	32.5	10.0	2.5
	男性40代	53	35.8	30.2	39.6	34.0	22.6	5.7	17.0	9.4	-
	男性50代	43	41.9	46.5	34.9	34.9	25.6	9.3	27.9	4.7	-
	男性60代	39	59.0	33.3	53.8	46.2	38.5	5.1	5.1	5.1	2.6
	女性20代以下	53	49.1	45.3	34.0	22.6	37.7	3.8	11.3	13.2	-
	女性30代	41	36.6	46.3	41.5	34.1	34.1	9.8	7.3	2.4	-
	女性40代	54	48.1	51.9	44.4	40.7	33.3	7.4	7.4	7.4	1.9
	女性50代	44	56.8	45.5	47.7	38.6	27.3	-	11.4	6.8	-
	女性60代	41	61.0	56.1	46.3	51.2	48.8	-	4.9	2.4	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

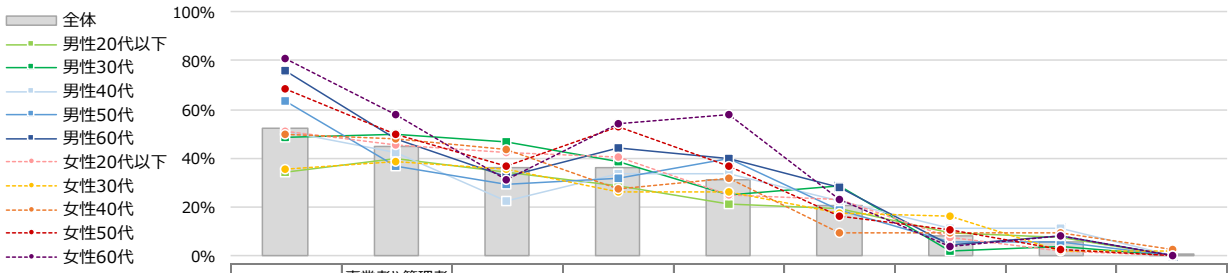
Q21. 今後、真に必要な方が優先エレベーターを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 必要な人が優先エレベーターを利用しやすくするための取り組み

- ロンドンでは、最も多く必要だと思われている「表示の明確化」は、男女とも50代、60代で数値が高い。
- 「表示の明確化」は、ニューヨークでは男性の60代と、女性の40代、50代、60代で多くなっている。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

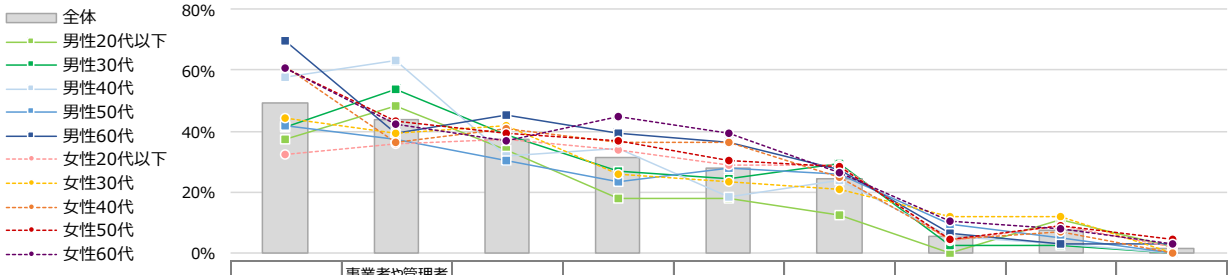
■ロンドン　性年代別



			表示の明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	利用ルールの明確化	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（ロンドン）		443	52.1	44.9	36.1	36.1	31.2	20.3	8.1	5.4	0.5
性年代別	男性20代以下	53	34.0	39.6	34.0	28.3	20.8	18.9	9.4	7.5	-
	男性30代	60	48.3	50.0	46.7	38.3	25.0	28.3	1.7	3.3	-
	男性40代	45	51.1	42.2	22.2	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	-
	男性50代	38	63.2	36.8	28.9	31.6	39.5	18.4	5.3	5.3	-
	男性60代	25	76.0	48.0	32.0	44.0	40.0	28.0	4.0	8.0	-
	女性20代以下	57	50.9	45.6	42.1	40.4	24.6	22.8	7.0	1.8	-
	女性30代	57	35.1	38.6	35.1	26.3	26.3	17.5	15.8	1.8	1.8
	女性40代	44	50.0	47.7	43.2	27.3	31.8	9.1	9.1	9.1	2.3
	女性50代	38	68.4	50.0	36.8	52.6	36.8	15.8	10.5	2.6	-
	女性60代	26	80.8	57.7	30.8	53.8	57.7	23.1	3.8	7.7	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■ニューヨーク　性年代別



			表示の明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	利用ルールの明確化	罰則の導入	学校等での教育	特に必要はない	分からない	その他
全体（ニューヨーク）		438	49.3	43.6	37.4	31.3	27.9	24.4	5.5	7.1	1.4
性年代別	男性20代以下	56	37.5	48.2	33.9	17.9	17.9	12.5	-	10.7	1.8
	男性30代	41	41.5	53.7	39.0	26.8	24.4	29.3	2.4	2.4	-
	男性40代	38	57.9	63.2	31.6	34.2	18.4	23.7	5.3	2.6	-
	男性50代	43	41.9	37.2	30.2	23.3	27.9	25.6	9.3	4.7	-
	男性60代	33	69.7	39.4	45.5	39.4	36.4	27.3	6.1	3.0	3.0
	女性20代以下	56	32.1	35.7	37.5	33.9	28.6	28.6	3.6	8.9	1.8
	女性30代	43	44.2	39.5	41.9	25.6	23.3	20.9	11.6	11.6	-
	女性40代	44	61.4	36.4	40.9	36.4	36.4	25.0	4.5	6.8	-
	女性50代	46	60.9	43.5	39.1	37.0	30.4	28.3	4.3	8.7	4.3
	女性60代	38	60.5	42.1	36.8	44.7	39.5	26.3	10.5	7.9	2.6

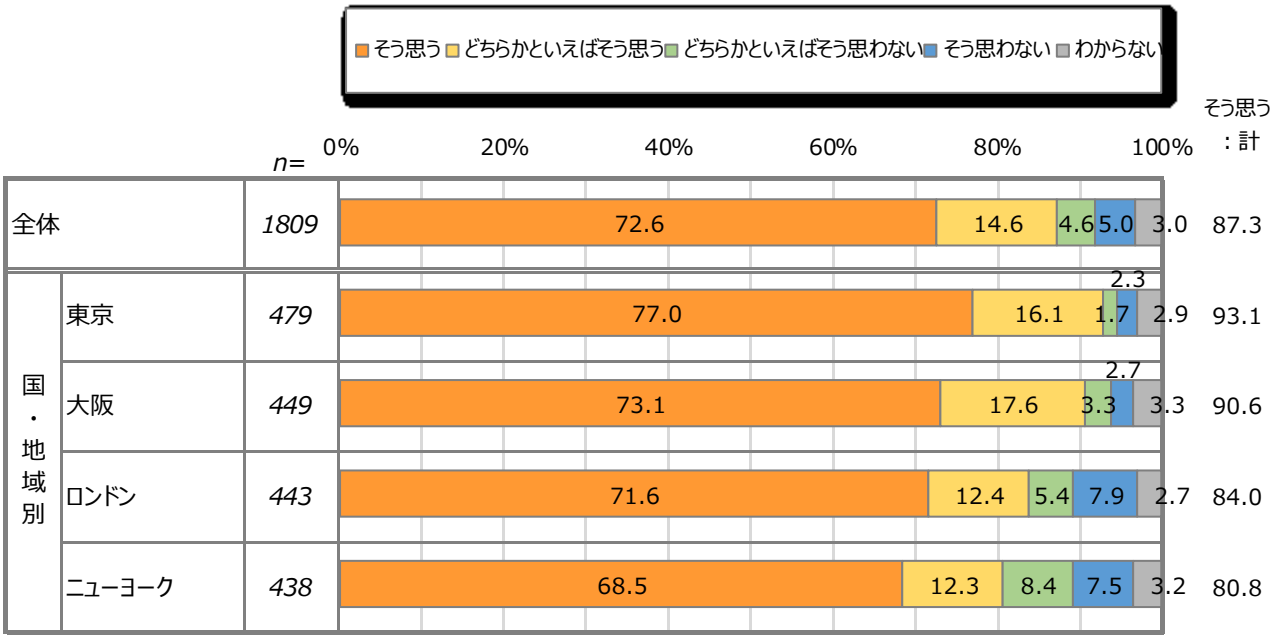
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q21. 今後、真に必要な方が優先エレベーターを利用しやすくするために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 車椅子使用者用駐車施設は、車いす使用者が駐車すべきか

■ TOP1、TOP2とも、東京、大阪の方がロンドン、ニューヨークより数値が高い。

■地域別全体比較

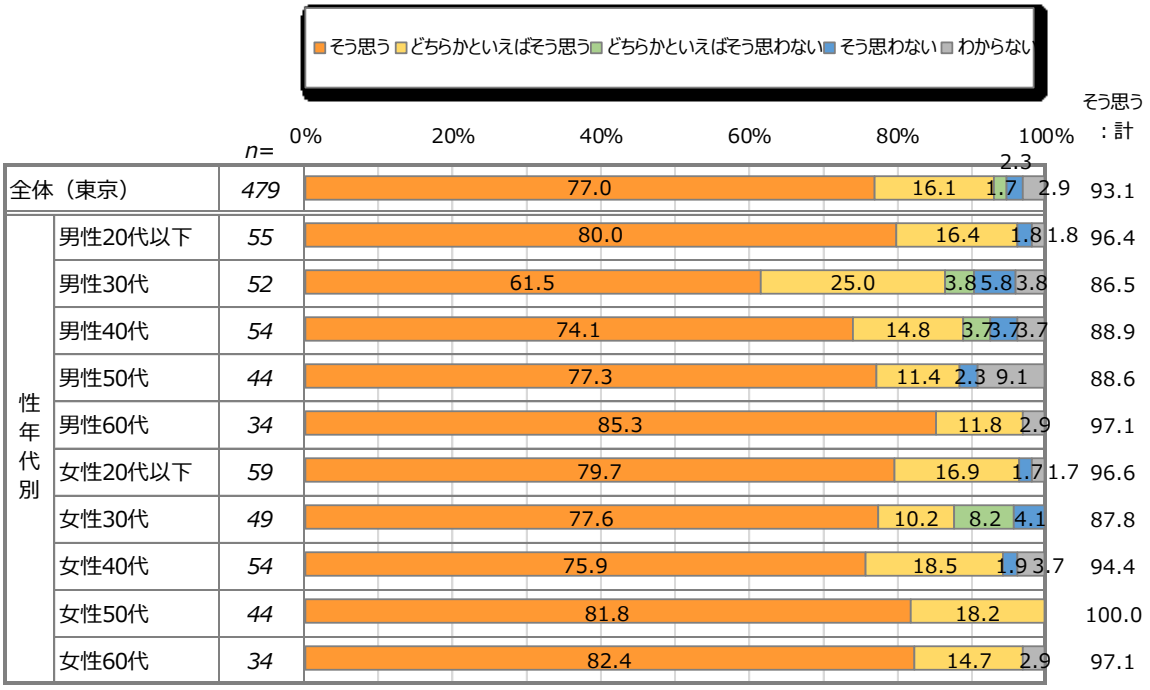


Q22. 車椅子使用者用駐車施設は本来、車いす使用者が駐車すべきだと思いますか。

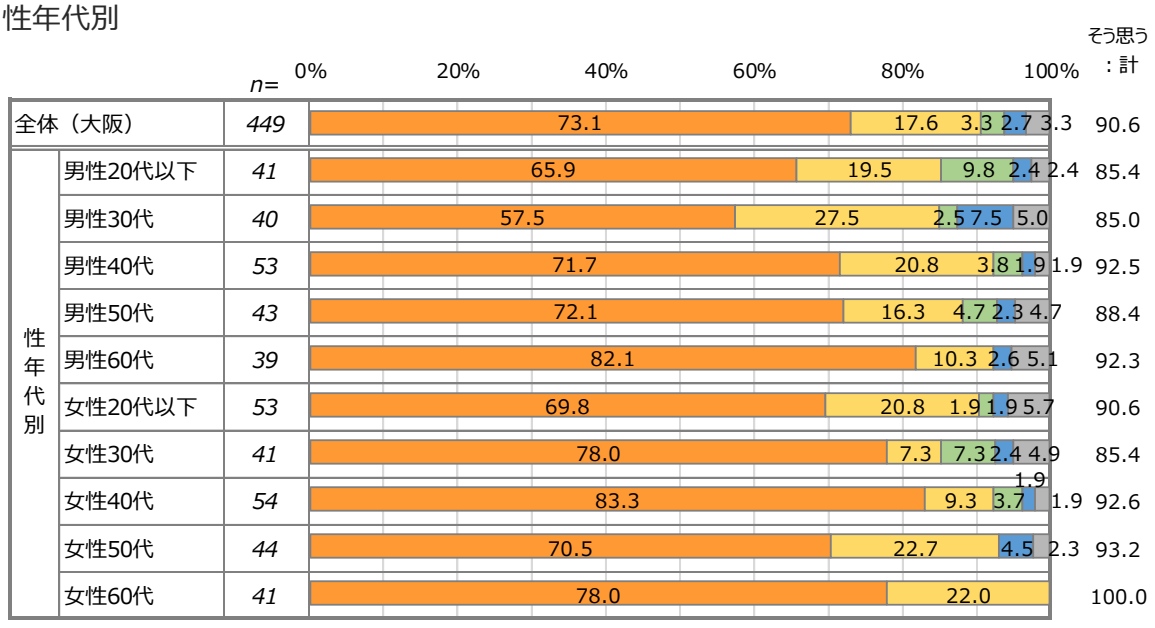
2 車椅子使用者用駐車施設は、車いす使用者が駐車すべきか

- 東京では、男性は20代以下と60代、女性は30代以外の各年代で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のTOP2が9割以上を占める。
- 大阪では、男性の40代、60代、及び女性の30代以外でTOP2が9割を超える。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

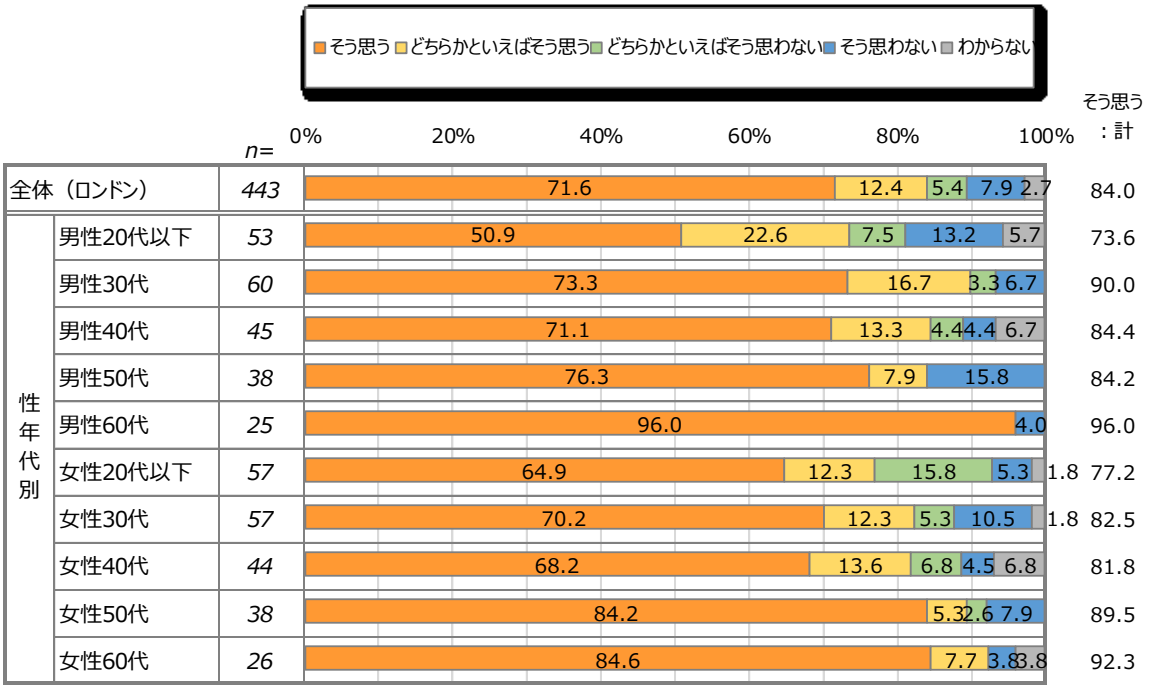


Q22. 車椅子使用者用駐車施設は本来、車いす使用者が駐車すべきだと思いますか。

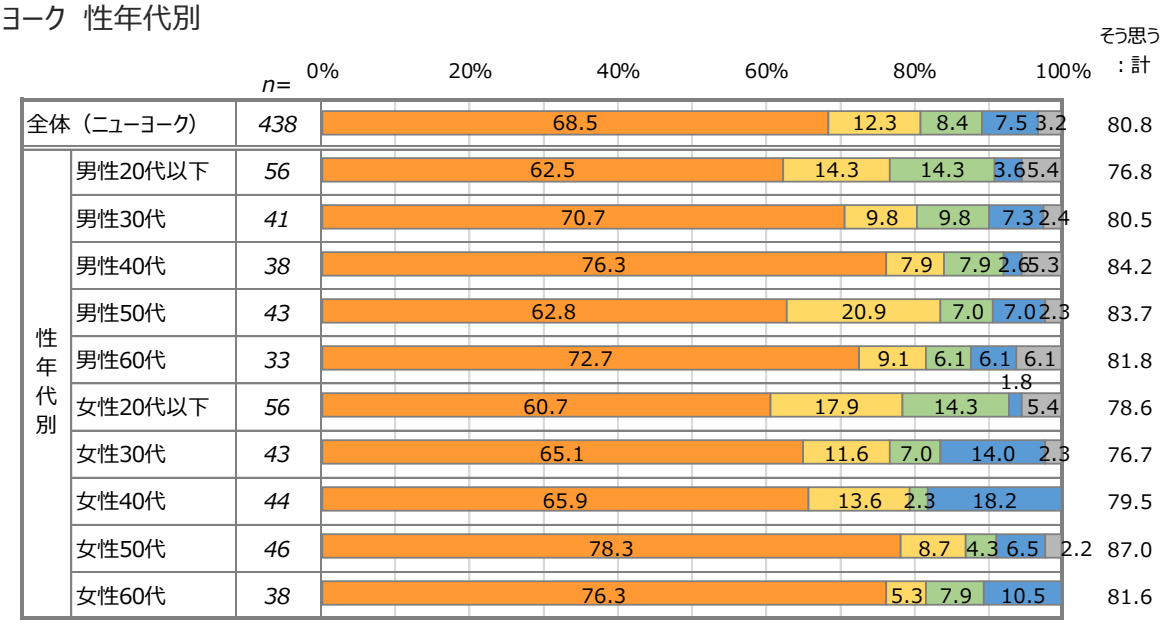
2 車椅子使用者用駐車施設は、車いす使用者が駐車すべきか

- ロンドンでは、男女とも20代以下でTOP2の数値が他に比べて低い。
- ニューヨークでは、男性の20代以下、女性の20代以下、30代、40代でTOP2が70%台となっている。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

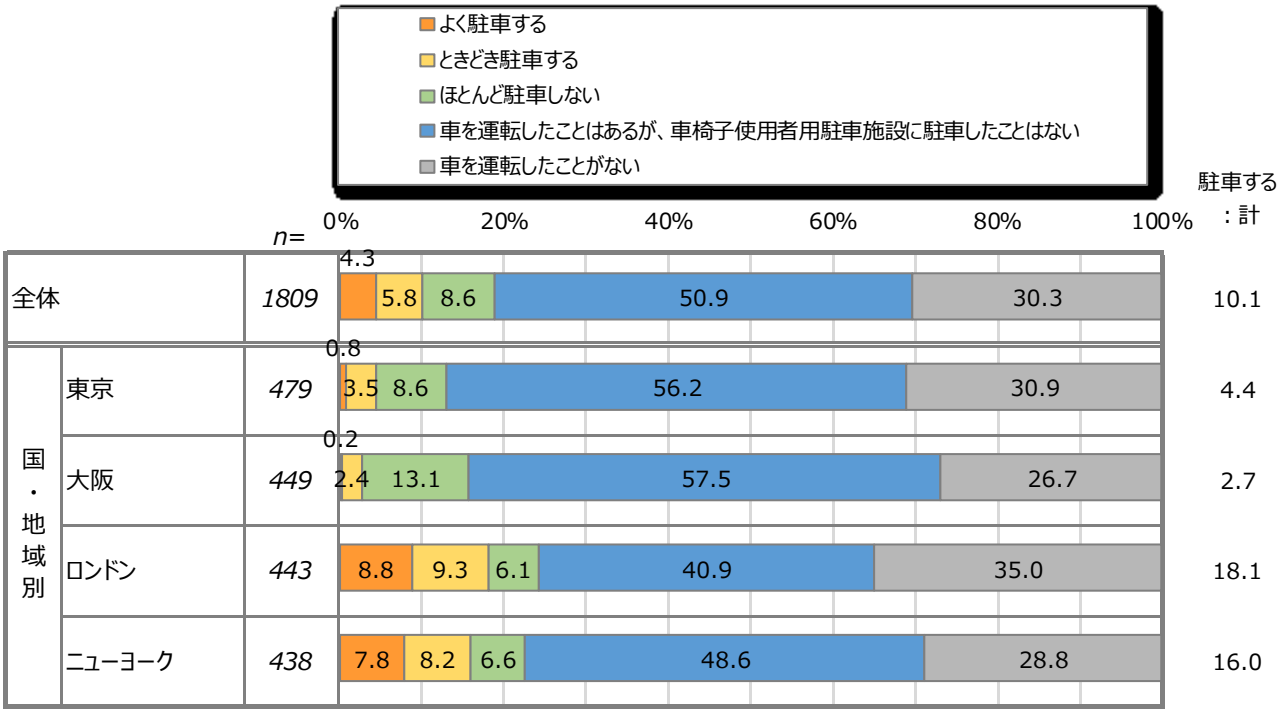


Q22. 車椅子使用者用駐車施設は本来、車いす使用者が駐車すべきだと思いますか。

2 普段、車椅子使用者用駐車施設に駐車するか

- 「よく駐車する」、「ときどき駐車する」のTOP2は、東京、大阪が3～4%であるのに対し、ロンドン、ニューヨークは2割弱。
- 特に、ロンドンについては、「車を運転したことがない」が多いにもかかわらず、TOP2が他の都市に比べて多くなっている。

■地域別全体比較

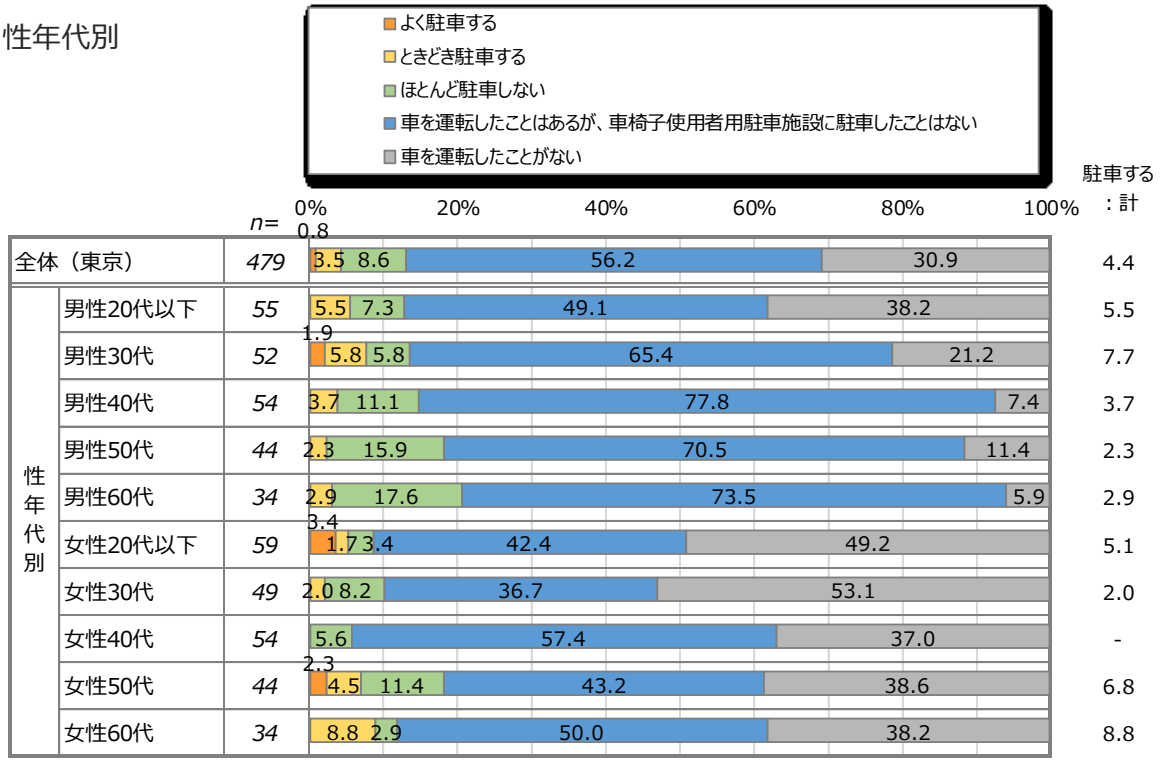


Q23. あなたは普段、車椅子使用者用駐車施設に駐車しますか。

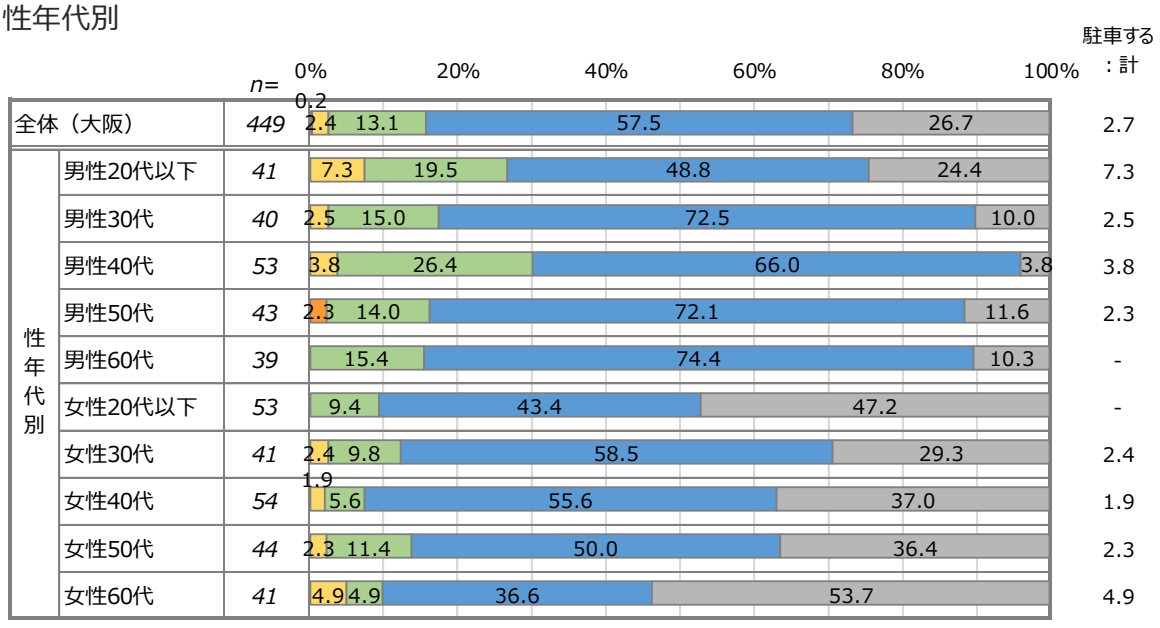
2 普段、車椅子使用者用駐車施設に駐車するか

- 東京は、男性30代や女性50代、60代で他に比べてTOP2がやや多くなっているが、それでも数値自体は10%以下と低い。
- 大阪についても、最も多い男性20代以下でも、その数値は7%にとどまる。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

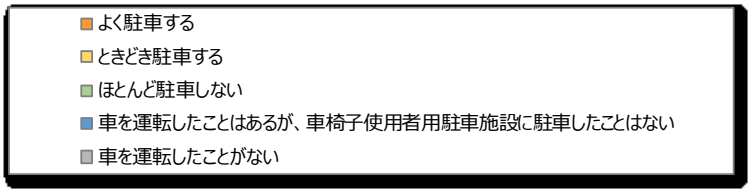


Q23. あなたは普段、車椅子使用者用駐車施設に駐車しますか。

2 普段、車椅子使用者用駐車施設に駐車するか

- ロンドンでは、男性の20代以下と30代でTOP2が3割を超えており、特に20代以下では「車を運転したことがない」を除くと、その比率は4割を超える。
- ニューヨークでは、男性40代で「車を運転したことがない」が1割程度と少ないこともあり、TOP2が4割近くと高い。

■ロンドン　性年代別



		n=	よく駐車する	ときどき駐車する	ほとんど駐車しない	車を運転したことはあるが、車椅子使用者用駐車施設に駐車したことはない	車を運転したことがない	駐車する：計
全体（ロンドン）		443	8.8	9.3	6.1	40.9	35.0	18.1
性年代別	男性20代以下	53	17.0	13.2	9.4	24.5	35.8	30.2
	男性30代	60	16.7	15.0	5.0	45.0	18.3	31.7
	男性40代	45	2.2	11.1	8.9	46.7	31.1	13.3
	男性50代	38	5.3	7.9	7.9	47.4	31.6	13.2
	男性60代	25	4.0			48.0	48.0	4.0
	女性20代以下	57	5.3	12.3	10.5	33.3	38.6	17.5
	女性30代	57	8.8	5.3	3.5	38.6	43.9	14.0
	女性40代	44	13.6	6.8	6.8	36.4	36.4	20.5
	女性50代	38	7.9	2.6		57.9	31.6	7.9
	女性60代	26	7.7	3.8		42.3	46.2	11.5

■ニューヨーク　性年代別

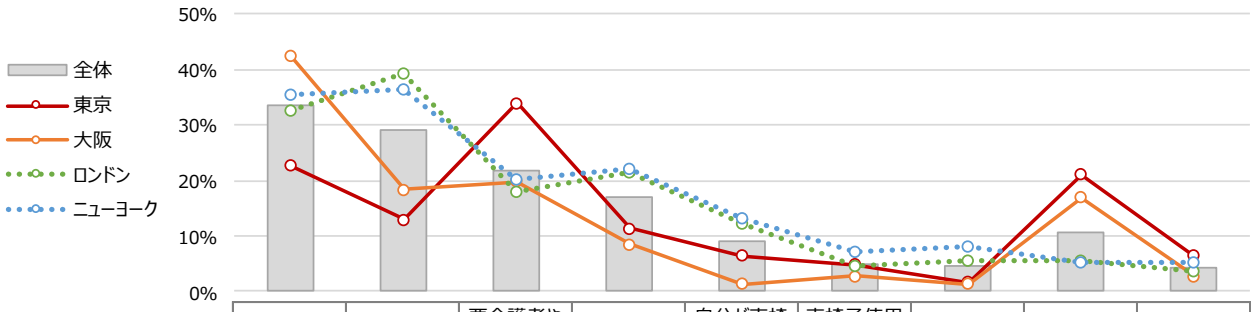
		n=	よく駐車する	ときどき駐車する	ほとんど駐車しない	車を運転したことはあるが、車椅子使用者用駐車施設に駐車したことはない	車を運転したことがない	駐車する：計
全体（ニューヨーク）		438	7.8	8.2	6.6	48.6	28.8	16.0
性年代別	男性20代以下	56	16.1	10.7	8.9	30.4	33.9	26.8
	男性30代	41	7.3	14.6	2.4	65.9	9.8	22.0
	男性40代	38	23.7	13.2	10.5	39.5	13.2	36.8
	男性50代	43	7.0	7.0	4.7	51.2	30.2	14.0
	男性60代	33		12.1	6.1	63.6	18.2	12.1
	女性20代以下	56	5.4	7.1	12.5	48.2	26.8	12.5
	女性30代	43	7.0	9.3	4.7	39.5	39.5	16.3
	女性40代	44	4.5	4.5	9.1	47.7	34.1	9.1
	女性50代	46	4.3	4.3	2.2	43.5	45.7	8.7
	女性60代	38		2.6		68.4	28.9	-

Q23. あなたは普段、車椅子使用者用駐車施設に駐車しますか。

2 車椅子使用者用駐車施設に駐車した理由

- 東京は「要介護者や乳幼児と同行していたから」、大阪は「一般利用者用が空いていなかったから」が多い。
- ロンドン、ニューヨークは、「急いでいたから」と「一般利用者用が空いていなかったから」が多くなっている。

■地域別全体比較



			一般利用者用が空いていなかったから	急いでいたから	要介護者や乳幼児と同行していたから	入口に近くて便利だから	自分が車椅子使用者以外の障害者だから	車椅子使用者用駐車施設に反対だから	自分が車椅子使用者だから	特に理由はない	その他
全体		339	33.6	29.2	21.8	17.1	9.1	5.0	4.7	10.6	4.4
地域別	東京	62	22.6	12.9	33.9	11.3	6.5	4.8	1.6	21.0	6.5
	大阪	71	42.3	18.3	19.7	8.5	1.4	2.8	1.4	16.9	2.8
	ロンドン	107	32.7	39.3	17.8	21.5	12.1	4.7	5.6	5.6	3.7
	ニューヨーク	99	35.4	36.4	20.2	22.2	13.1	7.1	8.1	5.1	5.1

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

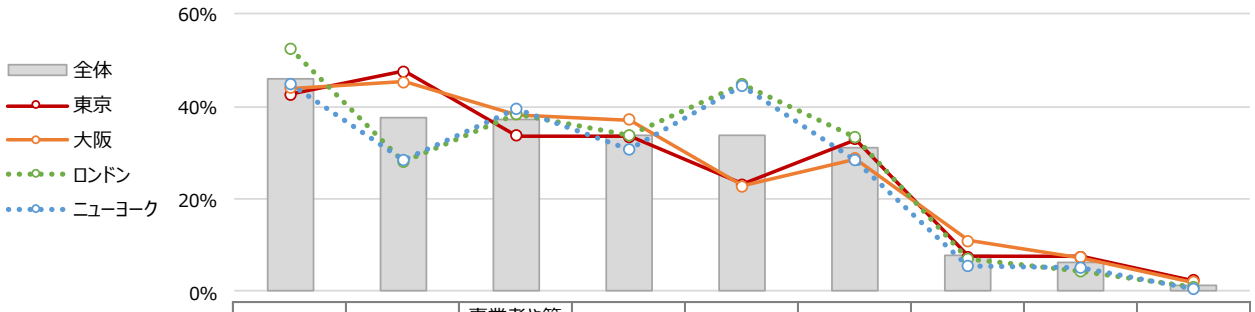
Q24. 車椅子使用者用駐車施設に駐車した時の理由をお教えください。（いくつでも）

2 車椅子使用者用駐車施設が適正に利用されるための取り組み

■ 東京、大阪とロンドン、ニューヨークとの比較では、東京、大阪は「利用ルールの明確化」、ロンドン、ニューヨークは「罰則の導入」が多くなっているのが特徴的。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

■地域別全体比較



			表示の明確化	利用ルールの明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	罰則の導入	学校等での教育	特に必要はない	分からない	その他
全体		1,809	45.8	37.5	37.3	33.7	33.6	30.9	7.8	6.2	1.4
地域別	東京	479	42.6	47.6	33.6	33.4	23.2	32.8	7.5	7.5	2.3
	大阪	449	43.9	45.2	38.3	37.0	22.7	28.7	10.9	7.3	2.0
	ロンドン	443	52.4	28.0	38.4	33.6	44.9	33.4	7.2	4.5	0.9
	ニューヨーク	438	44.7	28.3	39.3	30.6	44.5	28.5	5.7	5.3	0.5

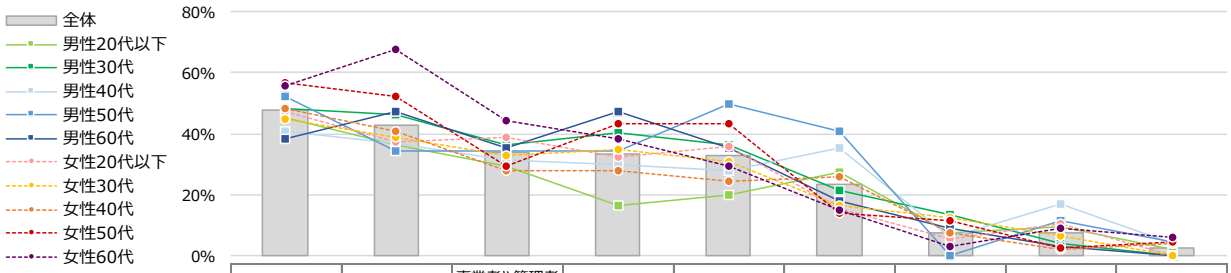
※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q25. 今後、車椅子使用者用駐車施設が適正に利用されるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 車椅子使用者用駐車施設が適正に利用されるための取り組み

■ 前頁で東京、大阪は「罰則の導入」が少ないとコメントしたが、性年代で見ると、東京では男性の40代、50代、大阪では男性の50代では3~4割は「罰則の導入」が必要だと考えている。

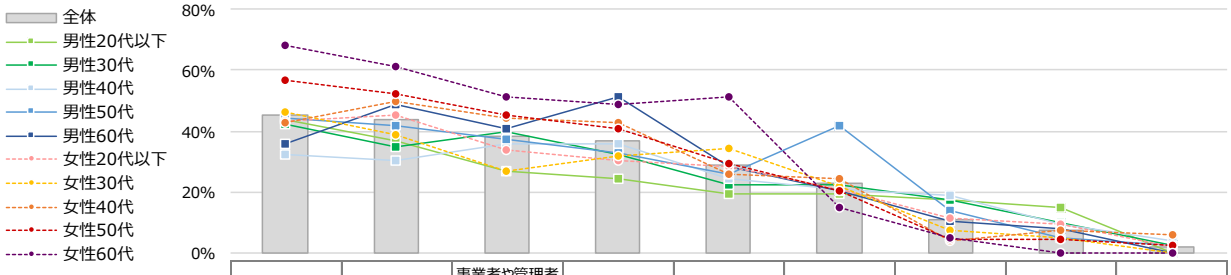
■東京　性年代別



			利用ルールの明確化	表示の明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（東京）		479	47.6	42.6	33.6	33.4	32.8	23.2	7.5	7.5	2.3
性年代別	男性20代以下	55	45.5	36.4	29.1	16.4	20.0	27.3	7.3	9.1	1.8
	男性30代	52	48.1	46.2	36.5	40.4	36.5	21.2	13.5	3.8	-
	男性40代	54	40.7	37.0	31.5	29.6	27.8	35.2	5.6	16.7	3.7
	男性50代	44	52.3	34.1	34.1	34.1	50.0	40.9	-	11.4	4.5
	男性60代	34	38.2	47.1	35.3	47.1	35.3	17.6	8.8	2.9	-
	女性20代以下	59	47.5	37.3	39.0	32.2	35.6	15.3	5.1	10.2	-
	女性30代	49	44.9	38.8	32.7	34.7	30.6	16.3	12.2	6.1	-
	女性40代	54	48.1	40.7	27.8	27.8	24.1	25.9	7.4	1.9	3.7
	女性50代	44	56.8	52.3	29.5	43.2	43.2	13.6	11.4	2.3	4.5
	女性60代	34	55.9	67.6	44.1	38.2	29.4	14.7	2.9	8.8	5.9

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			利用ルールの明確化	表示の明確化	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	罰則の導入	特に必要はない	分からない	その他
全体（大阪）		449	45.2	43.9	38.3	37.0	28.7	22.7	10.9	7.3	2.0
性年代別	男性20代以下	41	43.9	36.6	26.8	24.4	19.5	19.5	17.1	14.6	-
	男性30代	40	42.5	35.0	40.0	32.5	22.5	22.5	17.5	10.0	2.5
	男性40代	53	32.1	30.2	35.8	35.8	24.5	20.8	18.9	9.4	3.8
	男性50代	43	44.2	41.9	37.2	32.6	25.6	41.9	14.0	4.7	2.3
	男性60代	39	35.9	48.7	41.0	51.3	28.2	20.5	10.3	7.7	-
	女性20代以下	53	43.4	45.3	34.0	30.2	28.3	20.8	11.3	9.4	1.9
	女性30代	41	46.3	39.0	26.8	31.7	34.1	22.0	7.3	4.9	-
	女性40代	54	42.6	50.0	44.4	42.6	25.9	24.1	3.7	7.4	5.6
	女性50代	44	56.8	52.3	45.5	40.9	29.5	20.5	4.5	4.5	2.3
	女性60代	41	68.3	61.0	51.2	48.8	51.2	14.6	4.9	-	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

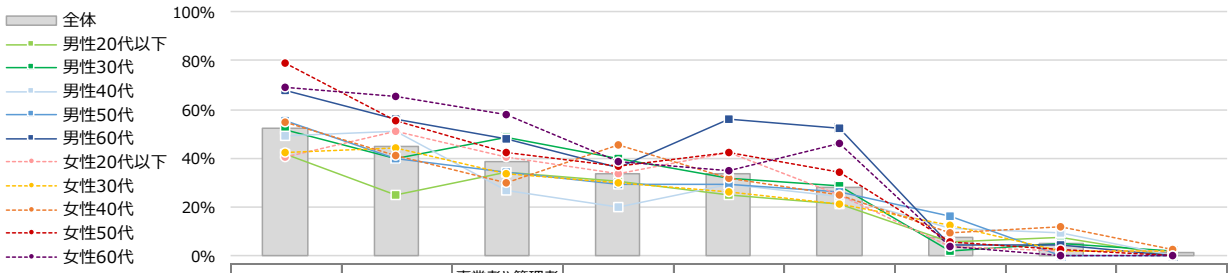
Q25. 今後、車椅子使用者用駐車施設が適正に利用されるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 車椅子使用者用駐車施設が適正に利用されるための取り組み

■ ロンドン、ニューヨークとも、「表示の明確化」と「罰則の導入」の数値が高くなっているが、特に男性60代と女性の50代、60代でその傾向が顕著。

※ロンドン、ニューヨークでは、「罰則の導入や強化」として聴取

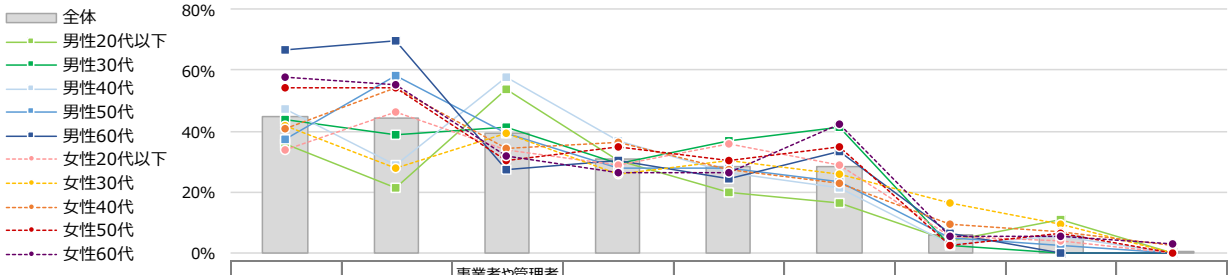
■ロンドン　性年代別



			表示の明確化	罰則の導入	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	利用ルールの明確化	特に必要はない	分からない	その他
全体（ロンドン）		443	52.4	44.9	38.4	33.6	33.4	28.0	7.2	4.5	0.9
性年代別	男性20代以下	53	41.5	24.5	34.0	30.2	24.5	20.8	5.7	7.5	-
	男性30代	60	51.7	40.0	48.3	40.0	31.7	28.3	1.7	5.0	1.7
	男性40代	45	48.9	51.1	26.7	20.0	28.9	24.4	11.1	8.9	-
	男性50代	38	55.3	39.5	34.2	28.9	28.9	26.3	15.8	-	-
	男性60代	25	68.0	56.0	48.0	36.0	56.0	52.0	4.0	4.0	-
	女性20代以下	57	40.4	50.9	40.4	33.3	42.1	24.6	3.5	1.8	1.8
	女性30代	57	42.1	43.9	33.3	29.8	26.3	21.1	12.3	1.8	1.8
	女性40代	44	54.5	40.9	29.5	45.5	31.8	25.0	9.1	11.4	2.3
	女性50代	38	78.9	55.3	42.1	36.8	42.1	34.2	5.3	2.6	-
	女性60代	26	69.2	65.4	57.7	38.5	34.6	46.2	3.8	-	-

※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■ニューヨーク　性年代別



			表示の明確化	罰則の導入	事業者や管理者によるアナウンスなど広報活動	メディア等での広報活動	学校等での教育	利用ルールの明確化	特に必要はない	分からない	その他
全体（ニューヨーク）		438	44.7	44.5	39.3	30.6	28.5	28.3	5.7	5.3	0.5
性年代別	男性20代以下	56	35.7	21.4	53.6	30.4	19.6	16.1	3.6	10.7	-
	男性30代	41	43.9	39.0	41.5	29.3	36.6	41.5	2.4	-	-
	男性40代	38	47.4	28.9	57.9	36.8	26.3	21.1	2.6	5.3	-
	男性50代	43	37.2	58.1	39.5	27.9	27.9	23.3	4.7	2.3	-
	男性60代	33	66.7	69.7	27.3	30.3	24.2	33.3	6.1	-	-
	女性20代以下	56	33.9	46.4	33.9	28.6	35.7	28.6	5.4	3.6	-
	女性30代	43	41.9	27.9	39.5	25.6	30.2	25.6	16.3	9.3	-
	女性40代	44	40.9	54.5	34.1	36.4	27.3	22.7	9.1	6.8	2.3
	女性50代	46	54.3	54.3	30.4	34.8	30.4	34.8	2.2	6.5	-
	女性60代	38	57.9	55.3	31.6	26.3	26.3	42.1	5.3	5.3	2.6

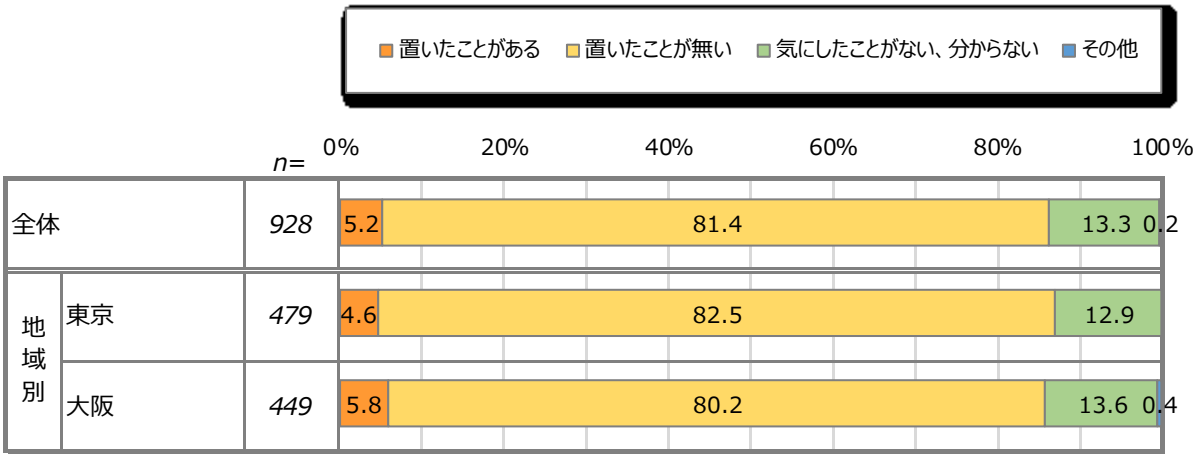
※全体の値で降順　　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q25. 今後、車椅子使用者用駐車施設が適正に利用されるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも）

2 点字ブロック上に自転車等を置いたことがあるか

■ 東京、大阪とも、「置いたことがある」は5%前後と少ない。

■地域別全体比較

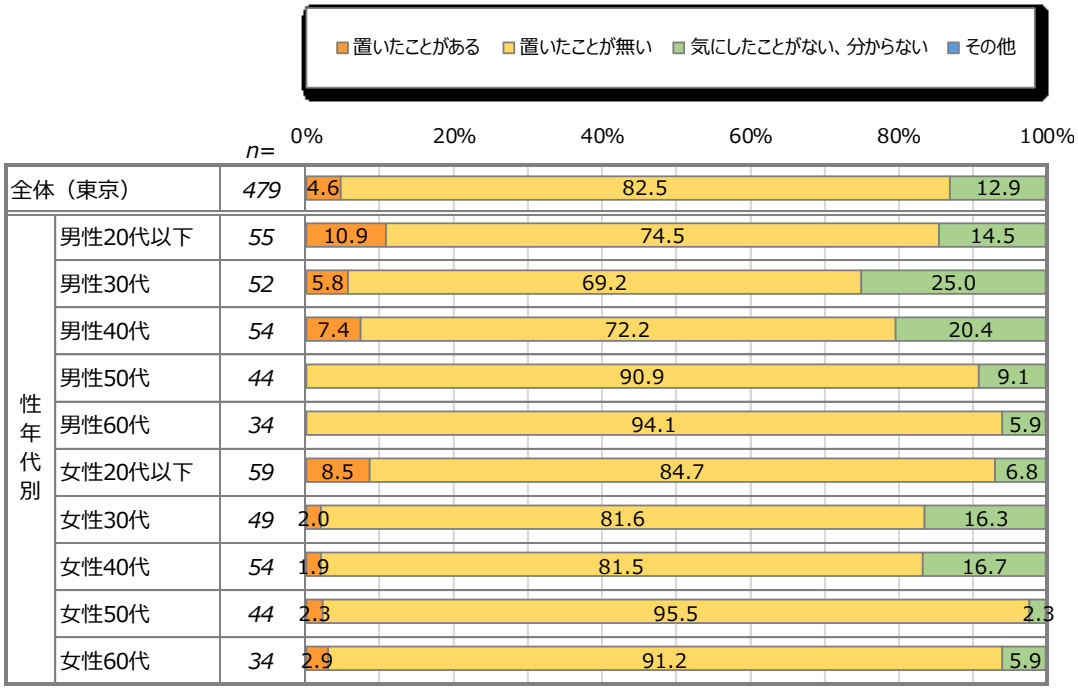


Q26. 歩道や公共交通施設等に敷設されている点字ブロック上に、自転車や大きな物を置いたことがありますか。

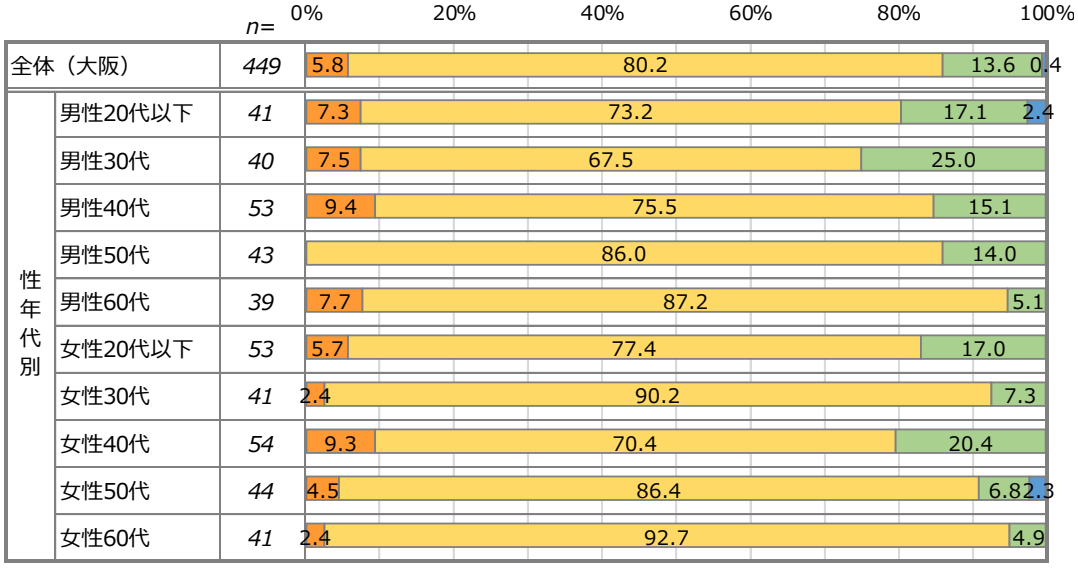
2 点字ブロック上に自転車等を置いたことがあるか

- 東京は男女とも20代以下では「置いたことがある」が1割程度で他に比べてやや多くなっている。
- 大阪については、男女とも40代で「置いたことがある」がやや多い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

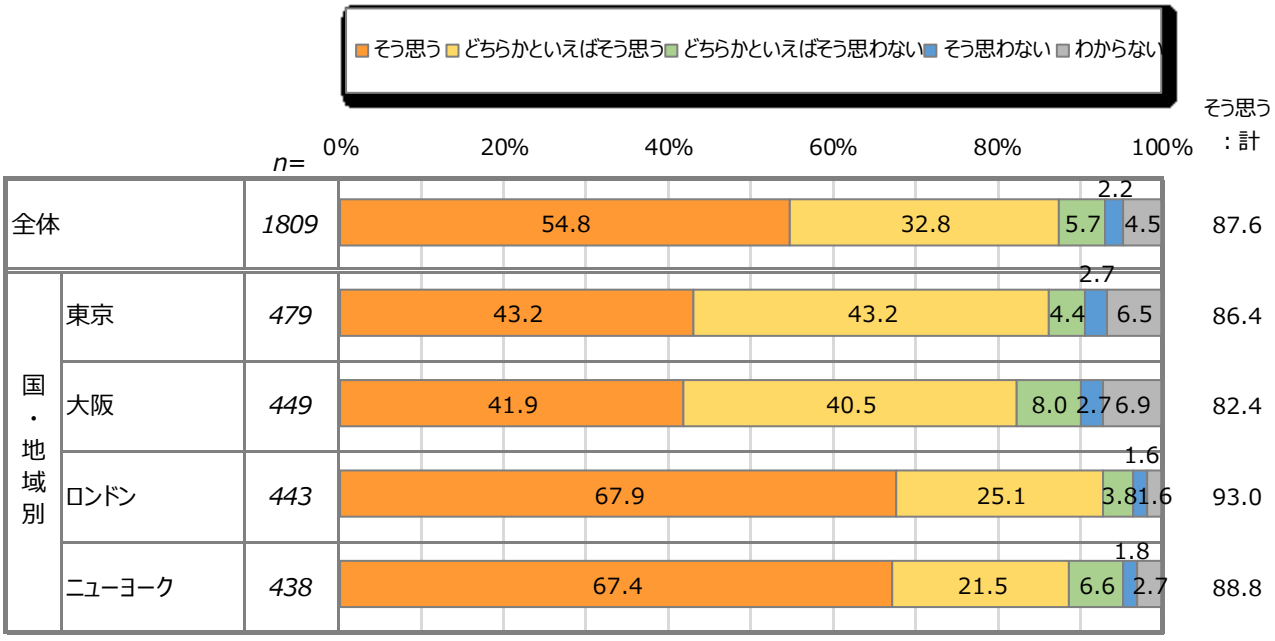


Q26. 歩道や公共交通施設等に敷設されている点字ブロック上に、自転車や大きな物を置いたことがありますか。

2 困っている方への声かけ・手助けを積極的にするべきか

- TOP1、TOP2とも、東京、大阪より、ロンドン、ニューヨークの方が意識が高い。
- 特に、TOP1については、東京、大阪は20ポイント以上低くなっている。

■地域別全体比較

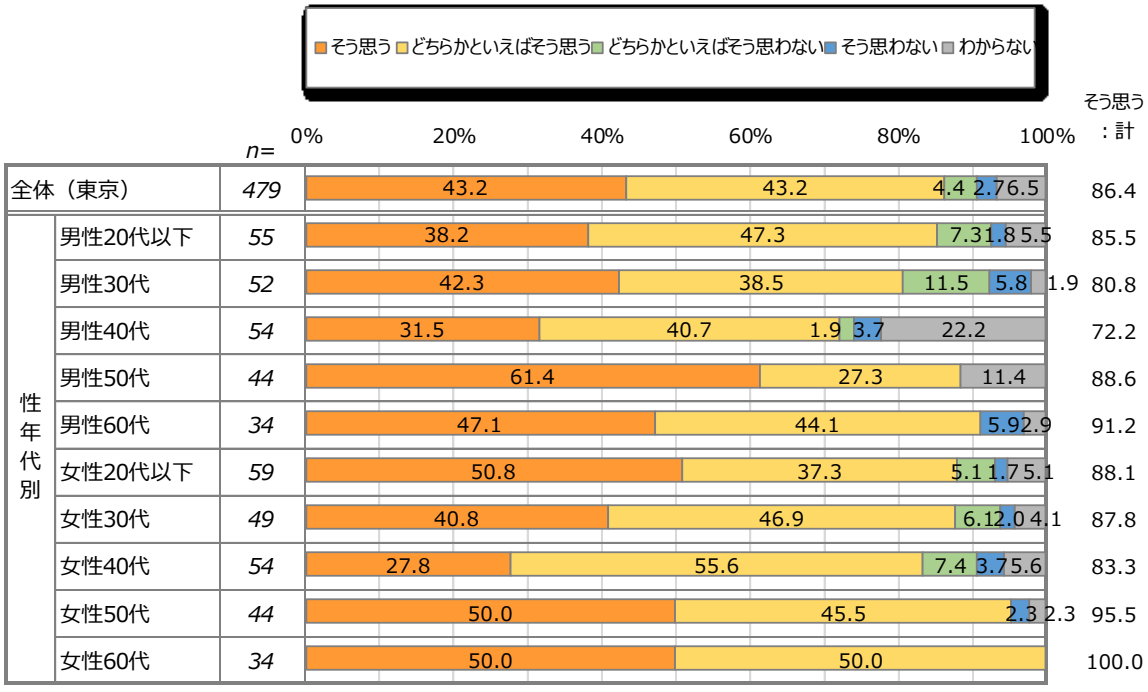


Q27. 高齢者、障害者、妊産婦等で困っている方がいる場合、積極的に声かけや手助けをするべきと思いますか。

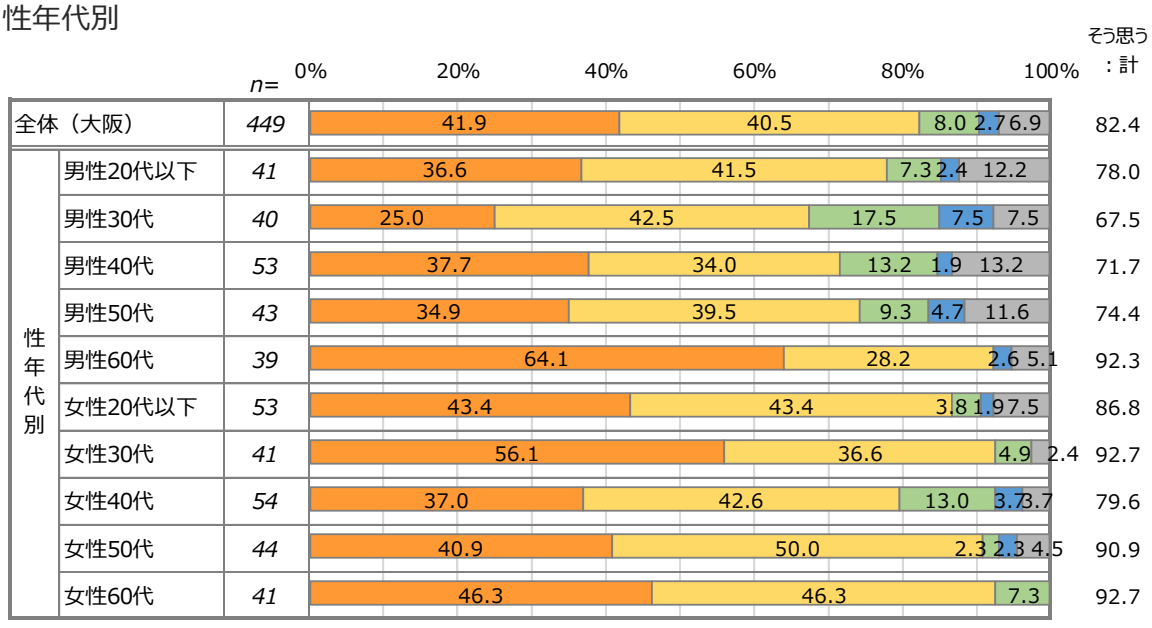
2 困っている方への声かけ・手助けを積極的にするべきか

- 東京では男性50代、大阪では男性60代でTOP1が6割を超えているが、他は4～5割程度が多い。
- 東京の女性40代、大阪の男性30代では2割台の数値となっている。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

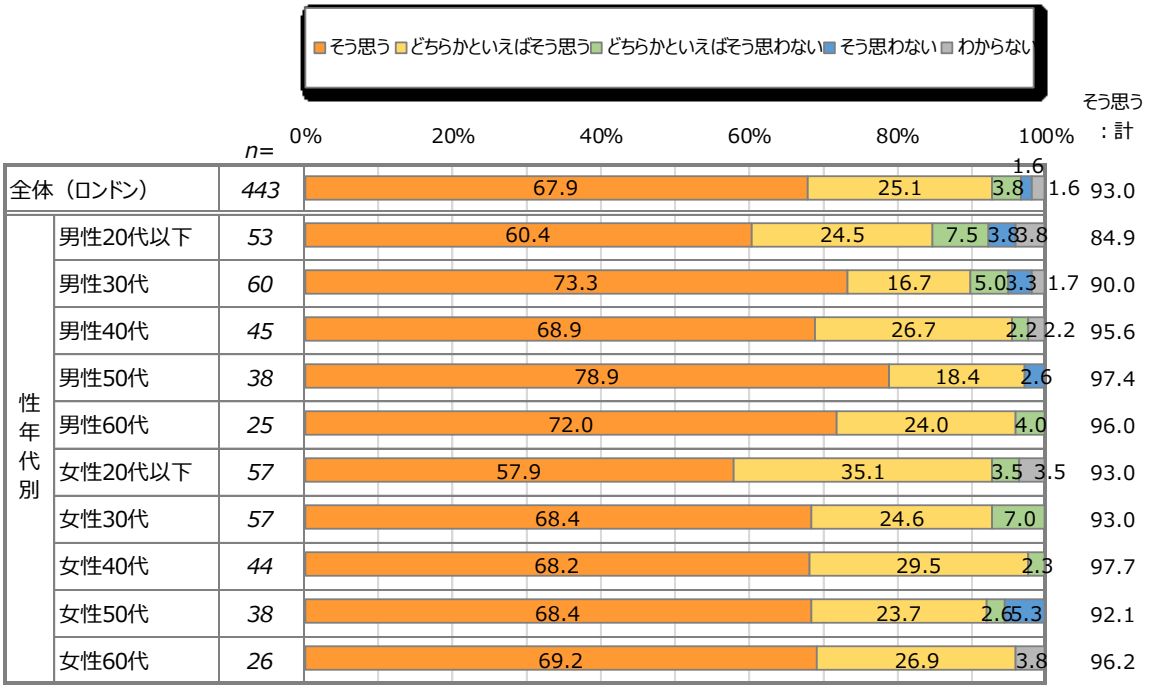


Q27. 高齢者、障害者、妊産婦等で困っている方がいる場合、積極的に声かけや手助けをするべきと思いますか。

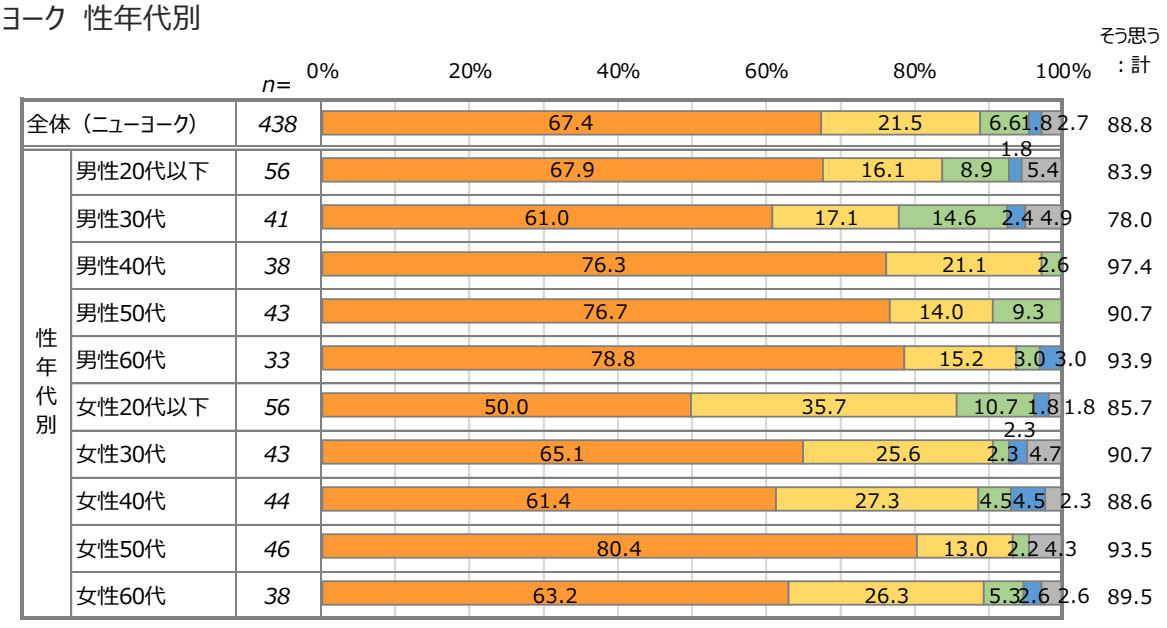
2 困っている方への声かけ・手助けを積極的にするべきか

- ロンドンでは、TOP1は各年代とも女性より男性の方が高い。
- ニューヨークは、男性は40代、50代、60代、女性は50代でTOP1が8割前後と高くなっている。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別

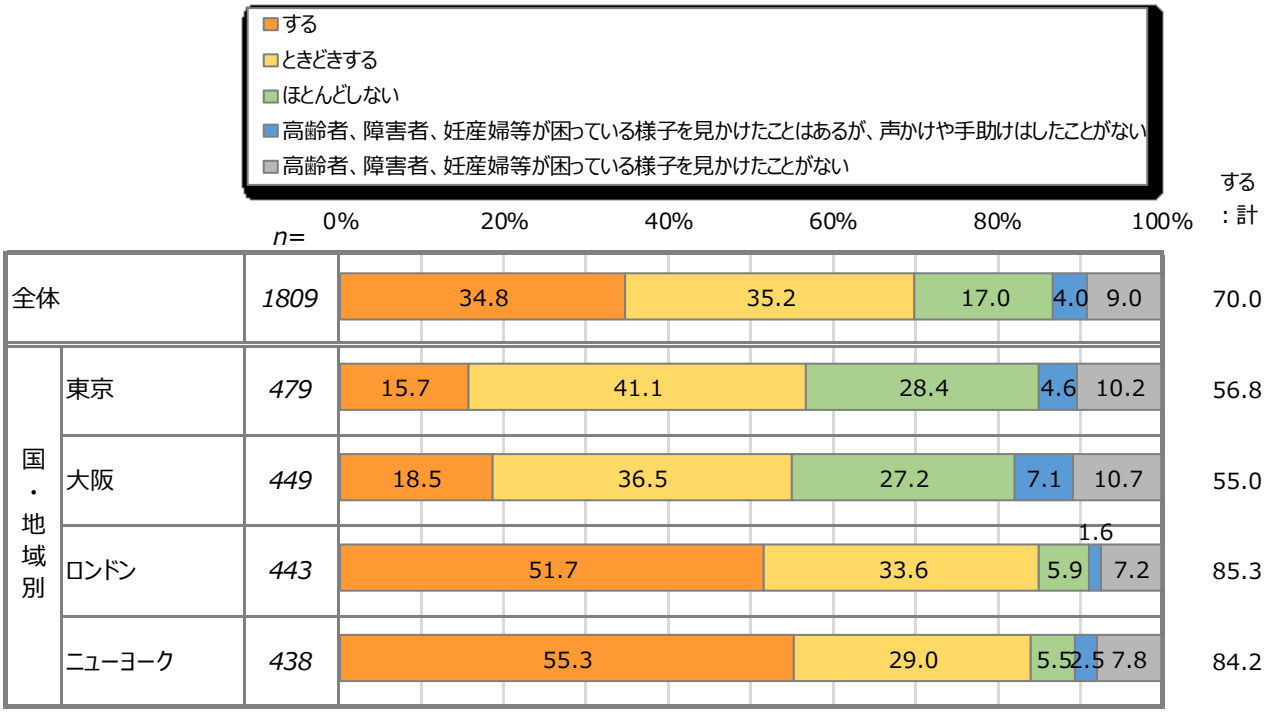


Q27. 高齢者、障害者、妊産婦等で困っている方がいる場合、積極的に声かけや手助けをするべきと思いますか。

2 普段、困っている方への声かけ・手助けをするか

- 「声かけ・手助けを積極的にするべきか」については、TOP2で見ると東京、大阪とも8割以上を占めていたが、実際に声かけ・手助けをするのは5~6割程度であり、意識と行動の乖離が30ポイント程度ある。
- ロンドン、ニューヨークでは、意識と行動の乖離は10ポイント以下にとどまる。

■地域別全体比較

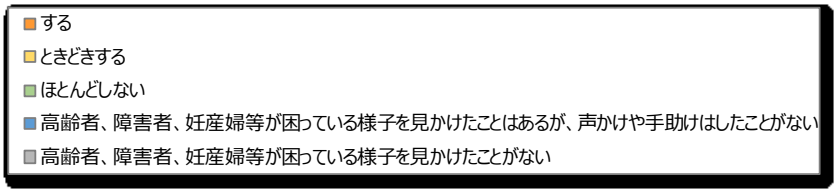


Q28. あなたは普段、高齢者、障害者、妊産婦等が困っているのを見かけた際、声かけや手助けをしますか。

2 普段、困っている方への声かけ・手助けをするか

- 東京では、男女とも50代、60代で「する」+「ときどきする」のTOP2の数値が他に比べて高い。
- 60代でTOP2が高いのは、大阪も同様。

■東京　性年代別



		n=	する	ときどきする	ほとんどしない	高齢者、障害者、妊産婦等が困っている様子を見かけたことはあるが、声かけや手助けはしたことがない	高齢者、障害者、妊産婦等が困っている様子を見かけたことがない	する：計
全体（東京）		479	15.7	41.1	28.4	4.6	10.2	56.8
性年代別	男性20代以下	55	10.9	40.0	36.4	10.9	1.8	50.9
	男性30代	52	7.7	40.4	38.5	7.7	5.8	48.1
	男性40代	54	11.1	37.0	33.3	3.7	14.8	48.1
	男性50代	44	25.0	43.2	20.5		11.4	68.2
	男性60代	34	26.5	41.2	23.5		8.8	67.6
	女性20代以下	59	10.2	39.0	35.6	3.4	11.9	49.2
	女性30代	49	14.3	36.7	30.6	2.0	16.3	51.0
	女性40代	54	5.6	37.0	31.5	7.4	18.5	42.6
	女性50代	44	27.3	43.2	15.9	6.8	6.8	70.5
	女性60代	34	32.4	61.8		2.9	2.9	94.1

■大阪　性年代別

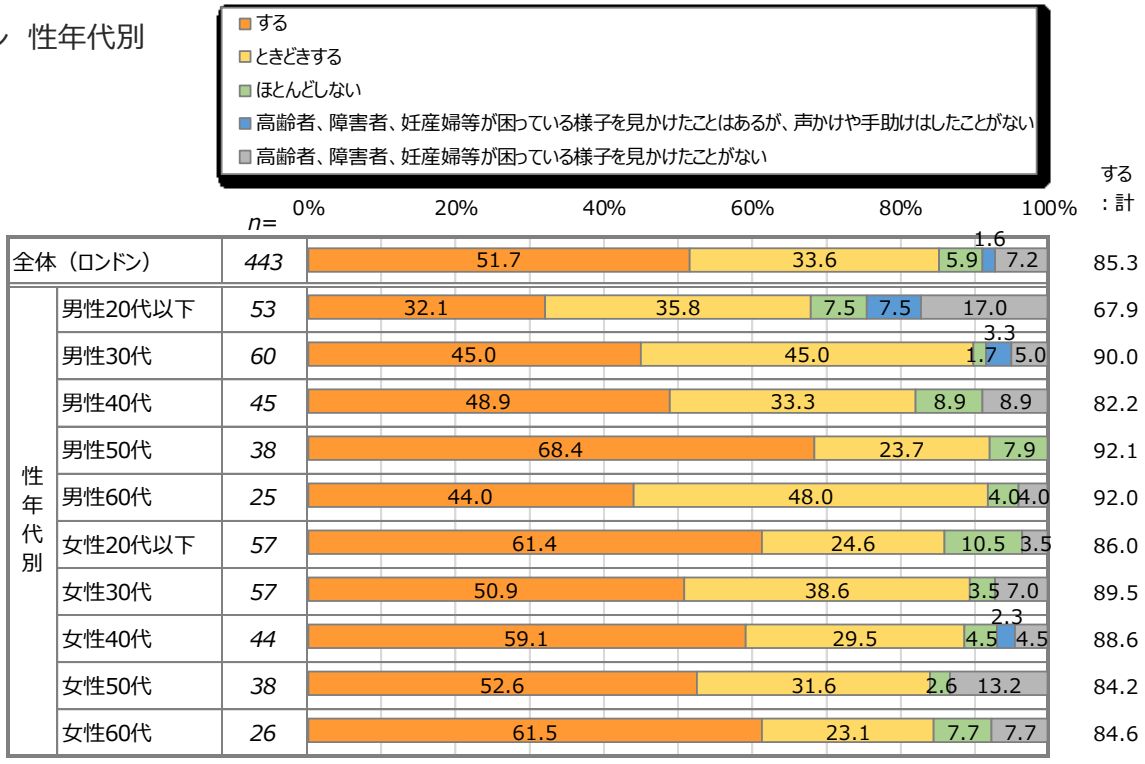
		n=	する	ときどきする	ほとんどしない	高齢者、障害者、妊産婦等が困っている様子を見かけたことはあるが、声かけや手助けはしたことがない	高齢者、障害者、妊産婦等が困っている様子を見かけたことがない	する：計
全体（大阪）		449	18.5	36.5	27.2	7.1	10.7	55.0
性年代別	男性20代以下	41	17.1	22.0	26.8	12.2	22.0	39.0
	男性30代	40	7.5	40.0	35.0	7.5	10.0	47.5
	男性40代	53	18.9	35.8	32.1	11.3	1.9	54.7
	男性50代	43	18.6	30.2	27.9	14.0	9.3	48.8
	男性60代	39	17.9	53.8	20.5	2.6	5.1	71.8
	女性20代以下	53	11.3	35.8	28.3	9.4	15.1	47.2
	女性30代	41	19.5	36.6	31.7	2.4	9.8	56.1
	女性40代	54	22.2	31.5	37.0	1.9	7.4	53.7
	女性50代	44	18.2	43.2	15.9	4.5	18.2	61.4
	女性60代	41	34.1	39.0	12.2	4.9	9.8	73.2

Q28. あなたは普段、高齢者、障害者、妊産婦等が困っているのを見かけた際、声かけや手助けをしますか。

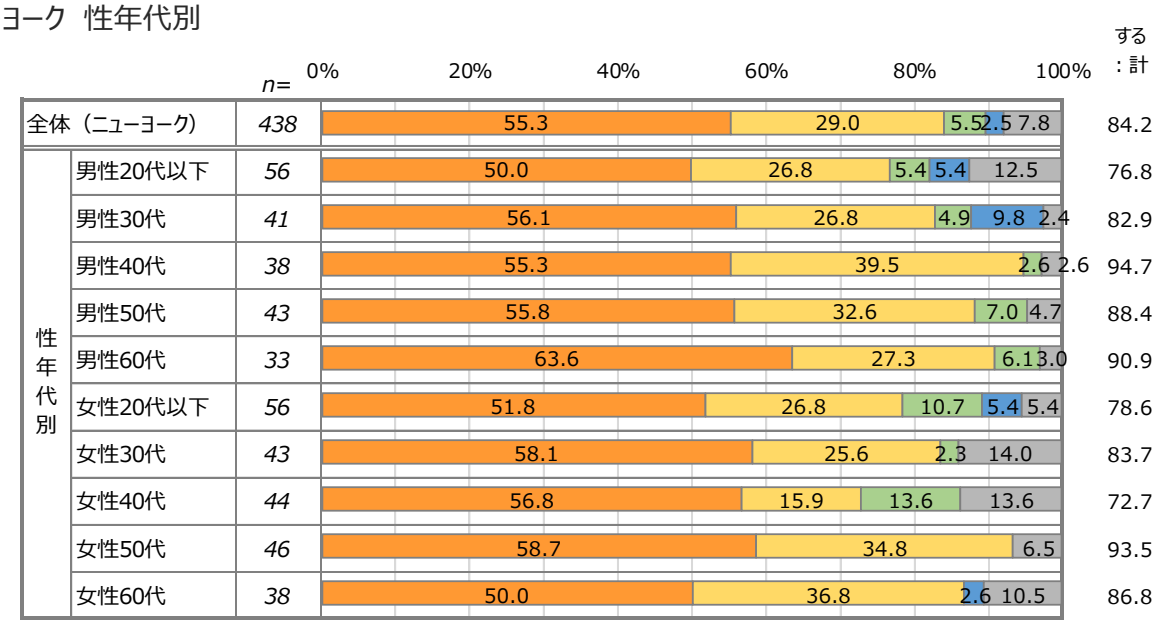
2 普段、困っている方への声かけ・手助けをするか

- ロンドンでは、男性20代以下以外はすべてTOP2が8~9割を占める。
- ニューヨークは、20代の男女と女性の40代でTOP2が7割台であるが、他はすべて8~9割を占めている。

■ロンドン　性年代別



■ニューヨーク　性年代別



Q28. あなたは普段、高齢者、障害者、妊産婦等が困っているのを見かけた際、声かけや手助けをしますか。

2 声かけや手伝いをしなかった時の理由（フリーアンサー）

- 東京、大阪とも、「声かけや手伝いが必要かどうかわからなかった/逆に迷惑がられる」という声が最も多い。
- 他に「急いでいた/余裕がなかった」、「声をかけづらい/恥ずかしい」、「他の人が手助けしていた」といった内容が多いのも、東京、大阪とも共通している。
- ただし、「急いでいた/余裕がなかった」は、大阪に比べて東京の方が多い。

■東京

・困っているのかどうか見極められなかった。身内の障碍者介助をする経験から、ご親切な気持ちが有り難いが、方法や丁寧さなどにおいて、却って痛手になる場合がある。

・以前、視覚障がい者の方に信号が青になったことを声掛けした際、強い口調で「わかっている！」と怒鳴られたので以来声かけるのが怖くなっています。

・知らない人が助けようとすると、迷惑になるかもしれないから。

・急いでいた。自分も怪我等で助けられない状態だった。

・自分の用事で急いでいて、声をかける時間がなかった。

・声をかけるのに躊躇してしまった。

・恥ずかしいから。

・駅員が手助けをしょうとしていたから。

・他の人が先に声をかけていたから。

■大阪

・その人にどのような手助けが必要かわからないから。

・声かけして、逆に「年寄り扱いするな」みたいに怒鳴った高齢者を見かけたとき以来 基本的に声かけをやめている。

・こちらも急いでいる時は申し訳ないが声を掛けて付き添ってあげる余裕がないなら。

・自分の手荷物がいっぱいで助けようもない時とか。

・どう接したらいいのか分からない。実際となると恥ずかしさが出てしまう。

・声をかけるのが苦手。

・同行者らしき人や駅員など、自分よりも的確に手助けできそうな人物が近くにいたから。

2 声かけや手伝いをしなかった時の理由（フリーアンサー）

- ロンドンでは、「自分が気づいたときには既に誰かが手助けしていたから」といった内容が多い。「普段から手助けしている」と本質的には同じと考える。また、「プライドがあり手助けを拒否しているように感じた」が多い。
- その他に、「手助けが必要な人の態度が悪い」「手助けが必要な人とコミュニケーションできない」「自分が手助けできる状況になかった（子ども連れ、荷物が多い）」などが見られた。
- ニューヨークは、ロンドン同様、「誰かが既に手助けしていたから」との理由が最も多く、「手助けが必要かどうか判断がつかないから」という理由も多い。
- 手助けすること（関わること）で暴力を振るわれたり、事件に巻き込まれることへの懸念も多く、治安の悪さが影響している様子がうかがえる。

■ロンドン

- **既に誰かが手助けしていたから**
- **必要があればいつも手助けしている**
- **手助けを求めていないと感じたから/断られたから**
- **彼らの態度が失礼だから**
- **言葉が通じなかったから**
- **自分も身体が強くないから**
- **自分が小さい子どもを連れていたから**
- **自分が大きな荷物を持っていたから**
- **急いでいたから**
- **人と話すのが苦手だから**
- **特に理由はない**

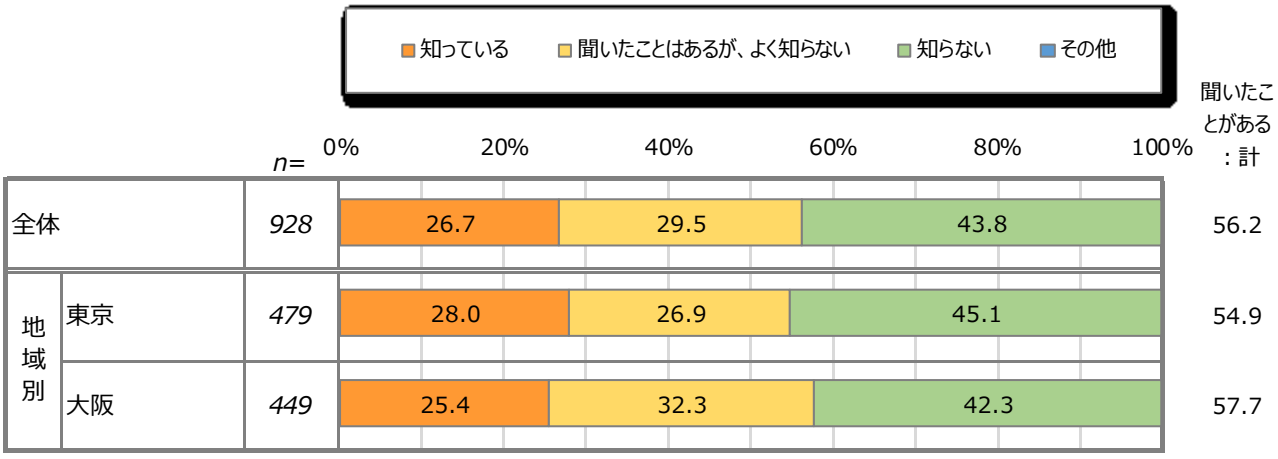
■ニューヨーク

- **誰かが既に手助けしていたから**
- **手助けを求めていないと感じたから**
- **手助けを求めているかどうか判断できなかったから**
- **声をかけたが手助けの必要がないと言われたから**
- **急いでいたから**
- **暴行や事件に巻き込まれる恐れがあるので/直接関わらず警察を呼ぶ**

2 「心のバリアフリー」認知状況

■ 東京、大阪とも、概ね「知っている」と「聞いたことはあるが、よく知らない」がそれぞれ3割程度、「知らない」が4割程度であり、都市による差異はない。

■地域別全体比較

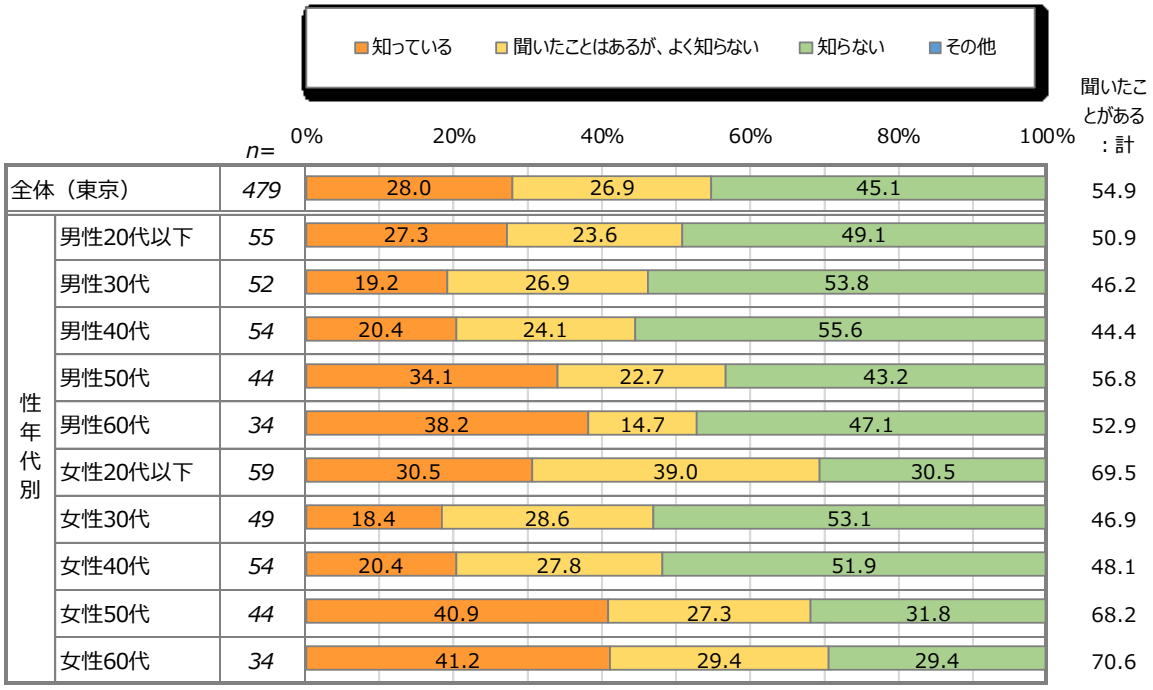


Q30.「心のバリアフリー」という言葉を知っていますか。

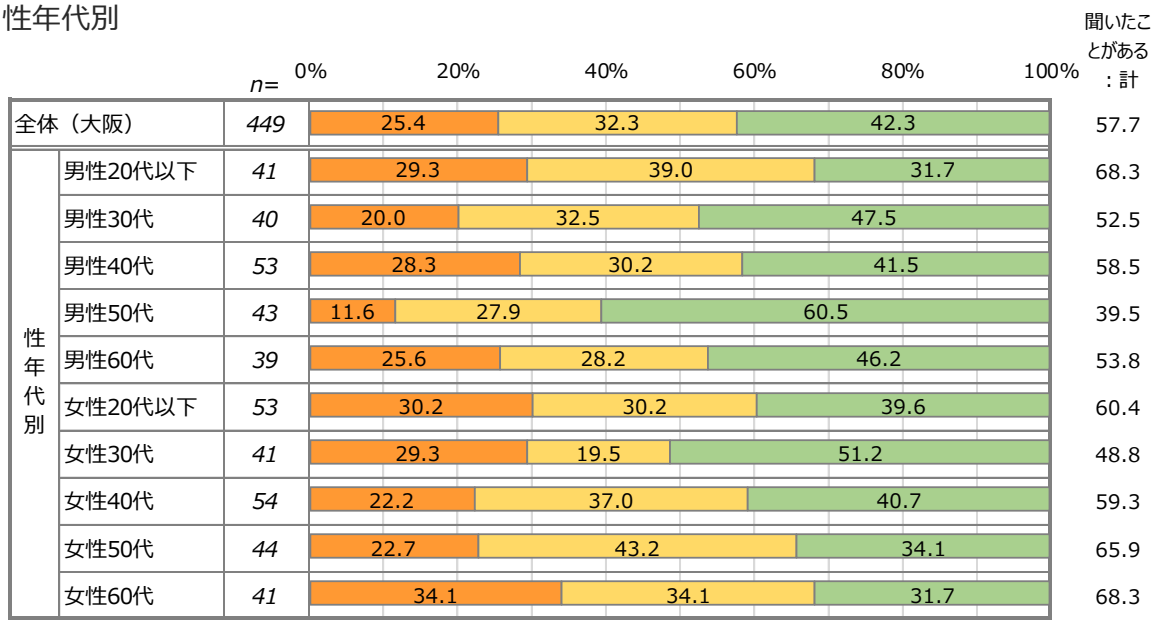
2 「心のバリアフリー」認知状況

- 東京では、男女とも50代、60代で「知っている」が他に比べて多い。
- 大阪も女性60代は「知っている」が、東京に比べるとその数値は5ポイント以上低い。

■東京　性年代別



■大阪　性年代別

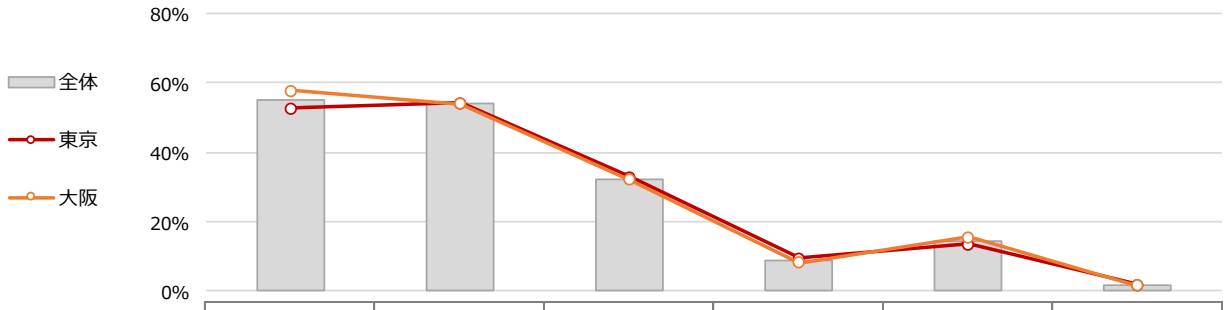


Q30.「心のバリアフリー」という言葉を知っていますか。

2 「心のバリアフリー」を広めるための方策

■ 東京、大阪とも、「メディア（政府広報、TV、WEB、広告等）での啓発」、「学校等での教育」が同水準で多い。

■地域別全体比較



			メディア（政府広報、TV、WEB、広告等）での啓発	学校等での教育	障害当事者等との交流で理解を深める	特に広める必要はない	分からない	その他
全体		928	55.2	54.1	32.4	8.8	14.5	1.7
地域別	東京	479	52.8	54.3	32.8	9.4	13.6	1.9
	大阪	449	57.7	53.9	32.1	8.2	15.6	1.6

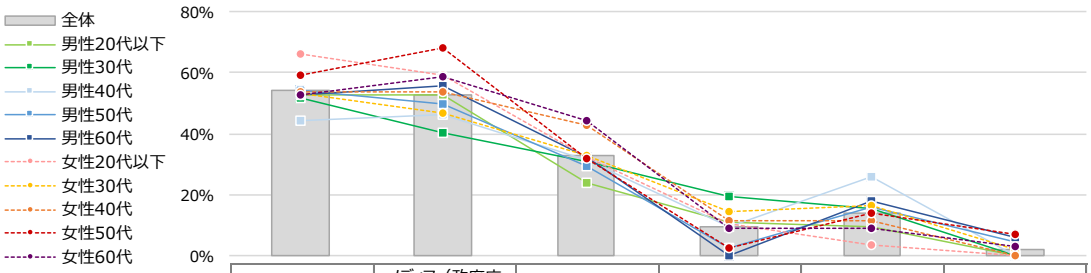
※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q31.「心のバリアフリー」を広めるにはどうすれば良いと思いますか。（いくつでも）

2 「心のバリアフリー」を広めるための方策

- 「学校等での教育」は、東京、大阪とも女性の20代以下で多い。
- 「メディア（政府広報、TV、WEB、広告等）での啓発」は、東京は女性50代、大阪は女性60代が多い。

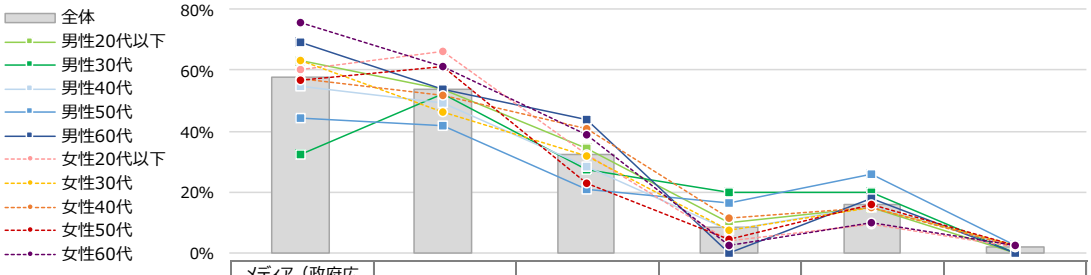
■東京　性年代別



			学校等での教育	メディア（政府広報、TV、WEB、広告等）での啓発	障害当事者等との交流で理解を深める	特に広める必要はない	分からない	その他
全体（東京）		479	54.3	52.8	32.8	9.4	13.6	1.9
性年代別	男性20代以下	55	52.7	52.7	23.6	10.9	9.1	-
	男性30代	52	51.9	40.4	30.8	19.2	15.4	-
	男性40代	54	44.4	46.3	31.5	9.3	25.9	-
	男性50代	44	54.5	50.0	29.5	2.3	15.9	4.5
	男性60代	34	52.9	55.9	32.4	-	17.6	5.9
	女性20代以下	59	66.1	59.3	32.2	10.2	3.4	-
	女性30代	49	53.1	46.9	32.7	14.3	16.3	2.0
	女性40代	54	53.7	53.7	42.6	11.1	11.1	-
	女性50代	44	59.1	68.2	31.8	2.3	13.6	6.8
	女性60代	34	52.9	58.8	44.1	8.8	8.8	2.9

※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

■大阪　性年代別



			メディア（政府広報、TV、WEB、広告等）での啓発	学校等での教育	障害当事者等との交流で理解を深める	特に広める必要はない	分からない	その他
全体（大阪）		449	57.7	53.9	32.1	8.2	15.6	1.6
性年代別	男性20代以下	41	63.4	53.7	34.1	9.8	14.6	-
	男性30代	40	32.5	52.5	27.5	20.0	20.0	-
	男性40代	53	54.7	49.1	28.3	7.5	15.1	1.9
	男性50代	43	44.2	41.9	20.9	16.3	25.6	2.3
	男性60代	39	69.2	53.8	43.6	-	17.9	-
	女性20代以下	53	60.4	66.0	32.1	3.8	9.4	1.9
	女性30代	41	63.4	46.3	31.7	7.3	14.6	2.4
	女性40代	54	57.4	51.9	40.7	11.1	14.8	1.9
	女性50代	44	56.8	61.4	22.7	4.5	15.9	2.3
	女性60代	41	75.6	61.0	39.0	2.4	9.8	2.4

※全体の値で降順　※全体比、+10pt以上(=■)、+5pt以上(=■)、-5pt以下(=■)、-10pt以下(=■)

Q31.「心のバリアフリー」を広めるにはどうすれば良いと思いますか。（いくつでも）

2 「心のバリアフリー」についての考え（フリーアンサー）

- 東京、大阪とも、回答者の6割程度はコメントを記載していないか「特にない/分からない」と回答。
- 回答があったものについて見ると、教育や周知・広報の必要性に言及しているものが目立つが、その一方で、個人個人が意識する問題であって、人から押し付けられるものではないとの意見も散見された。

■東京

・あまり浸透していないため、理解を深める活動は必要と感じる。

・メディアや教育で取り上げることで自ずと言葉を知るためまずは積極的に取り入れるべきだと思う。

・知らない人が多いと思うのでもっと周知されたらいいなと思う。

・駅や車内に効果的なポスターの掲示やVTR広告を設置し、注目を集め、利用者が自身の考え方を振り返ることを促すとよい。想像力が足りなくて親切にできない人もいると思うので、困っている当事者の気持ちがわかるようなVTRや掲示物を設置するとよい。

・十人十色というように、物事の受け止め方はそれぞれです。スローガンを掲げることで強制的になったり、排他的になるのはよくありません。また、当事者が特別視されることも望まないと思います。このようなことは、できる人ができることを、できるようにする-心から発するものでなくてはと感じます。声高に唱えることではなく、人々の胸の内に眠っている資質が芽を出せる環境や機会、出会いが必要かと思います。

・「心のバリアフリー」は教育をしたり、メディアで取り上げてどうにかなるものではなく、個人個人 が良心を持って心から行うものだと思うので、万人に「心のバリアフリー」を理解させるのは無理だと思う。優先席で足を組みながらスマホゲームをして、目の前のおばあさんを見て見ぬふりしている若者を何度も見てきたので、心は教育でどうこうなるものではないと失望した。

■大阪

・家庭教育が大切。自分の心身社会的状況が価値基準になっているからその点を学校地域家庭で情報提供、教育が必要。

・会社や学校、地域のコミュニーティーの中で、積極的にそういうことを話し合う機会や触れ合う機会を増やすことが必要だと思う。 故意にそういう場を設けなければ、なかなかそういう話題に触れない人がたくさんいると思う。

・大阪市内は電車やバスで高校生や大学生くらいの若い健康そうな子がスマホを触りながら席に座っていることが他の地域に比べてとても多いと思う。困っている人に気づかなかったり、手を差し伸べられないのは自分が未熟だからだという道徳観をもっと教えたらいいと思う。中学生、高校生くらいの時期に介護施設や障碍者施設で交流をしてみるといいのではないかと思う。

・知らない人が多いと思うので高齢化が進んでいる今メディアでももっと取り上げればいいと思う。

・教育をしても、それぞれの性格で変わると思うので無理かなと。